

第3次いなべ市総合計画第1回策定部会事項書

日時 令和7年7月3日（木）午前10時～、午後2時～

日時 令和7年7月4日（金）午前10時～、午後2時～

場所 いなべ市役所シビックコア棟

研修室2，3，4

1 開会

2 会長あいさつ

3 スケジュールの確認及び資料説明

- (1) 第3次いなべ市総合計画基本計画策定スケジュール… 当日資料1
- (2) 第3次いなべ市総合計画における防災の取組について… 当日資料2
- (3) INABE BRND2025及び第3次いなべ市総合計画施策の大綱並びに第3次行政改革大綱基本方針… 当日資料3
- (4) 第3次いなべ市総合計画前期基本計画… 資料1
- (5) 第3次いなべ市総合計画の構成と林公認会計士の指標等に対するご意見
… 資料2
- (6) 総合計画策定に伴う意見一覧（要約） … 資料3

4 第3次いなべ市総合計画前期基本計画の説明及び審議

5 第3次いなべ市総合計画における防災の取組について 生活基盤部会終了後（15分～20分程度）

6 次回の会議について 当日資料1のとおり

7 閉会

第3次いなべ市総合計画基本計画策定スケジュール

No	日程	内 容
1	R7/4/16～ 5/30	○第3次いなべ市総合計画基本計画の策定 ・現状と課題、施策の目的、事業内容、成果指標の作成
2	R7/5/9 第7回 総合計画 審議会	第4回行政改革推進委員会と同時開催 ○第3次いなべ市総合計画の策定について ・総合計画基本計画 ・審議会と策定部会 ・部会名簿 ・地方創生の動向について ・総合計画と地方人口ビジョン・地方版総合戦略との関係 ○スケジュール及び役割分担
3	R7/6/2～ 10/31	第3次いなべ市総合計画基本計画の施策の成果指標 及び事務事業評価指標の確認委託（公認会計士）
4	R7/7/3.4 第1回 総合計画 策定部会	○第3次いなべ市総合計画基本計画 ・現状と課題、施策の目的、事業内容、成果指標の審議 3日10：00～・市民協働・広域、産業振興・観光部会 14：00～・子育て・教育部会 4日10：00～・医療・福祉部会 14：00～・生活基盤部会
5	R7/8/8 第8回 総合計画 審議会	○第2次総合計画進捗管理
6	R7/9/1.3 第2回 総合計画 策定部会	○第3次いなべ市総合計画基本計画 ・現状と課題、施策の目的、事業内容、成果指標の審議 1日10：00～・市民協働・広域、産業振興・観光部会 14：00～・子育て・教育部会 3日10：00～・医療・福祉部会 14：00～・生活基盤部会
7	R7/10/2.3 第3回 総合計画 策定部会	予備日 ○第3次いなべ市総合計画基本計画 ・現状と課題、施策の目的、事業内容、成果指標の審議 成果指標の審議 2日10：00～・市民協働・広域、産業振興・観光部会 14：00～・子育て・教育部会 3日10：00～・医療・福祉部会 14：00～・生活基盤部会
8	R7/11/7 第9回 総合計画 審議会	第9回行政改革推進委員会と同時開催 ○第3次いなべ市総合計画（案）の審議
9	R7/11/14～ 12/13	○パブリックコメント
10	R8/1/16 第10回 総合計画 審議会	第10回行政改革推進委員会と同時開催 ○パブリックコメント（回答案） ○第3次いなべ市総合計画（答申）

場所 シビックコア棟 14：00～16：00（策定部会は、No.4. 6. 7 のとおり。）

第3次いなべ市総合計画における防災の取組について



いなべ市防災課

官民連携における総合計画の説明

01

南海トラフ地震
における被害想定

02

南海トラフ地震
における三重県
及びいなべ市の
被害想定

03

桑員管内における
広域避難の仕組み

04

大規模災害時の
官民連携の重要性

01 新南海トラフ地震被害想定

H25年比(平成25年3月)

死者数

約29万8,000人
うち建物倒壊 約7万3,000人 **3万4,000人の減**
うち津波 約21万3,000人 **2万人の減**
うち火災 約9,000人 **1万4,000人の減**

経済被害

約270兆円
復興費224兆9,000億円
生産力低下 270兆3,000億円
54兆円の増

日本の令和7年度の年間国家
予算約115兆円

災害 関連死

約2万6,000人～5万2,000人
要介護認定者 26万人
避難者1万人あたり40人から80人死亡
東日本大震災3,800人

ライフ ライン

停電 2,950万戸
上水道 3,690万人(全人口の3割)
1か月後で460万人に影響
下水道 3,570万人
ネット・電話解消まで最大で7週間

避難者数

約1,230万人
避難所避難者 約650万人
避難所外避難者 約580万人
1か月後でも最大1,200万人が避難
280万人の増

孤立集落

約2,700集落
農業集落約2,200箇所
漁業集落約500箇所
340箇所の増

食料等

食料 約1,990万食(3日間合計)
約221万人分
飲料水 約4,370万ℓ(3日間合計)

建物被害

約235万棟
1万9,000棟の減

1 2 3 4 5 6 7 8 9

02南海トラフ地震における三重県・いなべ市の被害想定

最大震度

震度6弱

いなべ市・名張市

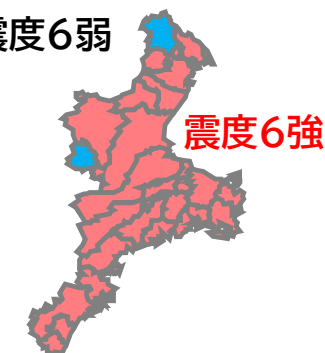
震度6強

桑名市 東員町 木曽岬
四日市市
菰野町 朝日町 川越町
亀山市 伊賀市 大台町

震度7

鈴鹿市 津市 松阪市
明和町 多気町 玉城町
伊勢市 度会町 志摩市
鳥羽市 大台町 南伊勢町
尾鷲市 紀北町 熊野市
御浜町 紀宝町

震度6弱



最大浸水深

津波なし

いなべ市 東員町 菰野町
朝日町 亀山市 名張市
伊賀市 多気町 大台町
玉城町 度会町

津波高

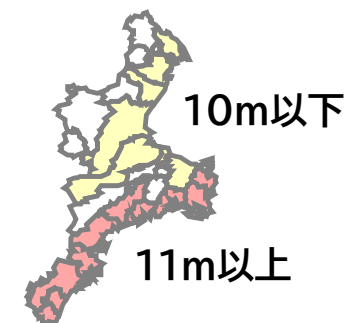
桑名市 木曽岬町 四日市市
川越町 鈴鹿市 津市
松阪市 明和町 伊勢市
紀宝町

4m～11m

津波高

大紀町 御浜町 尾鷲市
紀北町 熊野市 南伊勢町
鳥羽市 志摩市

16m～26m



南海トラフ地震における三重県・いなべ市の被害想定

三重県の被害想定
各市町の災害震度等

■最大震度は、県内全域で6弱以上

震度7 -17市町

震度6強-10市町

震度6弱-2市町(いなべ市、名張市)

※(前回(平成25年3月)からは変更なし

■最大津波高10m以上⇒9市町

志摩市25m

鳥羽市24m

南伊勢22m

※前回と同様または小さくなっている

※熊野市は1m増加

■津波(1m)到達時間

尾鷲市-3分

熊野市-4分

※前回より到達時間が早くなっている

■津波(10m)の到達時間

熊野市-13分

尾鷲市-14分

※津波(20m)到達時間(3市町)

志摩市-19分、南伊勢町-20分

鳥羽市-34分

市町名	最大震度		最大津波高(m)		津波(1m)到達時間		津波(10m)到達時間	
	R7	H25	R7	H25	R7	H25	R7	H25
いなべ市	6弱	6弱						
桑名市	6強	6強	5m	5m	82分	85分		
東員町	6強	6強						
木曽岬町	6強	6強	5m	5m	84分	89分		
四日市市	6強	6強	5m	5m	70分	77分		
菰野町	6強	6強						
朝日町	6強	6強						
川越町	6強	6強	4m	4m	80分	84分		
鈴鹿市	7	7	6m	6m	64分	69分		
亀山市	6強	6強						
津市	7	7	6m	7m	57分	66分		
名張市	6弱	6弱						
伊賀市	6強	6強						
松阪市	7	7	7m	7m	52分	63分		
明和町	7	7	7m	8m	30分	55分		
多気町	7	7						
大台町	6強	6強						
玉城町	7	7						
伊勢市	7	7	9m	9m	22分	36分		
度会町	7	7						
志摩市	7	7	26m	26m	5分	6分	16分	16分
鳥羽市	7	7	24m	27m	9分	11分	33分	34分
大紀町	7	7	16m	16m	7分	8分	19分	19分
南伊勢町	7	7	22m	22m	7分	8分	18分	18分
尾鷲市	7	7	17m	17m	3分	4分	14分	14分
紀北町	7	7	19m	19m	6分	8分	17分	18分
熊野市	7	7	18m	17m	4分	4分	13分	13分
御浜町	7	7	16m	16m	6分	6分	17分	32分
紀宝町	7	7	11m	11m	5分	5分	-	35分

03沿岸部から内陸部への避難

支援市町(いなべ市・東員町)
受援市町(桑名市・木曽岬町)

南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)発表

三重県桑名郡木曽岬町



三重県いなべ市
三重県立いなべ総合学園高等学校



令和5年1月30日に南海トラフ地震地震の発生時に、指定避難所として、三重県立いなべ総合学園高等学校と協定を締結

(いなべ総合学園高校周辺は員弁川の浸水想定区域にあるため、いなべ市としては指定避難所として指定していない)



浸水時における広域避難に関する協定

三重県桑名市 / 三重県桑名郡木曽岬町

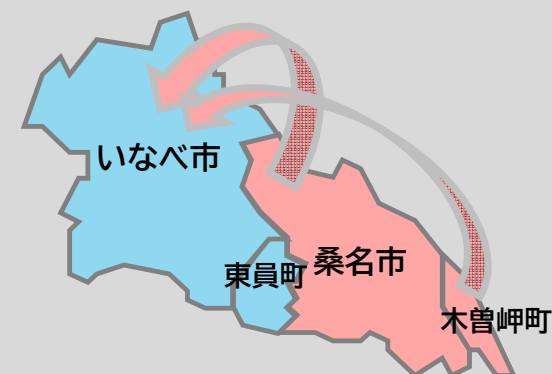


三重県いなべ市 / 三重県員弁郡東員町



平成28年10月26日に桑名2市2町で風水害、高潮、又は地震・津波による浸水が発生した時に桑名市及び海拔0m地帯の木曽岬町の住民を内陸部のいなべ市と東員町が市町を越えて広域避難に関する協定を締結

*桑名市の広域避難については現在検討中



04 大規模災害時の官民連携の重要性

南海トラフ地震に伴う日本の取り巻く現状

自治体の課題

自治体

被害情報の把握
被害の広域化
避難所での長期避難
マンパワー不足
基礎自治体職員の減少

応援団体

限られたNPO団体(支援団体の不足)
対口支援派遣職員不足
対口支援職員の長期派遣

被災自治体は被災者支援に人が取られ
復旧・復興に遅れが生じる
道路啓開、ライフライン等の復旧

地域の課題

自治会

高齢化
少子化
孤立集落地域の発生
公共施設の偏り

自宅の復旧作業に時間を要し再建が進まない
生活水準が上がらず、何をするにも時間やお金が必要

事業所の課題

サプライチェーンの停止
長期間の操業停止
生産力の低下
雇用喪失
操業停止により従業員は自宅待機
給料減少による各家庭の経済力の低下
社員及び家族の被災
生産力の低下
社員の減少(死亡または地域離れ)

事業者による災害支援の実施

(各事業社が持つあらゆる資源を借用)
(例)情報収集、バス等による被災者輸送の実施
、施設の開放、避難所設営・運営サポート

事業所の物的・人材資源を活用



若い働き手が多く、自宅待機中の社員を活用

官民連携による早期復旧

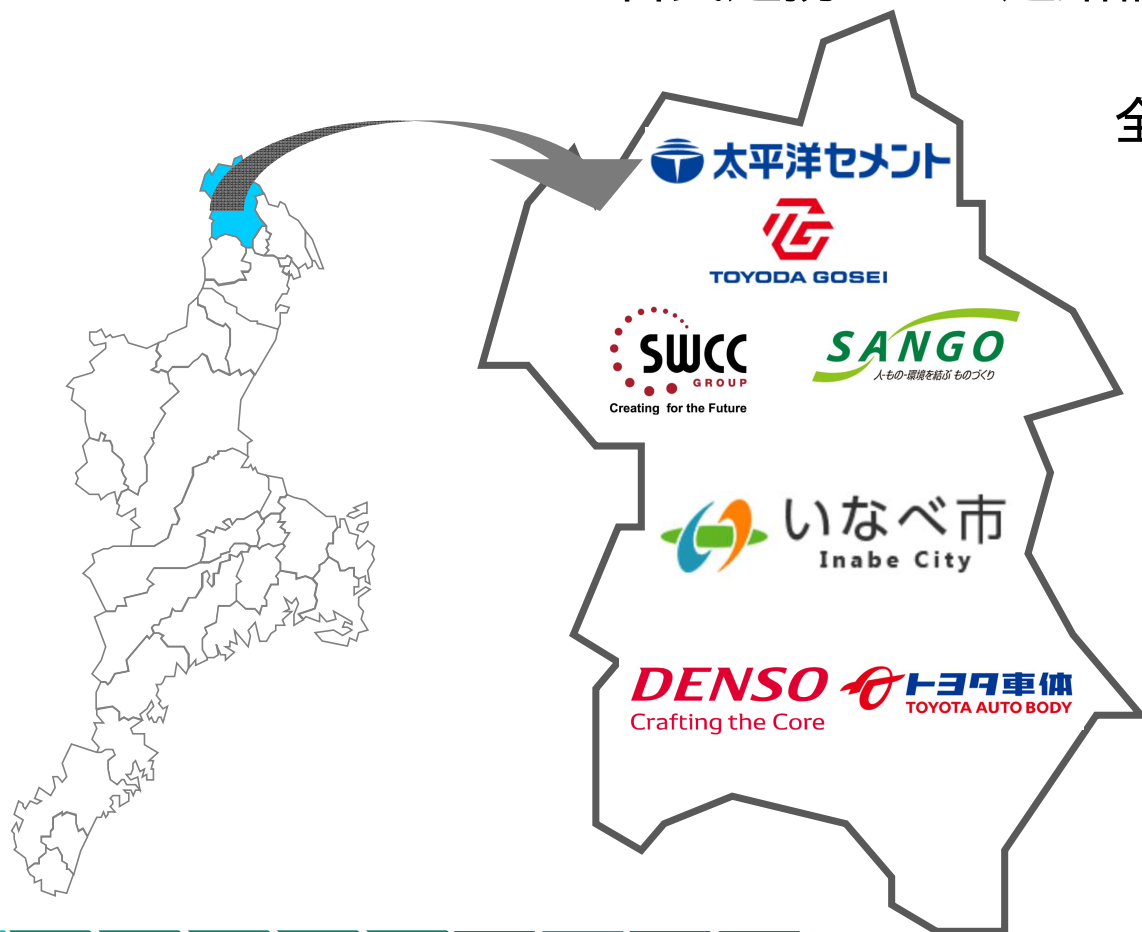
操業地域の早期復旧(地域の支援)
早期の操業・生産再開

1 2 3 4 5 6 7 8 9

大規模災害時における情報収集の迅速化

市内企業間と「官・民」連携

「官民連携による道路網の被害状況把握」



全国初他業種での企業を中心とした企業間連携

災害に強いまちづくり

自社の社員の帰宅困難社員対策の実施

- ・帰宅させる社員の事前選定
- ・帰宅困難社員の自社での支援(食料備蓄)

被害状況が分からなければ帰宅困難者が増加
(各社考えていることは同じ)

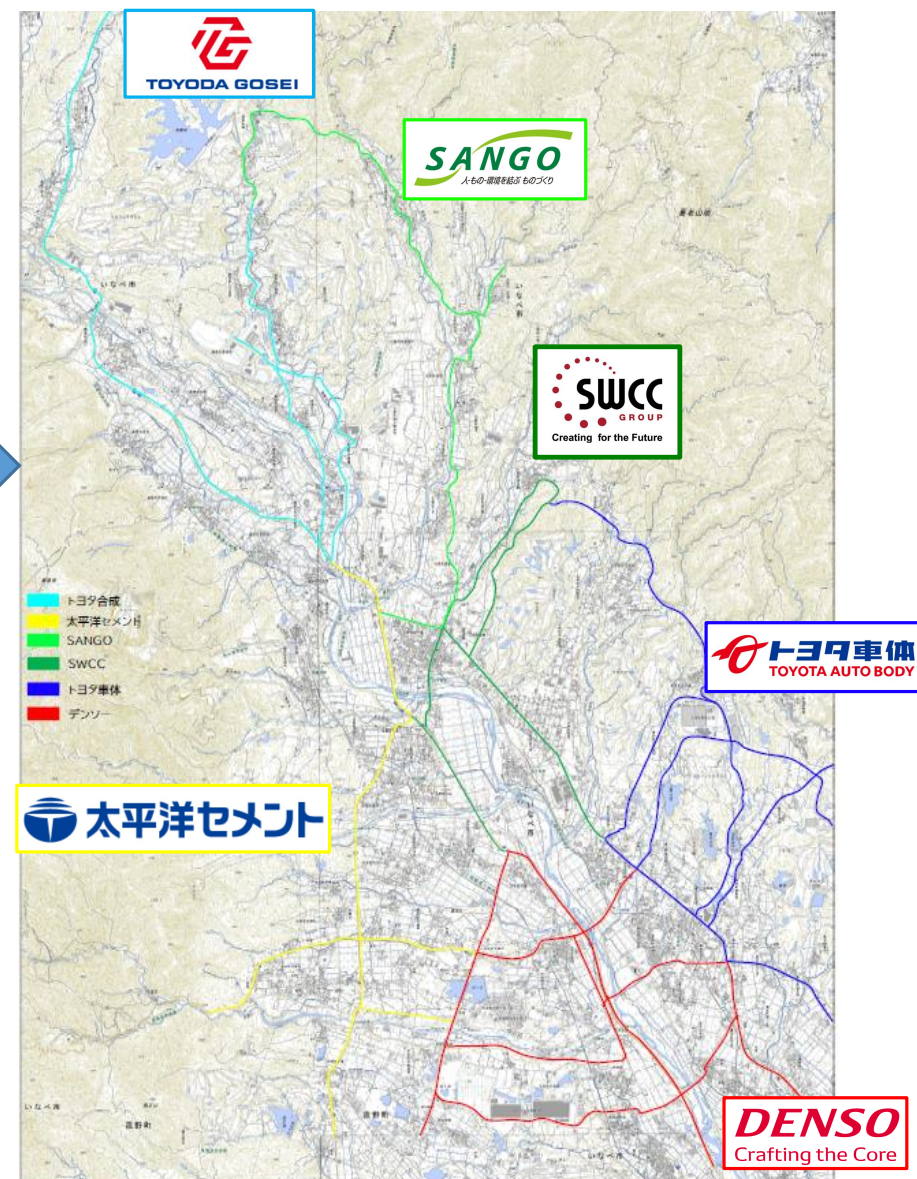
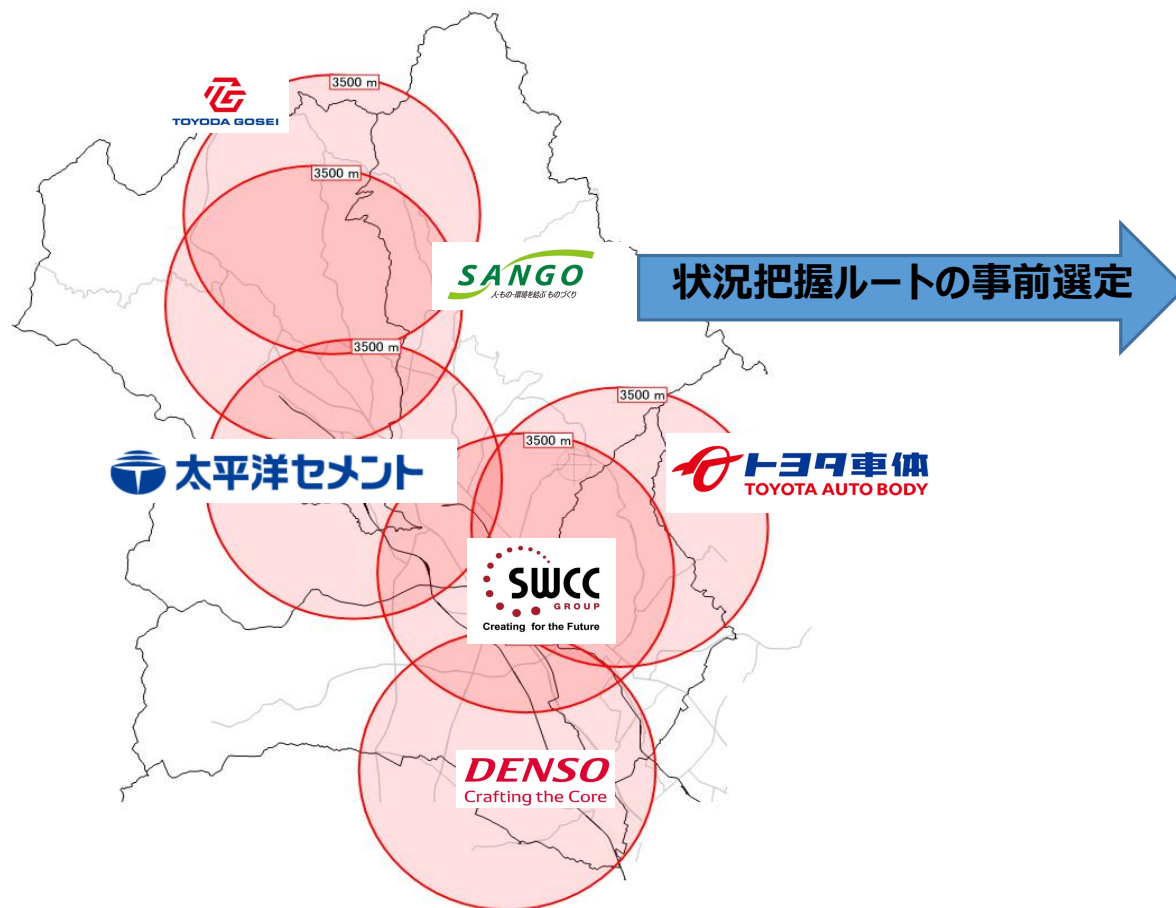


各社間の連携

いなべ市災害対策本部としても被害規模感を迅速に把握することができ、スムーズな応急対策が可能。また、各社の迅速なBCP活動が可能となる

災害を通じて市内企業間連携の実施

各事業所から3. 5 k m圏内の状況把握の実施



全国初となる地域事業者と連携する災害に強い街づくり いなべだからできること



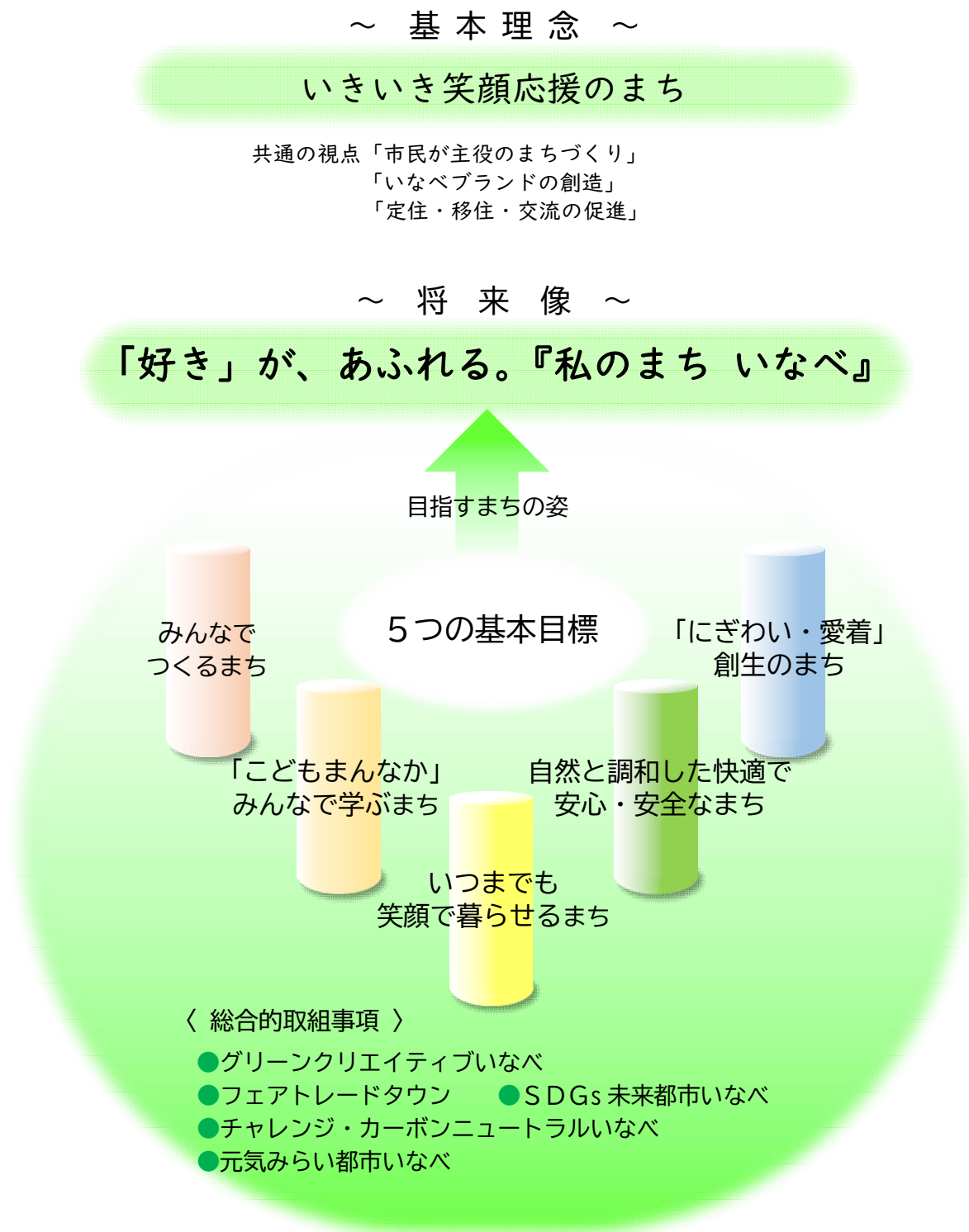
事業所の皆様のご協力により 官民連携の更なる推進

いなべ市民を救う 日本の被災地を救う



第6章 施策の大綱

■第3次総合計画の概念図



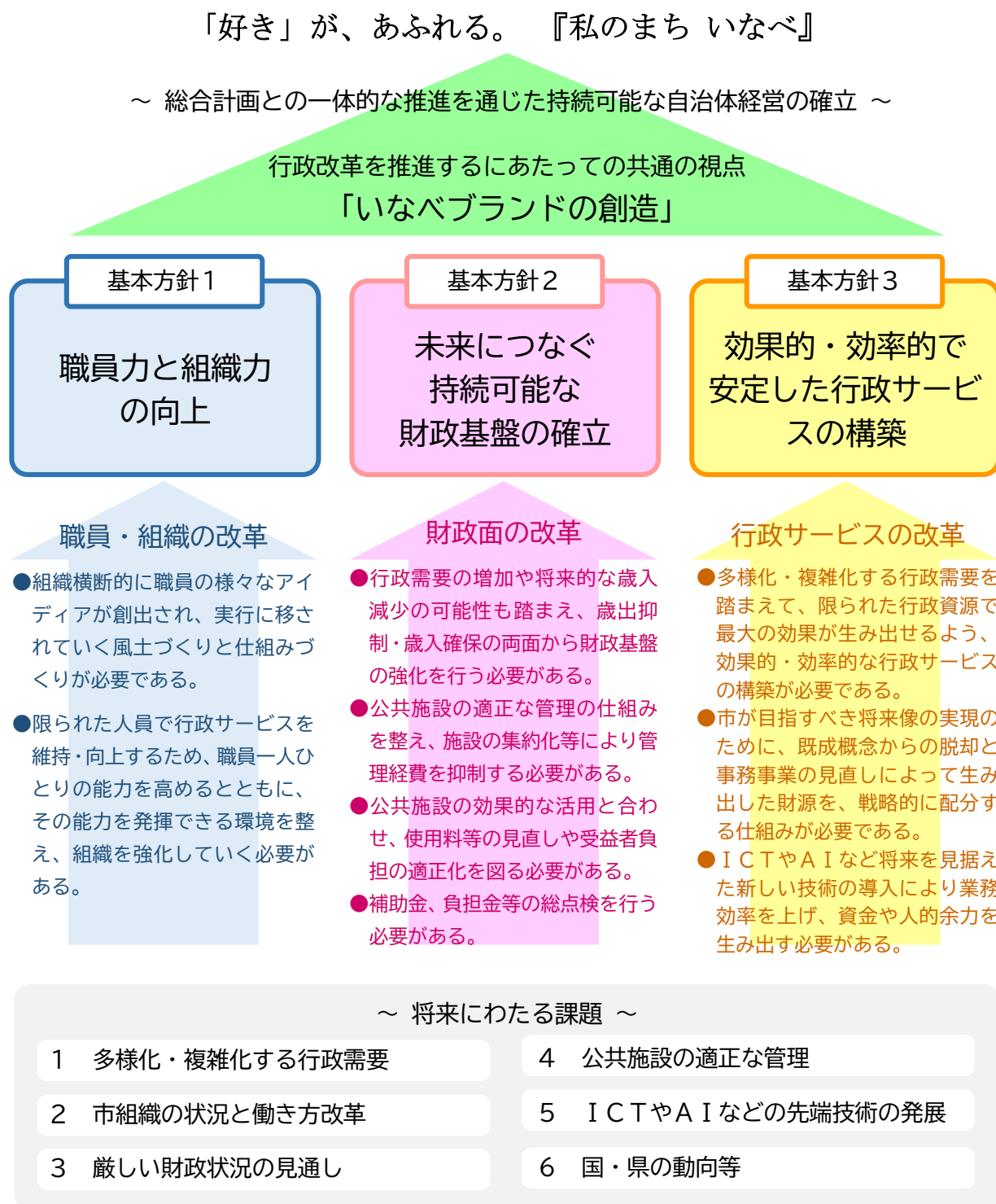
■施策の概念図の説明

▶ 基 本 理 念	いきいき笑顔応援のまち	市民と行政が共有するまちづくりの基本となる考え方
▶ 共通の視点	市民が主役のまちづくり いなべブランドの創造 定住・移住・交流の促進	全事業を推進する上で市民と行政が共有する3つの視点
▶ 将 来 像	「好き」が、あふれる。 『私のまち いなべ』	本計画の目標年次である令和 17 (2035)年度に向けて目指すまちの姿
▶ 基 本 目 標	1 みんなでつくるまち 2 「こどもまんなか」みんなで学ぶまち 3 いつまでも笑顔で暮らせるまち 4 自然と調和した快適で安心・安全なまち 5 「にぎわい・愛着」創生のまち	将来像の達成に向けた、各分野の取組の方向性
▶ 総 合 的 取 組 事 項	1 グリーンクリエイティブいなべ 2 フェアトレードタウン 3 SDGs 未来都市いなべ 4 チャレンジ・カーボンニュートラルいなべ 5 元気みらい都市いなべ	本市が、全国に先駆けて推進してきた各種の総合的な取組を本計画に総合的な取組事項として位置づけ、一体的な体制で推進する

第2章 第3次行政改革大綱の基本方針

将来見通しを踏まえた持続可能な財政基盤を確立し、第3次総合計画で掲げるまちづくりの将来像への道筋を確かなものとします。また、行政改革の推進にあたって、第3次総合計画と同様に、本市が誕生して以来、継続して取り組む「いなべブランドの創造」を、市民と行政が共有する「共通の視点」として位置づけ、市内外に効果的に発信します。

■第3次行政改革大綱の概念図



■第3次行政改革大綱の概念図の説明

まちづくり の将来像へ の道筋

行政改革は、持続可能な自治体経営を確立し、必要とされるサービスを確実かつ効果的に提供する体制を整えるためのものです。

本市は、これまで別々に実施してきた総合計画と行政改革の推進を、令和8（2026）年度から一体的に実施し、総合計画を健全な行政経営の側面から支えることで、より一層効果的な自治体経営の推進に取り組みます。

第3次行政改革大綱においては、総合計画の目指すべき将来像への道筋として「総合計画との一体的な推進を通じた持続可能な自治体経営の確立」を掲げます。また、行政改革の推進にあたって、市民と行政が共有する共通の視点として「いなべブランドの創造」を位置づけるとともに、行政改革についての効果的な情報発信を行います。情報発信にあたっては、時流に即した効果的な手法により市の魅力を伝え、定住、移住、企業誘致等を促進するとともに、市職員の定着や優良人材の獲得につなげます。

基本方針

今後は、生産年齢人口の減少による労働力の不足、行政需要の増加、社会保障関連経費の増加、インフラ施設（公共的な機能を担う施設）の老朽化、変化の激しい社会情勢への対応、デジタル社会の急速な進展等、様々な課題への対応が必要となります。

こうした課題を踏まえ、今後も持続可能な自治体経営を継続していくため、その基本的な資源となる職員及び組織の一層の強化のもと、財政基盤の確立を図る必要があります。また、効果的・効率的で安定したサービス提供体制の確立に向けた不断の改善を継続的かつ迅速に行う必要があります。

今後10年間の行政改革の基本方針として、基本方針1では職員や組織体制についての改革、基本方針2では歳出抑制や歳入確保といった財政面での改革、基本方針3では行政サービスにおける改革を掲げます。

将来に渡る 課題

10年間の計画期間中に課題解決に取り組みつつ、中長期の視点からも対策が必要な項目として、「1 多様化・複雑化する行政需要」、「2 市組織の状況と働き方改革」、「3 厳しい財政状況の見通し」、「4 公共施設の適正な管理」、「5 ICTやAIなどの先端技術の発展」、「6 国・県の動向等」を掲載しています。

第3次いなべ市総合計画

前期基本計画（案）

目次

1	みんなでつくるまち	… 3
2	「こどもまんなか」みんなで学ぶまち	…10
3	いつまでも笑顔で暮らせるまち	…36
4	自然と調和した快適で安心・安全なまち	…54
5	にぎわい・愛着 創生のまち	…78

1 みんなでつくるまち

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

					記入者		(企画部 広報秘書課 課長 島田 健二) 都市整備部新産業創造課 課長 齊藤義喜 総務部 総務課長 佐藤 久紀							
第2次総合計画（現行計画）					第3次総合計画（次期計画※R8～）									
共通目標名		共通目標 1 市民が主役のまちづくり			基本目標名		1 みんなでつくるまち							
施策名					施策名		市民が主役のまちづくり							
◇現状・課題														
【第2次総合計画の記載内容】					【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】									
●市民の生活スタイルの多様化により行政に対する要望や自治会の形態なども多様化が進んでいます。 ●本市では、情報誌Linkや市ホームページ、ケーブルテレビ、コミュニティFM、SNSなどを通じて、市政に関する情報を発信しています。					●事業の参加者数も微増ではありますが増加傾向にあります。加入団体数は横ばい状態で社会情勢等の変化に対応していくことが課題です。 ●グリーンインフラの取り組みでもある「自然環境機能の活用」を主とした「Inabe Green Lab.」のイベントを市民と協働で企画運営し体験型イベントを開催していますが、一過性の空間ではなく親子が長時間滞在できる空間づくりが必要です。									
◇5年後のいなべ市の姿（施策の目的）														
【現行計画の記載内容】					【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】									
●まちづくりにおいて、市民参画や市民協働が積極的に行われています。 ●自治会加入世帯の維持により、コミュニティ活動が活性化されています。					●地域社会全体の市民活動への理解と協力が行われています。 ●地域林や水辺を活用した、親子が長時間滞在できる空間を整備しています。									
◇基本事業1 市民参画と協働の推進					◇基本事業1 市民参画と協働の推進									
1. 事業内容【現行計画の記載内容】					1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】									
●市民活動の参加者の増加に向けて、市民活動団体同士や企業とのネットワークが広がるよう支援を行うなど、市民活動センターの機能の充実を図り、地域を活性化します。					●市民が行う活動を支援するとともに、市民活動団体の交流や情報発信、相談などの拠点機能を確保しつつ、多彩な市民が出会い、地域活動をしやすいようにします。 ●グリーンインフラ推進基本方針に基づき、地域林や水辺の環境を整備することにより親子が長時間滞在できる空間づくりを行います。									
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】					2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】									
●市民活動センター事業					●市民活動センター事業 ●グリーンインフラ推進事業									
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】														
指標名（各年・累計）		単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）					
				R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12
市民活動センター事業（交流会・講座等）の参加者数（各年延べ）		人	—	803	2,043	2,217	3,118	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
指標の変更、追加↓				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
いなベグリーンラボ参加者数（各年）		人	—	30	500	850	680	700	720	740	760	780	800	900
◆指標の補足説明があれば記載 グリーンインフラのソフト事業として進めるいなベグリーンラボは、令和3年度から市民と協働で企画運営して事業を実施しています。いなベグリーンラボをはじめとするグリーンインフラのソフト事業に共感・賛同し企画運営に参画する市民、団体と参加者が増えていることから、今後の活動指標としました。														

◇基本事業2			コミュニティ組織の強化支援					◇基本事業2			コミュニティ組織の強化支援				
1. 事業内容【現行計画の記載内容】			●自治会の独立性や主体性を促すため、広報等の配布や地域の環境衛生に関する事業などを実施します。 ●積極的にコミュニティ助成事業（宝くじの社会貢献広報事業）を自治会に斡旋し、集会場や公園遊具などのコミュニティ施設の充実を図ります。					1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】			●自治会の独立性や主体性を促すため、広報等の配布や地域の環境衛生に関する事業などを実施します。 ●積極的にコミュニティ助成事業（宝くじの社会貢献広報事業）を自治会に斡旋し、集会場や公園遊具などのコミュニティ施設の充実を図ります。				
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】			●コミュニティ活動推進事業 ●コミュニティ組織連携事業 ●コミュニティ施設整備事業					2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】			●コミュニティ活動推進事業 ●コミュニティ組織連携事業 ●コミュニティ施設整備事業				
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】															
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）							
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17	
自治会加入世帯数（各年）	世帯	○		11,967	11,957		10,800	11,740	11,740	11,740	11,740	11,740	11,740		
コミュニティ助成事業（宝くじ）申請件数（各年）				10	6	0	7	8	8	8	8	8	8		
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17		
◆変更、追加した指標の補足説明があれば記載															

◇基本事業3			広報広聴の充実					◇基本事業3			広報広聴の充実				
1. 事業内容【現行計画の記載内容】			●見やすく親しみやすい情報誌や市ホームページを作成します。また、ケーブルテレビなど各種広報媒体を通じて、市政に関する様々な情報を発信します。					1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】			●市民が読みやすく身近に感じてもらえる広報誌や市ホームページの充実に努めます。また、市政に関する様々な情報をケーブルテレビやSNSなど様々な媒体を活用した広報活動を行います。 ●広報誌などを通じ市民の意見の把握に努めます。				
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】			●情報誌発行事業 ●ホームページ事業 ●テレビ広報事業					2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】			●情報誌発行事業 ●ホームページ事業 ●ラジオ広報事業 ●テレビ広報事業				
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】															
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）							
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17	
市ホームページアクセス件数（各年延べ）	件	—	3,791,223	2,880,282	2,676,769	2,402,311	6,000,000								
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17		
変更 SNS発信数	件		233	191	291	187		200	200	200	200	200	200		
Link読者アンケート投稿数	件		—	—	—	75		200	200	200	200	200	200		
◆変更、追加した指標の補足説明があれば記載 上段：既存の指標は、受動的で、変更することにより能動的な活動量の可視化につながる指標に変更したい。 下段：市民からの意見を聞く機会を新たに設けたので、その反応(注目度)を指標としたい。															

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

		記入者		(福祉部人権福祉課、課長、山北幸美)										
第2次総合計画（現行計画）				第3次総合計画（次期計画※R8～）										
基本目標名	第4章 生きがいと安心の地域づくり			基本目標名	1 みんなでつくるまち									
施策名	4-14 思いやりのある人権のまちづくりの推進			施策名	思いやりのある人権のまちづくりの推進									
◇現状・課題														
【第2次総合計画の記載内容】				【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●全ての人の人権が尊重され、性別や国籍、障がいなどによる差別のない社会を構築することが必要です。 ●外国人の増加にともない、互いの文化的な違いを認め合い、地域社会の構成員として共に生きていけるよう、多文化共生の意識を醸成していく必要があります。				●性別や国籍、障がい、世代などによる課題への理解を深めるだけでなく、SNSなどで行われる新たな人権課題にも正しく向き合えるよう、市民が人権意識を向上させ、多様性を受容できる社会の構築が必要です。 ●外国籍の方も暮らしやすい、働きやすいと感じられるよう、多文化共生の意識を醸成していくことが必要です。										
◇5年後のいなべ市の姿（施策の目的）														
【現行計画の記載内容】				【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●全ての市民の人権が尊重され、尊厳をもって生活しています。 ●市民が世代や国籍の違いなどを超えて、相互に理解と協力をもって連携し、支え合って生活しています。				●地域で人と人が関わり合う中で、絆を深め合い、市民の人権意識が向上しています。 ●性別や国籍、障がい、世代に関わらず、市民一人ひとりが認め合い、支え合って生活しています。										
◇基本事業1		人権が尊重される社会の推進		◇基本事業1		人権が尊重される社会の推進								
1. 事業内容【現行計画の記載内容】				1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●人権が尊重され、尊厳をもって個性を活かすことのできる社会の実現に向け教育や啓発活動を行います。また、人権擁護委員や民間団体と連携して、相談体制の充実や地域交流事業の支援を行います。				●人権が尊重され、尊厳をもって個性を活かすことのできる社会の実現に向け教育や啓発活動を行います。 ●人権擁護委員や民間団体と連携して、相談体制の充実や地域交流事業の支援を行います。 ●外国籍の方が相談しやすいよう、また、外国籍の方に市内で実施されるイベント等が伝わるよう、庁内で連携します。										
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】				2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●人権啓発事業 ●人権擁護推進事業 ●地域交流事業委託事務				●人権啓発事業 ●人権擁護推進事業 ●地域交流事業委託事務 ●LGBT啓発事業										
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】														
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）						
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
人権フェスティバル参加者数（各年延べ）	人	—	0	648	530	440	750							
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17	
人権意識を向上させることが「大変重要である」または「重要である」と感じている市民の割合	%					56%		56%	57%	58%	59%	60%	65%	
SOGIという言葉を知っている市民の割合	%		0					0	0	0	0	0	0	
◆指標の補足説明があれば記載 これまでの指標である人権フェスティバルの参加者数は頭打ちにあり、市民の人権意識の変化を反映しているとは言い難いため、人権フェスティバルで人権意識に関するアンケートを実施し、その結果を指標とします。目標設定は、令和6年度の市民満足度調査を参考としました。また、多様性に関連するSOGIの認知度を新たに設定しました。指標については、令和3年の男女共同参画第2次推進計画策定時のアンケートと目標数値を参考にしました。														

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

		記入者		(福祉部人権福祉課、課長、山北幸美)										
第2次総合計画（現行計画）							第3次総合計画（次期計画※R8～）							
基本目標名	第4章 生きがいと安心の地域づくり						基本目標名	1 みんなでつくるまち						
施策名	4-15 女（ひと）と男（ひと）が互いに認め合うまちづくりの推進						施策名	女（ひと）と男（ひと）が互いに認め合うまちづくりの推進						
◇現状・課題														
【第2次総合計画の記載内容】							【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】							
●若年層では性別による固定的役割分担意識は希薄になっていますが、社会全体では固定的役割分担意識が根強く残っています。女性が社会参画しやすい環境整備が必要です。 ●家庭・学校・職場・地域社会など、あらゆる場面で男女共同参画社会の実現に向けた啓発が必要です。							●家事・育児・介護など、性別により依然として負担に偏りがあります。女性が社会参画しやすい環境整備が必要です。 ●高齢層を中心に、性別による固定的な役割分担意識が根強く残っています。家庭や職場、学校等あらゆる場面で男女共同参画への理解を深めるための啓発が必要です。 ●配偶者等からの暴力を受けた際、相談しなかった人の割合が高く、暴力防止のための意識啓発、相談窓口の周知が必要です。							
◇5年後のいなべ市の姿（施策の目的）														
【現行計画の記載内容】							【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】							
●女性の社会参画しやすい環境が整備され、性別に関係なく個性と能力が発揮されています。							●性別に関係なく、市民一人ひとりが自分らしい生き方を選択し、互いに認め合い、いきいきと暮らしています。							
◇基本事業1 男女共同参画の環境づくり							◇基本事業1 男女共同参画の推進							
1. 事業内容【現行計画の記載内容】							1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】							
●女性も男性も、家庭、子育て・教育、まちづくりなどあらゆる分野において、互いに認め合い、誰もが個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会をつくりまします。							「女性が働きやすく活躍できる環境づくり」、「誰もが自分らしく暮らせる環境づくり」、「あらゆる暴力の根絶」を市行政が連携し、推進します。							
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】							2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】							
●男女共同参画啓発事業 ●男女共同参画推進事業							●男女共同参画啓発事業 ●男女共同参画推進事業							
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】														
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）						
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
審議会等への女性登用率（各年）（女性委員数／審議会等の総委員数）	%	○	21.8	22.8	25.3	26.0	30							
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17	
市民の男女の固定的役割分担意識に否定的な意見の割合（各年延べ）	%		1					81%	82%	83%	84%	85%	90%	
◆指標の補足説明があれば記載 審議会への女性登用数はただ数だけ増えればいいわけではなく、男女共同参画の意識が高まった結果として女性登用数が伸びるという過程が重要であることから、固定的役割分担意識が伺える指標へと変更しました。なお、数値は、いなべ市男女共同参画第4次推進計画の実績値及び目標値を参考にしました。														

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

						記入者		(企画部政策課 課長 小谷直仁)						
第2次総合計画（現行計画）						第3次総合計画（次期計画※R8～）								
共通目標名		共通目標3 定住・移住・交流の促進				基本目標名		1 みんなでつくるまち						
施策名						施策名		広域連携による定住・移住促進						
◇現状・課題														
【第2次総合計画の記載内容】						【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】								
●本市では企業誘致の推進等により、人口減少の抑制には一定の成果がみられていますが、少子高齢化の進行によって、農林業等の産業や地域活動等における担い手不足が課題となっています。 ●定住、移住、交流を促進するために、分野の垣根を越えた横断的、一体的で効果的な取組を推進する必要があります。						●市民満足度調査において、「いなべ市への誇りや愛着を感じている」割合は、減少傾向が見受けられます。一方で、中学生、高校生調査においては、大幅な増加傾向が見受けられます。 ●交流人口の拡大と共に、新たな雇用機会の創出や地域の魅力向上、地域コミュニティの活性化へとつなげることが必要です。 ●地域おこしに携わる人や特徴のある場所を市町や分野を越えて人をつなぐことで、定住、移住、交流を促進させることが必要です。								
◇5年後のいなべ市の姿（施策の目的）														
【現行計画の記載内容】						【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】								
●U I J ターンの促進により、地方の担い手不足が解消されています。						●地方創生による拠点整備や東海環状自動車道の全線開通により、観光をはじめとする交流人口が増加し、地域や地域の人々と多様に関わる関係人口の創出が推進されています。								
◇基本事業1		広域連携による定住・移住の促進				◇基本事業2		広域連携による定住・移住促進						
1. 事業内容【現行計画の記載内容】						1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】								
●多様な分野を通じた取組により、東京圏等からのU I J ターンを促進し、地方の担い手不足対策を図ります。						●更なる人口減少の深刻化が見込まれる中、行政サービスを持続的に提供していくために、他の地方公共団体と連携して、公共施設の集約化・複合化など、連携・協力する事により、圏域全体の生活機能を確保し、人口定住を促進します。								
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】						2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】								
●移住・定住促進事業						●移住・定住促進事業 ●定住自立圏構想推進事業 ●桑名・員弁広域連合事業								
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】														
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）						
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
移住支援事業補助金を活用して移住した世帯数（各年延べ）	件	○	0	1	0	0	1							
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17	
いなべ市の人口	人		45,250	44,763	44,691	44,656	0	人口ビジョンに合わせて目標値を設定（策定中）					43,000	42,000
◆指標の補足説明があれば記載 広域連携による定住・移住促進を行うことで、都市部への人口流出減少に歯止めをかけ圏域への人の流れを創出していきます。														

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

				記入者	(企画部政策課 課長 小谷直仁)									
第2次総合計画（現行計画）				第3次総合計画（次期計画※R8～）										
共通目標名				基本目標名		1 みんなでつくるまち								
施策名				施策名		外部人材の活用による地域活性化の推進								
◇現状・課題														
【第2次総合計画の記載内容】				【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
				●いなべ市に移住し、地域の魅力発掘・PR、農林水産業の従事、住民生活支援など、多岐に渡って地域活性化や課題解決に取り組む地域おこし協力隊の活用が必要です。 ●行政の考え方に捉われない柔軟な発想とアイデアを持ち、専門的な知見を持った民間人材である地域活性化起業人の活用が必要です。 ●高齢化が進む集落を維持・活性化するために、地域の実情に精通し、集落対策のノウハウを持つ人材が集落の巡回、状況把握等を実施する集落支援員の活用が必要です。										
◇5年後のいなべ市の姿（施策の目的）														
【現行計画の記載内容】				【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
				地域の新たな魅力が創出されたり、民間のノウハウが蓄積され、自ら企画立案等が実施できる体制や地域課題に柔軟に対応できる体制が整いつつあります。										
◇基本事業1				◇基本事業1 外部人材の活用による地域活性化の推進										
1. 事業内容【現行計画の記載内容】				1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
				●外部人材を有効活用することにより、地域の課題解決及び都市部からの移住促進を行います。										
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】				2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
				●地域おこし協力隊事業 ●地域おこし協力隊事業募集事業 ●地域活性化起業人事業 ●集落支援員事業										
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】														
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）						
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17	
地域おこし協力隊員、地域活性化起業人数（各年）	人		40	40	34	28	30	30	35	35	35	35	35	
							(予算上)							
◆指標の補足説明があれば記載 少子高齢化における人材不足、多様化する市民ニーズへの対応、デジタル化の推進といった背景の中、専門的な知識やスキルを持つ外部人材を活用することで、人材不足の解消や新たな視点の導入、業務の効率化、そして住民サービスの向上につなげるため、この目標値としています。外部人材のうち起業人数は、全国で1番多い実績にあります。														

2 「こどもまんなか」 みんなで学ぶまち

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

		記入者	健康こども部 保育課 春日部丈夫 健康こども部 こども政策課 出口美紀
第2次総合計画（現行計画）		第3次総合計画（次期計画※R8～）	
基本目標名	第4章 生きがいと安心の地域づくり	基本目標名	2 「こどもまんなか」 みんなで学ばまち
施策名	4-5 保育サービスの充実	施策名	保育サービスの充実
◇現状・課題			
【第2次総合計画の記載内容】		【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】	
●女性の就労や育児休業制度の普及等により、子育て家庭においても共働きが増えています。 ●勤務状況に応じた保育や、急な用事、育児疲れ解消等、保育ニーズが多様化しています。保護者のニーズに柔軟に対応した保育サービスを提供するとともに、子どもの心身の健やかな成長のための、家庭と連携した健康教育（食育を含む）を充実していく必要があります。 ●全ての子育て家庭が、不安や負担を抱え込むことなく子育てができるように、利用者の多様なニーズを十分にふまえたサービスの提供体制を整備するとともに、サービスがより身近なものとして利用できるような工夫が必要です。 ●子育て支援においては、妊娠、出産期からの切れ目のない支援に配慮することが重要であり、母子保健施策との連携確保が必要です。		●共働きやひとり親家庭の増加に加え、在宅勤務やシフト勤務など働き方が多様化しており、保育の質を確保しつつ多様なニーズに応じた保育サービスの提供体制の強化が求められています。 ●こどもの心身の健康を守るために、家庭と保育施設の連携を強化し、健康教育や食育を推進し、保護者とともに成長を支える環境づくりが求められています。 ●サービスの存在を知らない、利用方法が分からないという保護者のため、情報発信が必要です。 ●妊娠期からの切れ目のない支援に配慮し、育児不安や疲れによる保護者の心身の負担を軽減し、孤立を防ぐため、母子保健との連携が必要です。	
【現行計画の記載内容】		【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】	
●子どもたちが心身ともに健やかに成長でき、安心して子育てができる環境の整備が進んでいます。		●子どもたちの心身の健やかな成長と、安心して子育てができる環境の整備が進められています。	
◇基本事業1	保育サービスの充実	◇基本事業1	保育サービスの充実
1. 事業内容【現行計画の記載内容】		1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】	
●利用者の多様なニーズを十分にふまえた保育サービスの提供体制を整備します。 ●全ての人が、子育てに対する不安や負担を抱え込むことなく、ゆとりをもって子育てができるよう、きめ細やかな保育サービスを提供します。 ●子どもを預かる場所の充実により、子育てと仕事を両立させることができる環境を整備します。		●働き方の多様化に対応しつつ、質の高い保育サービスを提供できる体制を整備します。 ●保護者が不安や孤立を抱えることなく、地域や専門機関とつながりながら、安心して子育てできる環境を構築します。 ●妊娠・出産・育児の各段階で必要な支援が継続して受けられるよう、関係機関の連携強化と支援体制を推進します。	
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】		2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】	
●放課後児童健全育成事業 ●送迎バス運行事業 ●放課後児童クラブ施設整備事業 ●保育士研修事業 ●私立保育園運営支援事業 ●公立保育園運営事業（人材確保） ●私立保育園整備補助事業 ●公立保育園運営事業（包括予算） ●公立保育園整備事業 ●公立保育園維持修繕事業		●公立認定こども園運営事業（人材確保） ●公立認定こども園運営事業（包括配分） ●公立認定こども園維持修繕事業 ●保育士研修事業 ●私立認定こども園等運営支援事業（民生） ●私立認定こども園等施設整備補助事業 ●みえ子ども・子育て応援総合補助金事業（保育） ●空閑こども園再建事業 ●私立認定こども園等運営支援事業（教育） ●病児保育事業	

3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】													
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）					
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12
待機児童数（各年）	人	○	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放課後児童クラブ設置箇所数（累計）	箇所	—					12						
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
◆指標の補足説明があれば記載 待機児童数は、国や自治体において広く用いられている指標であり、保育の需要と供給のバランスを客観的に示し、計画の進捗や効果を具体的に評価しやすいため。													

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

		記入者	健康こども部 母子保健課 坂田伸也 こども政策課 出口美紀
第2次総合計画（現行計画）		第3次総合計画（次期計画※R8～）	
基本目標名	第4章 生きがいと安心の地域づくり	基本目標名	2 「こどもまんなか」みんなで学ばまち
施策名	4-6 地域における子育て支援の充実	施策名	地域における子育て支援の充実
◇現状・課題			
【第2次総合計画の記載内容】		【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】	
●都市化や高齢化の進行により、地域関係が希薄化し、地域における子育て支援の機能が低下しています。 ●少子化や核家族化、共働きの増加などの家庭環境の変化により、身近に相談できる人がいないなど子育て家庭が孤立し、子育てに対する不安や負担を感じる親が増えてきています。		●働き方の変化や高齢化、単身世帯の増加等により地域の結びつきが薄れ、地域における子育て支援の機能が低下しています。 ●少子化や核家族化、共働きの増加などの家庭環境の変化により、身近に相談できる人がいないなど子育て家庭が孤立し、子育てに対する不安や負担を感じやすい親が増えています。 ●自然環境や生活環境が変化する中、子育て中の親子が木や森などの自然に触れる機会が少なくなっており、自然とのつながりを感じるここのできる環境整備が求められています。	
◇5年後のいなべ市の姿（施策の目的）			
【現行計画の記載内容】		【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】	
●家庭、学校・保育園等、地域が一体となって、子ども自らの力を培い、伸ばし、支えていく教育・保育環境づくりが進められています。		●家庭・地域・子育て支援センターが一体となって、子育て世帯を支え、子どもがすくすく育つ環境づくりが進められています。 ●こども計画に基づき、包括的な子育て支援が進められ、「こどもまんなか社会」が実感できる環境整備が進められています。 ●乳幼児期から木に親しむ機会があり、こどもや保護者が集えるイベントの開催など木育を推進する環境整備が進められています。	
◇基本事業1	地域における子育て支援の充実	◇基本事業1	地域における子育て支援の充実
1. 事業内容【現行計画の記載内容】		1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】	
●地域の実情に合わせ、子育て家庭が社会において孤立しないよう、家庭や地域、企業、学校、保育園等がそれぞれの機能を発揮するとともに連携を強化し、身近な地域における子育て支援を推進します。 ●子育て支援センターを中心に、地域ぐるみの子育てを推進します。また、子どもの社会性を育むため、子どもたちが仲間や地域の人と触れ合う場へ参加できる施設や事業の充実を図ります。 ●乳幼児と保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育ての相談、情報の提供、助言を行います。また、市民参加による子育て支援を充実させます。		●地域の実情に合わせ、子育て家庭が孤立しないよう、家庭・地域・子育て支援センターがそれぞれの機能を発揮するとともに連携を強化し、身近な地域における子育て支援を推進します。 ●子育て支援センターを中心に、地域ぐるみの子育てを推進します。また、子どもの社会性を育むため、同年代の仲間や地域の人と交流できる場へ参加できる施設や事業の充実を図ります。 ●子ども同士・保護者同士が交流できる場を開設するとともに、乳幼児と保護者がより良い関わり方をできるよう、子育ての相談、情報の提供、助言を行います。また、市民参加による子育て支援を充実させます。 ●子育て家庭や若者等の意見や希望を踏まえ、こども計画に基づき、包括的な子育て支援施策を推進します。 ●自然とのつながりを感じ、豊かな心を育めるよう乳幼児期から木のぬくもりに触れる機会を増やすとともに、こどもや保護者が集える自然体験イベントなど木育を推進する環境を整えます。	
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】		2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】	
●ファミリーサポートセンター事業 ●ブックスタート事業 ●ブック・Re…スタート事業 ●子ども・子育て支援事業計画推進事業 ●地域子育て支援事業		●ファミリーサポートセンター事業 ●いなもく・ブックスタート事業 ●地域子育て支援センター事業 ●結婚応援事業 ●子育て相談・情報発信事業（利用者支援事業） ●こども計画推進事業 ●児童手当事業 ●木育推進事業	

3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】													
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）					
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12
ファミリーサポートセンター会員数（各年）	人	○	465	470	475	480	485	485	485	485	485	485	485
子育て支援センター利用者数（各年延べ）	人	○	22,374	25,207	27,250	30,479	36,000	31,000	31,000	31,000	31,000	31,000	31,000
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
◆指標の補足説明があれば記載 ・ファミリーサポートセンター会員数は、過去の実績値やこどもの数の推移を予測した上で、地域で子育てに関わる会員数を維持するため。 ・子育て支援センター利用者数は、コロナ禍で職員が地域へ出向く機会を減らしていたが、支援センターまで来館しづらい保護者が参加できるよう地域での活動を増やし利用者を増やすため。													
◇基本事業1						◇基本事業2 こどもの居場所づくり							
1. 事業内容【現行計画の記載内容】						1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）							
						●小学生児童の健全育成を図るため、放課後や長期休暇におけるこどもの居場所づくりを進めます。 ●子育て家庭が希望する全天候型、安全安心で気軽に利用でき、木のぬくもりを感じることができる「こども子育て拠点施設」を整備します。 ●中高生等が気軽に利用できる居場所の整備を進めます。 ●こども食堂の推進とこども食堂以外のこどもの居場所づくりやこどもの育ちに必要事業を検討します。							
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】						2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）							
						●放課後児童健全育成事業 ●放課後児童クラブ施設整備事業 ●こども子育て拠点整備事業 ●こども応援事業							
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】													
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）					
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12
放課後児童クラブ設置箇所数（累計）	箇所	—					12	14	14	14	14	14	14
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
こども食堂運営補助金活用団体数	箇所	—				6		9	10	11	11	11	11
◆指標の補足説明があれば記載 こども食堂運営補助金活用団体数は、小学校区（11箇所）の設置を目指し、子どもたちが地域で集える場を増やすため。													

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

		記入者	発達支援課 課長 藤井 さをり
第2次総合計画（現行計画）		第3次総合計画（次期計画※R8～）	
基本目標名	第4章 生きがいと安心の地域づくり	基本目標名	2 「こどもまんなか」 みんなで学ばまち
施策名	4-7 子どもの発達を支えるチャイルドサポートの充実	施策名	子どもの発達を支えるチャイルドサポートの充実
◇現状・課題			
【第2次総合計画の記載内容】		【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】	
●本市では福祉と教育が連携し、子どもの発達について途切れない支援ができるシステムを構築しています。小中学校での特別支援教育に先がけ、就園率が高い特徴を活かし、保育園において特別支援保育を進めています。 ●以前に比べ、発達障がいについての理解は進んでいますが、市民に広く理解されているわけではありません。 ●子どもの発達について悩みを抱える保護者の困り感を把握し、早期から関係機関による一体的な支援が始められるように、発達支援課に相談窓口を集約しました。専門的な相談等が継続して受けられるよう、専門職の確保を行い、さらに相談体制を充実させる必要があります。 ●障がいの有無を問わず地域の中での子育て・子育てをめざし、市内に療育施設を設けず、保育園や小中学校での療育支援体制の充実を図っています。		●本市では、母子保健、保育、教育、福祉、医療が連携し、子どもの発達について途切れない支援を提供するシステムを構築しています。 ●インクルーシブの実現に向けて、子どもが生活する場である、こども園等の保育施設や小中学校において、療育支援・発達支援の充実を図っています。 ●子どもの発達上の課題を早期に発見して適切に支援するため、継続的に専門職の確保に取り組みながら相談支援体制の充実を図ることが必要です。 ●子どもを取り巻く環境の変化やサービスの多様化等に伴い、関係機関と連携した一体的な支援が必要です。 ●発達障がいについての理解は進んでいますが、子どもが育つ場における環境の整備や適切な対応については十分とはいえません。 ●発達に課題を抱える子どもが適切に支援されるよう、こども園等の保育施設における特別支援保育、小中学校等における特別支援教育の更なる充実に向けて取り組むことが必要です。	
◇5年後のいなべ市の姿（施策の目的）			
【現行計画の記載内容】		【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】	
●子どもの発達に悩みを抱える保護者に対して、専門職が適切なアドバイスや相談・支援を行うことで、子どもが健やかに成長しています。 ●母子保健、保育、教育、障がい福祉の各部門が連携し、出生から就労まで途切れない支援が行われています。		●子どもの発達に悩みを抱える保護者に対して、専門職が適切なアドバイスや相談・支援を行うことで、子どもが健やかに成長しています。 ●母子保健、保育、教育、障がい福祉、医療が連携し、出生から就労まで途切れない支援が行われています。	
◇基本事業1	チャイルドサポートの充実	◇基本事業1	
1. 事業内容【現行計画の記載内容】		1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】	
●子どものライフステージにあわせ、母子保健、保育、教育、障がい福祉の各部門が連携し、発達に支援を要する子どもを、出生から就労まで途切れなくつなぎ、支援します。		●子どものライフステージにあわせ、母子保健、保育、教育、障がい福祉、医療が連携し、発達に支援を要する子どもを、出生から就労まで途切れなく支援します。	
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】		2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】	
●療育支援事業 ●発達支援事業 ●障がい児子育て支援事業		●療育支援事業 ●発達支援事業 ●発達支援医療連携事業 ●障がい児子育て支援事業	

3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】													
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）					
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12
こどもの発達に関わる相談件数（発達検査等を含む）（各年延べ）	件	○	484	508	555	563	370						
個別療育・小集団療育を受ける子どもの数（各年）	人	○	27	34	43	50	50	50	50	50	50	50	50
指標の変更、追加↓			R4	R5	R6	R7	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
医療連携会議等の回数と医療巡回訪問の回数（合計）	回							20	20	20	20	20	20
◆指標の補足説明があれば記載 ・関係機関との連携の必要性が高まっていることから、「子どもの発達にかかわる相談件数（発達検査等を含む）（各年延べ）」を医療を必要とする子どもの支援を検討する「医療連携会議等の回数と医療巡回訪問の回数（合計）」に変更。													

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

				記入者	健康こども部 健康こども部	家庭児童相談室	谷口 博								
第2次総合計画（現行計画）				第3次総合計画（次期計画※R8～）											
基本目標名	第4章 生きがいと安心の地域づくり			基本目標名	2 「こどもまんなか」みんなで学ばまち										
施策名	4-8 要保護、要支援児童へのきめ細やかな取組の推進			施策名	要保護、要支援児童へのきめ細やかな取組の推進										
◇現状・課題															
【第2次総合計画の記載内容】				【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】											
●全国的に児童虐待の状況は相談件数の増加とともに、その内容も複雑、困難化し、ますます深刻な社会問題となっています。児童虐待は、子どもへの身体的な影響だけでなく、心の発達や人格の形成に深刻な影響を与えることから、発生予防や早期発見、早期対応を行うことが必要です。そのため、関係機関との連携を図りながら、虐待等からの保護が必要な子どもとその家族に対する支援が必要です。 ●ひとり親家庭は、離婚の増加などにより年々増える傾向にあり、母子家庭においては経済的な問題を、父子家庭においては家事や子育てに不慣れなことから家庭生活における多くの問題を抱えているケースが少なくありません。今後もひとり親家庭の親と子が安心して暮らしていけるよう、精神的や経済的な支援に関する情報や相談体制を充実していく必要があります。				●全国的に児童虐待の相談件数は増加しており、問題はより複雑化・深刻化しています。児童虐待は、こどもの身体だけでなく、心の発達や人格形成にも重大な影響を及ぼすため、発生予防や早期対応が重要です。そのため、関係機関と連携し、虐待からの保護が必要な子どもとその家族への支援を強化することが求められます。 ●ひとり親家庭は、生活面、経済面など多面的な問題を抱えているケースが少なくありません。今後もひとり親家庭の親と子が安心して暮らしていけるよう、精神的や経済的な支援に関する情報や相談支援体制の充実が必要です。											
【現行計画の記載内容】				【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】											
●児童虐待の発生予防及び早期発見の体制が充実し、特に配慮を必要とする子どもと家庭への支援が推進されています。 ●経済的に自立し、安定した生活の中で児童を健全に育てられる環境づくりが推進されています。				●児童虐待の発生予防や早期発見の体制が整備され、特に支援が必要な子どもや家庭へのサポートが強化されています。 ●ひとり親家庭が経済的に自立し、安定した生活の中で児童を健全に育てられる環境づくりが推進されています。											
◇基本事業1 児童虐待防止対策の推進				◇基本事業1											
1. 事業内容【現行計画の記載内容】				1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】											
●児童虐待は、子どもの心身の発達や人格の形成に重大な影響を与えます。育児不安や児童虐待の早期発見に努め、訪問による援助、養育指導を拡大します。				●児童虐待は、こどもの心身の発達や人格形成に深刻な影響を及ぼします。育児不安の軽減や児童虐待の早期発見に努め、家庭訪問による支援や養育指導の充実を促進します。 ●こども家庭センターの機能強化を図り、相談支援体制を充実させます。											
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】				2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】											
●家庭児童相談事業 ●要支援児者支援対策事業				●家庭児童相談事業 ●要支援児者支援対策事業 ●助産施設措置事業 ●母子生活支援施設措置事業											
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】															
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略KPI	第2次実績値（年度）					第2次目標値	第3次目標値（年度）						
			R3	R4	R5	R6	R7		R8	R9	R10	R11	R12	R17	
訪問回数（各年延べ）	人	—	171	307	375	438	450	450	450	450	460	460	460		
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17		
◆指標の補足説明があれば記載 家庭児童相談室が実施する訪問回数は、家庭や児童に対して継続的かつ密接な支援を行っていることがわかり、また虐待の早期発見や早期対応につながることから、目標値に設定した。															

◇基本事業2		ひとり親家庭等への支援の充実					◇基本事業2		ひとり親家庭等への支援の充実				
1. 事業内容【現行計画の記載内容】							1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】						
●ひとり親家庭の自立を支援するため、相談支援や各種手当等の経済支援の充実など、ひとり親家庭に対する生活面、経済面などの多面的支援を行います。 ●児童扶養手当支給に加え、本市の独自施策である、ひとり親家庭等就学金支給を継続し、経済的な自立を促進します。							●ひとり親家庭の自立を支援するため、相談支援や各種手当等の経済支援の充実など、ひとり親家庭に対する生活面、経済面などの多面的支援を行います。 ●ひとり親家庭の児童に対し、負担が大きく生じる入学等の準備のための経済支援を行います。 ●ひとり親家庭が養育費を確実に受け取れるよう支援するため、公正証書の作成費用と養育費保証契約に係る保証料を補助します。						
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】							2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】						
●要支援児者支援対策事業 ●助産施設措置事業 ●母子生活支援施設措置事業 ●ひとり親家庭等就学金支給事業 ●児童扶養手当給付事業 ●自立支援教育訓練給付金事業 ●高等技能訓練促進事業							●児童扶養手当給付事業 ●自立生活支援事業 ●ひとり親家庭支給事業						
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】													
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）					
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12
支度金の受給世帯（累計）	件	—					160	150	140	140	140	140	140
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
自立生活支援事業給付金申請件数	件	—						1	1	1	1	1	1
養育費公正証書等作成補助金交付申請件数	件	—						5	6	7	8	9	10
◆変更、追加した指標の補足説明があれば記載 養育費公正証書等作成補助金交付申請件数は、補助金の活用を増やし、養育費を確保することでひとり親の経済的な安定を図るため。													

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

		記入者	健康こども部 母子保健課											
第2次総合計画（現行計画）		第3次総合計画（次期計画※R8～）												
基本目標名	第4章 生きがいと安心の地域づくり	基本目標名	2 「こどもまんなか」みんなで学ばまち											
施策名	4-4 子どもと母親の健康の確保	施策名	子どもと母親の健康の確保											
◇現状・課題														
【第2次総合計画の記載内容】		【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】												
●核家族化の進行や地域とのつながりの希薄化、共働き世帯の増加などにより、子育て環境は大きく変化しています。 ●妊産婦に対する健康診査をはじめ、母子保健に関する知識の普及、妊産婦等への保健指導その他母子保健関連事業等を推進することが必要となっています。 ●母親が住み慣れた地域で安心して子どもを産み育てられるように、相談や指導の体制、質を充実させていくことが必要です。 ●乳幼児期からの正しい食習慣の定着のため、離乳食等についての食に関する学習の機会や適切な情報提供が必要となっています。		●核家族化や地域とのつながりの希薄化、共働き世帯の増加により、育児環境は大きく変化しています。 ●妊産婦の健康診査をはじめ、母子保健に関する知識の普及や保健指導を推進して、母親が安心して妊娠・出産・育児できる環境整備が必要です。 ●住み慣れた地域で安心して子どもを育てられるよう、相談・指導の支援体制を充実させるとともに質を向上させることが必要です。 ●乳幼児期からの正しい食習慣の定着に向け、離乳食に関する学習機会や適切な情報提供を拡充し、健康的な成長を促進することが必要です。												
◇5年後のいなべ市の姿（施策の目的）														
【現行計画の記載内容】		【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】												
●母子保健事業のきめ細かな実施や関係機関との連携により、子どもを安心して産み育てることのできる環境が整備されています。		●母子保健にかかる事業の実施や関係機関との連携により、子どもを安心して産み育てることのできる環境が整備されています。												
◇基本事業1	子どもと母親の健康の確保	◇基本事業1	子どもと母親の健康の確保											
1. 事業内容【現行計画の記載内容】		1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】												
●保健師、栄養士などの専門職による教室や自宅訪問により、相談、指導を行うことで、住み慣れた地域で安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進します。		●保健師や栄養士が教室や自宅訪問を行い、相談・指導を提供することで、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進します。												
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】		2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】												
●母子保健事業 ●不妊治療事業		●妊婦応援事業 ●産後ママ・赤ちゃん支援事業 ●子どもの健診・教室事業 ●出産・子育てよりそい支援事業												
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】														
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）						
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
こにちは赤ちゃん訪問率（各年）（訪問した赤ちゃんの数／出生数）	%	○					100	100	100	100	100	100	100	
不妊治療の助成申請者数（各年延べ）	人	○					27							
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17	
妊娠8か月教室の参加率（個別対応を含む）	%							100	100	100	100	100	100	
1歳6か月健診、3歳6か月健診の受診率	%							100	100	100	100	100	100	
妊婦支援給付金を支給した人数	人							280	280	280	280	280	280	
◆指標の補足説明があれば記載														
・妊娠8か月教室の参加率は、当日参加以外でも訪問・面接等に対応した人数を含める。 ・1歳6か月健診、3歳6か月健診の受診率は、当日参加以外でも訪問・面接等に対応した人数を含める。 ・当市は新生児から乳幼児の定期的な全数把握を行っており、今後も継続する指標を設定した。														

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

		記入者	(学校教育課、課長、北本吉宏)
第2次総合計画（現行計画）		第3次総合計画（次期計画※R8～）	
基本目標名	第3章 健やかに育ち個性が輝く人づくり	基本目標名	2 「こどもまんなか」みんなで学ばまち
施策名	3-1 「豊かな心・確かな学力・健やかな体」の育成	施策名	ウェルビーイング溢れる学校の創造
◇現状・課題			
【第2次総合計画の記載内容】		【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】	
●目の前の子どもの姿を出発点とし、「一人ひとりを大切にした授業づくり・集団づくり」と「地域に根ざした教育活動」に、学校と地域が一体となって取組を重ねてきました。本市の子どもたちが高い自己肯定感を持ち、学校生活に満足感を持つことができるよう、今後も継続した取組が必要です。 ●近年では、コミュニケーション能力の低下や、それに基づく人間関係の希薄化、個の確立ができていくなどの課題がみられます。 ●「生き抜く力（智）・生き合う力（絆）・生き拓く力（志）」の3つの力を育み、義務教育9年間の学びと育ちをつなぐ教育を推進するため、小中一貫教育による新たな学校づくりを進めています。この際、地域が子育て支援に継続して取り組めるような工夫が必要です。		●目の前の子どもの姿を出発点とし、「一人ひとりを大切に授業づくり・集団づくり」と「地域に根ざした教育活動」に、学校、保護者、地域が一体となって取組を重ねてきました。本市の子どもたちが「基本的自己肯定感（自己受容）」と「社会的自己肯定感」をバランスよく涵養し、学校生活に満足感を持つことができるよう、今後も継続した取組が必要です。 ●「生き抜く力（智）・生き合う力（絆）・生き拓く力（志）」の3つの力を育み、義務教育9年間の学びと育ちをつなぐ教育を推進するため、小中一貫教育による学校づくりを進めてきました。今後はさらに、小中学校・こども園・家庭・地域がつながり、非認知能力の育成に向け、乳幼児期から学童期をつなぐ一貫した保育・教育の推進に向けた体制づくりが必要です。 ●コミュニケーション能力の低下や、それに基づく人間関係の希薄化、個の確立ができていくなどの課題がみられる中、人同士が触れ合い、関わり合う中で、対話や協働、学び合いや教え合い等を通じて、より良い人間関係を構築することが必要です。	
◇5年後のいなべ市の姿（施策の目的）			
【現行計画の記載内容】		【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】	
●小中一貫教育を展開し、質の高い教育を実現することで、「生き抜く力（智）・生き合う力（絆）・生き拓く力（志）」が育まれ、子どもたちの幸せが保証されています。 ●一人ひとりの状況を的確に把握し、その子にあった支援を行うことで、全ての子どもが安心して学べる学級、学校づくりが実現されています。 ●心を耕す教育を進めるとともに、人権尊重の意識と実践力を養うことで、人権文化を構築する主体者が育まれています。		●乳幼児期から学童期をつなぐ一貫した保育・教育の実践を通して、質の高い、深い学びが実現し、「生き抜く力（智）・生き合う力（絆）・生き拓く力（志）」が育まれ、ウェルビーイング溢れる学校が創造されています。 ●一人ひとりの状況を的確に把握し、その子にあった支援を行うことで、全ての子どもが安心して学べる学級、学校づくりが実現しています。 ●すべての教育活動において人権教育を進めるとともに、人権尊重の意識と実践力を養うことで、人権文化を構築する主体者が育まれています。 ●市の教育水準の向上が図られるとともに、教職員の専門的知識、技能が高まり、資質及び指導力の向上が図られています。	

◇基本事業1		一人ひとりを大切に教育の推進					自律と共生を育む教育の推進						
1. 事業内容【現行計画の記載内容】 ●小中学校における一人ひとりを大切に教育の充実を図るために、支援が必要な子どもへの支援、教師の専門性の育成、外部（一人ひとりを大切に教育の推進機関）との連携等を推進します。また、小中学校における特別支援教育等の充実を図ります。							1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】 ●一人ひとりのよさや可能性を生かすことを大切に教育を進めるとともに、関係機関と連携・協働することで、支援が必要な子どもの成長を促します。 ●子どもたちの育ちを人権の視点で捉え、中学校区において保小中の連携を進めるための研修会を実施します。また、各校の取組の交流、話し合いを通じて、いじめ等の人権問題についての感性を養います。 ●非認知能力の育成に向け、小中学校における校外活動や、中学校の部活動等の豊かな体験活動の機会を保障します。						
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】 ●児童・生徒特別支援推進事業 ●就学扶助事務（小学校） ●不登校児童・生徒対策事業 ●生徒指導事業 ●特別支援学級児童・生徒交流事業 ●ことばの教室事業 ●就学扶助事務（中学校）							2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】 ●不登校児童・生徒対策事業 ●特別支援教育推進事業 ●人権教育推進事業 ●生徒指導事業 ●夢・未来プロジェクト2030事業 ●部活動振興事業 ●楽器寄附受入事業 ●社会体験推進事業（小学校） ●社会体験推進事業（中学校）						
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】													
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）					
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12
教育委員会主催の特別支援・不登校対策の研修会参加者数（累計）	人	—	1,577	1,822	2,088	2,409	1,700	2,520	2,640	2,760	2,880	3,000	3,120
県スクールソーシャルワーカーや関係機関との連携件数（各年）	件	—				42	50						
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
人権教育研修会の参加率（各年）（研修参加教員数／総教員数）	%							100	100	100	100	100	100
教育委員会主催の特別支援・不登校対策の研修会参加者数				245	266	321		250	250	250	250	250	250
◆指標の補足説明があれば記載 ①人権教育の研修に参加し、教員の人権認識を高め指導につなげることが、「より良い人間関係の構築」には必要不可欠であると考えられるため、この指標を設定した。 ②特別支援・不登校対策の研修に参加し、教員の指導力及び対応力を高めることは、「一人ひとりを大切に教育」の推進につながると考えるため、この指標を設定した。また、本テーマに関する研修の重要度も高まっていることから、この研修を受講する教員を増やすために、指標を累計から変更するとともに、毎年の目標人数も増加させた。													

◇基本事業2			人権教育内容の充実			◇基本事業2			教育力・授業力の向上					
1. 事業内容【現行計画の記載内容】						1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】								
●子どもたちの育ちを人権の視点で捉え、中学校区において保小中の連携を進めるための研修会を実施します。また、東員町とも連携を図り、員弁地区人権フォーラムを開催し、小学校・中学校の児童生徒による、各校の取組や交流、話し合いを通じて、いじめ等の人権問題についての感性を養います。						●ICT教育や外国語教育、読書活動等がより充実するための学習環境を整備するとともに、教師の授業力・指導力の向上を図ります。 ●乳幼児期から学童期を見通した一貫した連続性・一貫性のある学習指導・生徒指導に向けて研究を進めます。また、客観的データ（学力調査・アンケート調査）を活用し、学習意欲の向上や居心地のよい学級集団づくりにいかします。 ●教職員研修の充実により、今日的な教育課題やいなべ市独自の教育課題の調査、研究を進めるとともに、教職員一人ひとりの資質、指導力の向上を図ります。 ●各校の地域的な特色を活かしたテーマ（環境、食育、国際理解、福祉など）による学習活動の充実を図ります。また、地域の方々の教育活動への参画の機会を計画することで、地域との交流促進を図ります。								
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】						2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】								
●人権教育推進事業						●学習指導要領改訂事業 ●学校ICT活用事業 ●GIGAスクール構想整備事業 ●外国人英語指導授業 ●小中一貫教育推進事業 ●学校図書館事業 ●教育総合研究所事業 ●未来いなべ科事業（小学校） ●未来いなべ科事業（中学校）								
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】														
指標名（各年・累計）		単位	総合戦略KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）					
				R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12
人権研修会の参加率（各年）（研修参加教員数／総教員数）		%	—	100	100	100	100	100						
指標の変更、追加↓				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
小中一貫教育研究発表会参加者数（各年）		人							200	200	200	200	200	200
研修会参加者が受講内容を日常実践や校内研修に活用している割合（各年）		%							85	85	85	85	85	85
◆指標の補足説明があれば記載														
①「小中一貫教育研究発表会」は、乳幼児期から学童期を見通した一貫した連続性・一貫性のある学習指導・生徒指導に向けて研究の成果を発表する機会であり、この研究の成果を学ぶことはさらなる発展につながると考えるため、この指標を設定した。														
②研修会参加者が受講内容を日々の実践等につなげることは、教員の指導力を向上させるとともに、児童生徒の学習意欲や人間関係づくりを向上させることにつながると考えるため、この指標を設定した。														

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

		記入者	(学校教育課、課長、北本吉宏)
第2次総合計画（現行計画）		第3次総合計画（次期計画※R8～）	
基本目標名	第3章 健やかに育ち個性が輝く人づくり	基本目標名	2 「こどもまんなか」みんなで学ばまち
施策名	3-2 創意と活気に満ちた特色ある学校づくりの推進	施策名	学校教育環境の充実
◇現状・課題			
【第2次総合計画の記載内容】		【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】	
●地域の实情に応じて、環境や福祉教育、米づくりや栽培等の様々な体験活動を通して、各校が特色ある学校づくりを展開するとともに、家庭や地域との連携、協働関係を強化しながらコミュニティ・スクールの指定や学援隊、学び舎事業の推進等を通じて地域とともに歩む学校づくりを進めており、今後も継続した取組が必要です。 ●ICT機器の整備による情報教育の推進や国際化の進展、社会の変化等に柔軟に対応できる能力を育成する教育を推進しています。 ●家庭、地域及び行政、関係機関等、社会全体で学校を支援する体制を整えながら、創意と活気に満ちた特色ある学校づくりを行っていくことが重要です。 ●義務教育の9年間を見通した小中一貫教育を小学校再編とともに進めてきました。また、小中一貫教育の実施にあたっては、保護者、地域、学校の連携がより深まるよう工夫することが重要です。 ●学校施設の耐震補強は完了していますが、老朽化した施設があるため、改築や改修が必要です。 ●大安学校給食センター及び藤原学校給食センターから小学校11校と中学校4校に給食を供給していますが、北勢町内の4小学校は自校式給食となっています。子どもたちの心身の健康と正しい食習慣の定着につながる、安全・安心な学校給食の提供が必要です。		●学習環境の整備や、きめ細やかな教育を推進するための人的配置が必要です。 ●児童生徒の健康保持・増進を図るために、健康状態を把握し、必要な指導助言を行うことで、健やかに学校生活を送れるようにすることが必要です。 ●義務教育に必要な経費を支援し、児童生徒が安心して教育を受けられる状況を保障することが必要です。 ●学校を取り巻く問題の複雑化・困難化に社会総がかりで対応していくためには、地域と学校の連携協働体制の整備が必要です。また、未来の創り手を育む「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、「地域と共にある学校づくり」と「学校教育を通じた地域づくり」の一体的な推進と一層の充実が必要です。 ●学校から離れた立地にある地区、小学校の統廃合及び分校の廃止に伴い、通学が困難な児童生徒についてスクールバスを運行し、安全な通学を支援することが必要です。	
◇5年後のいなべ市の姿（施策の目的）			
【現行計画の記載内容】		【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】	
●PTAや地域、関係機関との連携によって学校への協力支援体制が確立され、子どもたちが安心して学べる教育環境が整備されています。 ●コミュニティ・スクールや学援隊の充実により、創意と活気に満ちた特色ある学校づくりが推進されています。 ●各小中学校の生徒数や学級数等の規模が適正であり、義務教育9年間を見通した連続性、一貫性のある小中一貫教育が展開されています。 ●児童生徒が安心安全で快適に過ごせる学校環境が確保されています。		●児童生徒が安心して過ごせる学習環境が保障され、意欲的に教育を受けることができています。 ●コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の推進・充実によって、学校と地域が子どもたちの夢と健やかな成長を応援するためにつながり、豊かな学びが創造されています。 ●北勢中学校、藤原中学校、十社小学校、員弁西小学校及び藤原小学校の一部の地区について、スクールバスによる通学が行われています。	

◇基本事業1		地域に開かれた学校づくりの推進					◇基本事業1		学校教育環境の充実				
1. 事業内容【現行計画の記載内容】							1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】						
●未来いなべ科、学援隊事業、コミュニティ・スクールの各事業を密接に関連づけ、それぞれの事業での地域との交流及び支援の機会を増やすとともに、支援内容の広がりを図り、特色ある学校づくりを推進します。							●授業に関わること、通学または健診に関することなど、それぞれの事業で児童生徒及び保護者が安心して就学できるよう教育環境を整えます。 ●学校と地域が一体となった教育活動を推進するために、「コミュニティスクール（学校運営協議会を設置した学校）」と「地域学校協働委員会」の充実を図ります。 ●必要な小中学校に対し、安心安全な通学を保障するためスクールバスを運行します。						
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】							2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】						
●小規模特認校教育推進事業 ●学校地域活性化対策事業 ●コミュニティ・スクール推進事業 ●学援隊事業 ●PTA連合会事業							●学校支援事業 ●教育振興事業（小学校） ●教育振興事業（中学校） ●就学前検診事業 ●学校検診事業（小学校） ●学校検診事業（中学校） ●就学扶助事務（小学校） ●就学扶助事務（中学校） ●地域学校協働事業 ●スクールバス運行事業						
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】													
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）					
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12
各校に登録する学援隊員数（各年）	人	○	1,023	1,077	1,077	1,103	1,500						
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
学校における検診受診率（各年）（検診受診児童数／総児童数）	%	—					100	100	100	100	100	100	100
地域住民等の参画による地域学校協働活動の実施率								100	100	100	100	100	100
◆指標の補足説明があれば記載													
①児童生徒の健康保持・増進を図るために、健康状態を把握し、必要な指導助言を行うことで、健やかに学校生活を送れるようにすることは、児童生徒の成長を考えるうえで必要不可欠であると考え、この指標を設定した。													
②地域と学校の連携協働体制の整備及び協働活動を通じて、未来の創り手を育む「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、「地域と共にある学校づくり」と「学校教育を通じた地域づくり」の一体的な推進と一層の充実が必要であると考え、この指標を設定した。													

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

		記入者	教育委員会 教育総務課長 伊藤宗幸
第2次総合計画（現行計画）		第3次総合計画（次期計画※R8～）	
基本目標名	第3章 健やかに育ち個性が輝く人づくり	基本目標名	2 「こどもまんなか」みんなで学ばまち
施策名	3-2 創意と活気に満ちた特色ある学校づくり	施策名	学校環境整備の充実
◇現状・課題			
【第2次総合計画の記載内容】		【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】	
●地域の実情に応じて、環境や福祉教育、米づくりや栽培等の様々な体験活動を通して、各校が特色ある学校づくりを展開するとともに、家庭や地域との連携、協働関係を強化しながらコミュニティ・スクールの指定や学援隊、学び舎事業の推進等を通じて地域とともに歩む学校づくりを進めており、今後も継続した取組が必要です。 ●ICT機器の整備による情報教育の推進や国際化の進展、社会の変化等に柔軟に対応できる能力を育成する教育を推進しています。 ●家庭、地域及び行政、関係機関等、社会全体で学校を支援する体制を整えながら、創意と活気に満ちた特色ある学校づくりを行っていくことが重要です。 ●義務教育の9年間を見通した小中一貫教育を小学校再編とともに進めてきました。また、小中一貫教育の実施にあたっては、保護者、地域、学校の連携がより深まるよう工夫することが重要です。 ●学校施設の耐震補強は完了していますが、老朽化した施設があるため、改築や改修が必要です。 ●大安学校給食センター及び藤原学校給食センターから小学校11校と中学校4校に給食を供給していますが、北勢町内の4小学校は自校式給食となっています。子どもたちの心身の健康と正しい食習慣の定着につながる、安全・安心な学校給食の提供が必要です。		●学校施設は、耐震補強は完了していますが、老朽化のため、改築や改修が必要です。学校施設は子どもたちが安全に安心して過ごす場所であるため、また、災害時に避難場所として機能するため、長寿命化やバリアフリー化を伴う工事を順次進める必要があります。 ●大安学校給食センター及び藤原学校給食センターから小学校11校と中学校4校に給食を供給していますが、北勢町内の4小学校は自校式給食となっています。自校式の4小学校の調理室及び調理設備は老朽化しており、給食施設の統合も含めた検討が必要です。子どもたちの心身の健康と正しい食習慣の定着につながる、安全・安心な学校給食の提供が必要です。	
◇5年後のいなべ市の姿（施策の目的）			
【現行計画の記載内容】		【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】	
●PTAや地域、関係機関との連携によって学校への協力支援体制が確立され、子どもたちが安心して学べる教育環境が整備されています。 ●コミュニティ・スクールや学援隊の充実により、創意と活気に満ちた特色ある学校づくりが推進されています。 ●各小中学校の生徒数や学級数等の規模が適正であり、義務教育9年間を見通した連続性、一貫性のある小中一貫教育が展開されています。 ●児童生徒が安心安全で快適に過ごせる学校環境が確保されています。		●PTAや地域、関係機関との連携によって学校への協力支援体制が確立され、子どもたちが安心して学べる教育環境が整備されています。 ●児童生徒が安心安全で快適に過ごせる学校環境が確保されています。	

◇基本事業 1			学校環境整備の充実				◇基本事業 2			学校環境整備の充実			
1. 事業内容【現行計画の記載内容】							1. 事業内容【第 3 次総合計画（次期計画の内容を記入）】						
●複式学級を解消し、適正な学級・学校規模を維持します。 ●学校安全管理及び児童生徒の防犯、防災対策のための物品を配布します。 ●安全で安心な学校給食を安定的に提供する体制を維持します。 ●学校施設を適正に維持管理し、児童生徒が安心して過ごせる環境を確保します。 ●老朽化した学校施設の改築・改修を進め、児童生徒の安全を確保します。							●複式学級を解消し、適正な学級・学校規模を維持します。 ●学校安全管理及び児童生徒の防犯、防災対策のための物品を配布します。 ●安全で安心な学校給食を安定的に提供する体制を維持します。 ●学校給食費の公会計化に伴い、物価高騰等の影響に対応し、安定的に学校給食を実施します。 ●学校施設を適正に維持管理し、児童生徒が安心して過ごせる環境を確保します。 ●老朽化した学校施設の改築・改修を進め、児童生徒の安全を確保します。						
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】							2. 主な事業名【第 3 次総合計画（次期計画の内容を記入）】						
●新しい学校づくり推進事業 ●児童安全対策事業 ●公立小学校建設事業 ●学校図書館事業 ●公立中学校施設維持管理事業 ●通学バス運行事業 ●公立中学校施設整備事業 ●公立小学校施設維持管理事業 ●学校給食施設維持管理事業 ●公立小学校施設整備事業 ●学校給食施設整備事業							●公立小学校管理事業 ●公立小学校施設整備事業 ●公立中学校管理事業 ●公立中学校施設整備事業 ●学校給食管理事業 ●学校給食施設整備事業						
3. 基本事業の成果指標【第 2 次の実績値と第 3 次の目標値を記入】													
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略 KPI	第 2 次実績値（年度）				第 2 次目標値	第 3 次目標値（年度）					
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12
学校施設整備箇所数（災害除く）（各年）	箇所	—	2	3	4	2	14	2	1	1	1	1	1
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
◆変更、追加した指標の補足説明があれば記載													

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

		記入者		教育委員会 生涯学習課長 城野彰治										
第2次総合計画（現行計画）				第3次総合計画（次期計画※R8～）										
基本目標名	第3章 健やかに育ち個性が輝く人づくり			基本目標名	2 「こどもまんなか」みんなで学ぶまち									
施策名	3-7 総合的なスポーツの推進			施策名	総合的なスポーツの推進									
◇現状・課題														
【第2次総合計画の記載内容】				【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●市民の安全な利用のために、老朽化した施設の適正な維持管理業務が必要です。 ●本市では、参加者は子どもから高齢者まで幅広い世代がスポーツ団体やサークルで活動しており、それぞれのニーズにあったスポーツライフが求められています。 ●競技スポーツから心身のリフレッシュや仲間づくりまで、スポーツやレクリエーション活動の目的や内容が多様化する中で、市民の自主的なスポーツ活動を支援するとともに、誰もが気軽に継続的なスポーツ活動を行うことができる環境づくりが求められています。 ●地域における公共スポーツ施設や学校体育施設を拠点に、地域住民が主体的に運営や指導に携わり、多様な技術、技能レベル、多様な趣味、目的をもつ誰もがスポーツに気軽に親しむことができる環境の整備が必要です。				●心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得など、スポーツは市民の生活を豊かにします。市民のスポーツに対する要求や市民の安全な利用のために、改修を含めた施設の適正な維持管理業務が必要です。 ●子どもから高齢者まで幅広い世代がスポーツ団体やサークルで活動しており、それぞれのニーズにあったスポーツライフが求められています。 ●スポーツやレクリエーション活動の目的や内容が多様化する中で、市民の自主的なスポーツ活動を支援するとともに、誰もが継続的なスポーツ活動を行うことができる環境づくりが求められています。										
◇5年後のいなべ市の姿（施策の目的）														
【現行計画の記載内容】				【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●市民誰もがスポーツを楽しむことができ、ニュースポーツ、軽スポーツや体力づくりを行うための機会や情報交換、連携・協力できる体制が確立されています。 ●アマチュアスポーツ活動を支えるNPOの強化及び自主財源が確保され、市民のスポーツ活動及び競技力向上を支援する体制が確立されています。 ●誰もが利用しやすいスポーツに適した施設が適正に維持、管理され、市民が安心してスポーツを楽しんでいます。				●市民が気軽にスポーツを楽しむことができるよう、ニュースポーツ、軽スポーツや体力づくりを行うための機会や情報交換できる体制が確立されています。 ●アマチュアスポーツ活動を支える団体の強化が進み、市民のスポーツ活動及び競技力向上を支援する体制が確立されています。 ●誰もが利用しやすいスポーツに適した施設が適正に維持、管理され、市民が安心してスポーツを楽しんでいます。										
◇基本事業1		生涯スポーツの充実		◇基本事業1		生涯スポーツの充実								
1. 事業内容【現行計画の記載内容】				1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●様々な世代が多様なスポーツ活動に参加できるよう、スポーツ、レクリエーション活動の普及・啓発を行います。				●様々な世代が多様なスポーツ活動に参加できるよう、スポーツ、レクリエーション活動の普及・啓発を行います。										
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】				2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●スポーツ推進委員活動事業 ●海洋センター事業 ●地域スポーツ推進事業				●スポーツ推進委員活動事業 ●海洋センター事業 ●地域スポーツ推進事業										
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】														
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）						
			R3	R4	R5	R6		R8	R9	R10	R11	R12	R17	
スポーツイベント参加者数（各年延べ）	人	—		454	1,467	1,088	1,200	800	850	900	950	1,000	1,250	
ニュースポーツ、軽スポーツ講習会年間参加者数（各年延べ）	人	—		623	724	1,094	1,450	800	810	820	830	840	890	
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17	
◆指標の補足説明があれば記載 市及び委託団体が行うイベントや各種講習会の参加者数を指標とした。														
◇基本事業2		スポーツ施設運営の充実		◇基本事業2		スポーツ施設運営の充実								
1. 事業内容【現行計画の記載内容】				1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										

●多様なスポーツ活動の需要に応えることができるよう、環境の整備を行います。 ●市民が安全にスポーツを楽しめるよう、スポーツ施設を適正に維持管理します。					●市民のスポーツ活動の要望に応えることができるよう、機会やその場の提供等の環境の整備を行います。 ●市民が安全にスポーツを楽しめるよう、スポーツ施設を適正に維持管理します。									
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】					2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】									
●体育館運営事業 ●運動場運営事業 ●テニスコート運営事業 ●野球場運営事業 ●プール・艇庫運営事業 ●スポーツ施設修繕事業					●体育館運営事業 ●運動場運営事業 ●テニスコート運営事業 ●野球場運営事業 ●プール・艇庫運営事業 ●スポーツ施設修繕事業 ●温水プール運営事業									
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】														
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）						
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
スポーツ施設年間利用者数（各年延べ）	人	—		199,260	243,217	249,651	234,000	230,000	231,000	232,000	233,000	234,000	240,000	
スポーツ施設年間利用団体数（各年）	団体	—	616	622	645	615	600							
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17	
スポーツ施設年間利用団体数（各年延べ）	団体	—						10,000	10,100	10,200	10,300	10,400	11,000	
◆変更、追加した指標の補足説明があれば記載 スポーツ施設（学校施設利用者含む）の利用者（3箇年平均値）及び利用する団体数（前回指標と同じ）を指標とした。 スポーツ施設年間利用団体の団体数を述べ合計数に変更した。														
◇基本事業3 スポーツ団体の育成支援					◇基本事業3 スポーツ団体の育成支援									
1. 事業内容【現行計画の記載内容】					1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】									
●指導者の養成とコーディネーターの発掘、養成を行い、スポーツ団体の育成を支援します。					●各競技の指導者の養成とコーディネーターの発掘、養成を行い、スポーツ団体の育成を支援します。									
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】					2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】									
●全国大会等出場褒賞事業 ●スポーツ団体支援事業					●全国大会等出場褒賞事業 ●スポーツ団体支援事業									
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】														
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）						
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
全国大会出場選手数（各年延べ）	人	—		96	103	101	100	100	100	100	100	100	100	
スポーツ少年団団員登録者数（各年延べ）	人	—		663	688	738	700	700	700	700	700	700	700	
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17	
◆変更、追加した指標の補足説明があれば記載 全国大会に出場した選手数（18歳以下）及びスポーツ少年団団員登録者数を指標とした。 全国大会出場選手数については、近年大幅な増加がないため、現状を維持することを目標としたい。														

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

				記入者	教育委員会 生涯学習課長 城野彰治									
第2次総合計画（現行計画）				第3次総合計画（次期計画※R8～）										
基本目標名	第3章 健やかに育ち個性が輝く人づくり			基本目標名	2 「こどもまんなか」みんなで学ばまち									
施策名	3-6 文化芸術活動の充実			施策名	文化芸術活動の充実									
◇現状・課題														
【第2次総合計画の記載内容】				【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●文化や芸術に触れる機会と、自ら活動を行うための情報交換の場や連携の機会が求められています。 ●市内の文化財や天然記念物等について、環境の変化による滅失や個体の減少が懸念されています。				●市民が身近に文化や芸術に触れる機会と、自ら活動を行い、その成果を発表する場や機会が求められています。 ●市内の文化財や天然記念物等について、環境の変化による滅失や個体の減少が懸念されています。										
◇5年後のいなべ市の姿（施策の目的）														
【現行計画の記載内容】				【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●市民と行政が連携し、文化の高揚とふるさと意識を醸成することにより、多彩で個性ある文化環境が創造されています。 ●市民、行政、専門家が互いに交流して、天然記念物をはじめとする文化財の適切な保存と活用を行い、文化財への理解と愛着を深めるとともに、次の世代につなげる永続的な保護活動が行われています。				●市民主体で文化の高揚とふるさと意識を醸成し、多彩で個性ある文化環境が創造されるよう、行政がその活動を支援しています。 ●市民、行政、専門家が互いに交流して、文化財の適切な保存と活用を行い、文化財への理解と愛着を深めるとともに、次の世代につなげる永続的な保護活動が行われています。										
◇基本事業1		文化財の保存活用支援		◇基本事業1		文化芸術活動の推進								
1. 事業内容【現行計画の記載内容】		●市民と行政が連携し、文化意識の高揚とふるさと意識の醸成により、多彩で個性ある文化の創造を図ります。		1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】		●市民と行政が連携し、文化意識の高揚とふるさと意識の醸成により、多彩で個性ある文化の創造を図ります。								
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】		●文化芸術活動促進事業 ●埋蔵文化財調査記録保存事業 ●国重要文化財等保存活用促進事業 ●文化財保存活用支援事業 ●文化財調査保護事業 ●文化資料保存展示事業		2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】		●文化芸術活動促進事業								
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】														
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）						
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
市民祭作品出展者数（各年延べ）	人	—		873	978	457	1,100	450	460	470	480	490	540	
市民祭舞台発表出演者数（各年延べ）	人	—				571		580	590	600	610	620	670	
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17	
◆指標の補足説明があれば記載 令和6年度の実績値を参考に目標値を設定した。														

◇基本事業2			文化財の保存活用支援				◇基本事業1			文化財の保存活用支援				
1. 事業内容【現行計画の記載内容】							1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】							
●市民と行政が連携し、文化意識の高揚とふるさと意識の醸成により、多彩で個性ある文化の創造を図ります。							●市民、行政、専門家が互いに交流して、天然記念物をはじめとする文化財の適切な保存と活用を行い、文化財への理解と愛着を深めるとともに、次の世代につなげる永続的な保護活動を進めます。							
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】							2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】							
●文化芸術活動促進事業 ●埋蔵文化財調査記録保存事業 ●国重要文化財等保存活用促進事業 ●文化財保存活用支援事業 ●文化財調査保護事業 ●文化資料保存展示事業							●市史編さん事業 ●埋蔵文化財調査記録保存事業 ●国重要文化財等保存活用促進事業 ●文化財保存活用支援事業 ●文化資料保存施設運営事業							
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】														
指標名（各年・累計）		単位	総合戦略KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）					
				R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12
天然記念物ネコギギの飼育施設数（累計）		施設	—					8						
埋蔵文化財（周知の遺跡）記録保存率		%		100	100	100	100		100	100	100	100	100	100
指標の変更、追加↓				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
◆指標の補足説明があれば記載 ネコギギの飼育施設数については、自然学習室所管であるため、削除した。 周知の遺跡内における開発工事等着工前届出並びに調査及び記録保存等が完全に行われることを指標とした。														

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

				記入者	教育委員会事務局自然学習室 主事 矢崎充彦									
第2次総合計画（現行計画）				第3次総合計画（次期計画※R8～）										
基本目標名	第3章 健やかに育ち個性が輝く人づくり			基本目標名	2 「こどもまんなか」みんなで学ばまち									
施策名	3-8 自然環境の保全・充実			施策名	自然環境の保全・充実									
◇現状・課題														
【第2次総合計画の記載内容】				【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●藤原文化センター内で、藤原岳を中心とした鈴鹿山系の動植物を展示しています。また、一般市民を対象とする自然教室を開催し、鈴鹿山系を中心に四季折々のいなべの自然を紹介するとともに、毎年、子どもたちの自然科学作品展を実施しています。 ●ふるさとの森や大井田西部公園等において、多様な植物の植栽や市内に生息する魚類が見られる水槽の設置などを行っています。 ●自然環境の保全・充実のため、各種取組を持続的に行っていくことが必要です。				●藤原岳を中心とした鈴鹿山系の動植物や岩石・化石を展示し、一般市民を対象とする自然教室で自然に親しむ機会を増やし、四季折々のいなべの自然をホームページ等で紹介しています。若い世代が自然を学ぶ場として、児童や生徒たちの自然科学作品展や研究発表会等を継続的に開催することが必要です。 ●ふるさとの森や大井田西部公園等において、多様な植物の植栽や市内に生息する魚類が見られる自然水族館を整備し、こども連れの親子が訪れ、市民に学びの場、憩いの場となっています。ふるさとの森は、環境省から「自然共生サイト」の認定を受け、大井田西部公園とあわせて、これまでと同様に継続的な維持管理作業が必要です。										
◇5年後のいなべ市の姿（施策の目的）														
【現行計画の記載内容】				【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●市民がふるさとの自然環境を気軽に観察できるような環境が整備され、機会の提供が行われています。 ●自然保護や動植物に関する情報を発信し、豊かな自然環境の保全・充実に向けた意識が普及しています。 ●大井田西部地区水環境整備事業（県事業）の施設に適応した植生が整備されています。				●市民や市内小学校の児童たちがふるさとの自然環境を学び、観察できる環境が整備され、自然に親しむ機会が提供されています。 ●動植物など自然に関する情報を積極的に発信することで、身近な自然に親しむこども達が増えつつあります。										
◇基本事業1 自然環境の保全				◇基本事業1 自然環境の保全										
1. 事業内容【現行計画の記載内容】				1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●ふるさとの森公園の整備や大井田西部公園の適切な管理を行います。また、希少動植物の保全に取り組みます。				●自然共生サイトふるさとの森および大井田西部公園の適切な維持管理を行い、開発によって失われる植物を移植するなど希少動植物の保全にも取り組みます。										
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】				2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●ふるさとの森公園整備事業 ●大井田西部公園管理事業 ●希少動植物保全事業				●ふるさとの森公園整備事業 ●大井田西部公園管理事業 ●希少動植物保全事業										
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】														
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）						
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
市ホームページ内「いなべ市の自然」の各ページのアクセス件数（各年延べ）	人	—	26,031	15,546	15,760	21,976	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17	
◆指標の補足説明があれば記載 新型コロナウイルス感染症対策の影響が考えられる期間（R2～R3）を除き、R4～R6の平均値17,760を目標値に設定。														

◇基本事業2 自然学習施設の充実				◇基本事業2 自然学習施設の充実									
1. 事業内容【現行計画の記載内容】				1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】									
●市民を対象に「藤原岳自然科学館自然教室」を開催し、鈴鹿山系を中心とするいなべの自然を広く紹介するとともに、自然に触れ合う機会を設け、ふるさとへの誇りを喚起します。				●動物、植物、岩石等様々な分野の自然教室を開催し、いなべ市の豊かな自然環境を紹介し、自然に触れ合う機会を提供します。 ●標本展示や生体展示をととして、特にこども達が実物を見て学ぶ機会を提供します。									
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】				2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】									
●藤原岳自然科学館博物展示事業 ●藤原岳自然科学館自然教室事業 ●藤原岳坂本休憩所管理事業				●藤原岳自然科学館博物展示事業 ●藤原岳自然科学館自然教室事業 ●屋根のない学校事業									
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】													
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）					
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12
「藤原岳自然科学館自然教室」参加者数（各年延べ）	人	—	462	570	395	399	360	360	360	360	360	360	360
藤原岳自然科学館の来館者数（各年延べ）	人	—	6,949	10,131	9,163	10,294	8,250	1,650	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
「屋根のない学校」教室参加者数（各年延べ）	人	—	321	538	365	523	450	450	450	450	450	450	450
◆変更、追加した指標の補足説明があれば記載													
藤原岳自然科学館自然教室参加者数は、年間18回の教室開催で、一回当たりの参加者20人を目標値に設定。													
屋根のない学校教室参加者数は、年間30回の教室開催で、一回当たりの参加者15人を目標値に設定。													
来館者数は、新型コロナウイルス感染症対策の影響が考えられる期間（R2～R3）を除き、R4～R6の平均値9,900を目標値に設定（藤原文化センター改修工事がR7～R8にかけて行われ休館予定であるため、R7は9,900の2か月分、R8は10か月分を差し引く）。													

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

				記入者	教育委員会 生涯学習課長 城野彰治										
第2次総合計画（現行計画）				第3次総合計画（次期計画※R8～）											
基本目標名	第3章 健やかに育ち個性が輝く人づくり			基本目標名	2 「こどもまんなか」みんなで学ばまち										
施策名	3-4 青少年の夢を育む地域づくりの推進			施策名	青少年の夢を育む地域づくりの推進										
◇現状・課題															
【第2次総合計画の記載内容】				【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】											
●近年では、集団遊びや仲間との活動経験が乏しい子どもの増加や地域のつながりの希薄化により、青少年を取り巻く環境の悪化が懸念されています。 ●インターネットやスマートフォン等の情報取得手段の多様化により、問題行動の低年齢化や青少年の規範意識の低下が課題となっています。 ●両親の共働きなどにより、子どもの居場所づくりの必要性が増加しています。				●人々の意識や価値観の多様化に加え、近年では地域のつながりの希薄化等により、異年齢の子どもや大人との交流が減り、青少年の様々な体験の機会が失われている。 ●スマートフォン等情報機器保有の低年齢化やSNSをはじめとする情報取得手段の多様化により、問題行動の低年齢化や規範意識の低下が課題となっています。 ●少子化、核家族化が進行し、両親の共働きなどによって、子どもの居場所づくりが必要です。											
【現行計画の記載内容】				【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】											
●家庭、学校、地域、関係機関等の連携により、地域の青少年の育成能力が向上しています。 ●地域の教育力を活かした子どもの居場所づくりが行われるとともに、学校などの教育機関との連携により、休日や長期休暇などを利用した感性豊かな子どもの育成が行われています。				●家庭、学校、地域、関係機関等の連携により、地域社会及び家庭における教育力の再生・向上が図られています。 ●地域や家庭、関係機関との連携により子どもの居場所づくりが行われるとともに、学校などの教育機関との連携により、休日や長期休暇などを利用した感性豊かな子どもの育成が行われています。											
◇基本事業1 青少年健全育成の推進				◇基本事業1 青少年健全育成の推進											
1. 事業内容【現行計画の記載内容】				1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】											
●地域や家庭、関係機関と連携を図り、地域力を活かした青少年の育成に取り組みます。 ●子どもの居場所を確保し、子どもの社会性や協調性、自立性を育み活動機会の創出を図ります。				●地域や家庭、関係機関と連携を図り、地域力を活かした青少年の育成に取り組みます。 ●子どもの社会性や協調性、自立性を育み、様々な体験の機会の創出を図り、子どもの居場所を確保します。											
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】				2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】											
●青少年健全育成市民活動事業 ●新成人記念祝賀事業 ●放課後子ども教室事業 ●教育集会所管理事業				●青少年健全育成事業 ●二十歳の記念式典事業 ●教育集会所管理事業											
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】															
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略KPI	第2次実績値（年度）					第2次目標値	第3次目標値（年度）						
			R3	R4	R5	R6	R7		R8	R9	R10	R11	R12	R17	
青少年育成市民会議諸事業への市民参加者数（各年延べ）	人	○		3,057	3,772	6,493	4,200	4,000	4,100	4,200	4,300	4,400	4,900		
放課後子ども教室への参加者数（各年延べ）	人	○		10,611	12,137	11,824	11,000	12,000	12,100	12,200	12,300	12,400	12,900		
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17		
◆指標の補足説明があれば記載 地域社会及び家庭における教育力の再生・向上を図ることを目的に開催する諸事業への参加者数を指標とした。 休日や長期休暇などを利用した感性豊かな子どもの育成を目的に行う放課後子ども教室への参加者数を指標とした。															

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

				記入者	教育委員会 生涯学習課長 城野彰治									
第2次総合計画（現行計画）				第3次総合計画（次期計画※R8～）										
基本目標名	第3章 健やかに育ち個性が輝く人づくり			基本目標名	2 「こどもまんなか」みんなで学ばまち									
施策名	3-5 生涯学習の充実			施策名	生涯学習の充実									
◇現状・課題														
【第2次総合計画の記載内容】				【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●価値観の多様化の進展等により、自らが学習し、教養を深めることのできる多様な環境づくりが求められています。また、市民の学習ニーズに応え、より一層幅広い世代が参加できるように取り組む必要があります。 ●インターネットの進展にともない、読書習慣の減少や活字離れが進む中、読書活動の重要性が指摘されています。 ●旧町ごとに設置されている生涯学習施設等について、適正な維持管理を行っています。				●市民一人ひとりが生涯を通して学ぶことができる環境の整備、多様な学習機会の提供、学習した成果が適切に評価され、それを生かして様々な分野で活動できるようにするための仕組みづくりが求められています。 ●インターネット及びスマホ等の移動端末の進展にともない、読書習慣の減少や活字離れが進む中、読書活動の重要性を理解し、読書活動の習慣化が必要です。 ●市内に設置されている文化施設、公民館、図書館等について、適正な維持管理を行っています。										
◇5年後のいなべ市の姿（施策の目的）														
【現行計画の記載内容】				【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●市民の需要に応じた生涯学習講座が開催され、幅広い世代における市民の学習、教養及び技能習得の機会が効果的に提供されています。 ●施設及び付属施設等の維持管理並びに施設貸出業務が適切に行われ、安全で快適に利用されています。				●生涯学習講座や各種講座等が開催によって多様な学習機会が提供され、幅広い世代における市民の学習、教養及び技能習得の機会が効果的に提供されています。 ●施設及び付属施設等の維持管理並びに施設貸出業務が適切に行われ、安全で快適に利用されています。										
◇基本事業1 学びの機会の充実				◇基本事業1 学びの機会の充実										
1. 事業内容【現行計画の記載内容】				1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●体系的で効果的な学習機会の提供と拡充を行い、幅広い世代における生涯学習を通じた人づくりを推進します。 ●小学校の児童を対象とした「屋根のない学校」を開催し、子どもたちが自然と触れ合うことにより、ふるさといなべの自然のすばらしさ、大切さを感じられるようにします。				●多様な学習機会を提供し、幅広い世代において生涯学習を通じた人づくりを推進します。 ●小学校の児童を対象とした「屋根のない学校」を開催し、子どもたちが自然と触れ合うことにより、ふるさといなべの自然のすばらしさ、大切さを感じられるようにします。										
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】				2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●社会教育委員合同会議事業 ●国際交流事業 ●生涯学習講座開催事業 ●屋根のない学校事業				●社会教育委員活動事業 ●国際交流支援事業 ●青少年国際交流支援事業 ●生涯学習活動推進事業										
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】														
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）						
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
生涯学習講座参加者数（各年延べ）	人	—		1,118	1,101	1,080	700	1,000	1,050	1,100	1,150	1,200	1,450	
「屋根のない学校」受講者数（各年延べ）	人	—					850							
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17	
◆指標の補足説明があれば記載 幅広い世代における市民の学習、教養及び技能習得の機会が提供されるよう、講座（市民大学講座、歴史と文化の講座）の参加者を指標とした。「屋根のない学校」受講者数は、自然学習室へ移行														

◇基本事業2		生涯学習施設の充実					◇基本事業2		生涯学習施設の充実				
1. 事業内容【現行計画の記載内容】							1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】						
●生涯学習施設予約管理システム等の情報ネットワークシステムを適切に運用し、利便性の向上により、生涯学習環境の充実を図ります。							●生涯学習施設予約管理システム等の情報ネットワークシステムを適切に運用し、利便性の向上により、生涯学習環境の充実を図ります。						
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】							2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】						
●員弁コミュニティプラザ管理事業 ●大安公民館管理事業 ●北勢市民会館修繕事業 ●北勢市民会館管理事業 ●員弁コミュニティプラザ施設整備事業 ●公民館連絡協議会事業							●員弁コミュニティプラザ管理事業 ●大安公民館管理事業 ●北勢市民会館修繕事業 ●北勢市民会館管理事業 ●員弁コミュニティプラザ施設整備事業						
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】													
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）					
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12
年間施設利用件数（各年延べ）	件	—					5,300						
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
年間施設開館日数	件	—	305	305	305	305		305	305	305	305	305	305
◆変更、追加した指標の補足説明があれば記載 第2次では施設の利用者数を指標としていたが、本事業では施設を適切に管理し、利用者に不便をかけないことが必要であると考え、年間開館日数の維持を指標とした。													
◇基本事業3		図書館の利便性向上					◇基本事業3		図書館の利便性向上				
1. 事業内容【現行計画の記載内容】							1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】						
●市内図書館の図書資料情報を一元管理して連携を強化するとともに、読書活動の推進と、図書館の利便性向上を図ります。							●一元管理している図書館の資料情報を活用して、利用者の利便性を向上する取り組みや読書活動の推進を進めます。						
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】							2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】						
●図書館利用促進事業 ●北勢図書館事業 ●員弁図書館事業 ●大安図書館事業 ●藤原図書館事業							●図書館利用促進事業 ●北勢図書館事業 ●員弁図書館事業 ●大安図書館事業 ●藤原図書館事業						
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】													
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）					
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12
インターネットを利用した図書館書籍予約件数（各年延べ）	件	—	6,218	4,722	4,092	4,273	4,300	4,300	4,400	4,500	4,600	4,700	5,200
図書館の貸出利用登録者数（各年）	人	—	19,445	20,026	11,439	12,020	19,400	12,200	12,400	12,600	12,800	13,000	14,000
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
◆変更、追加した指標の補足説明があれば記載 インターネットを利用した図書館書籍予約件数のR4～R6の平均値を指標とした。 図書館の貸出利用登録者数の整理を令和5年度に行ったために登録者数が減少したため、R6の実績から指標を設定した。													

3 いつまでも笑顔で暮らせるまち

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

		記入者	健康こども部健康推進課 課長補佐 伊藤そのみ											
第2次総合計画（現行計画）			第3次総合計画（次期計画※R8～）											
基本目標名	第4章 生きがいと安心の地域づくり		基本目標名	3 いつまでも笑顔で暮らせるまち										
施策名	4-2 地域医療体制の充実		施策名	地域医療体制の充実										
◇現状・課題														
【第2次総合計画の記載内容】			【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】											
●市内中核病院において、一部の診療科では医師不足により市民が満足できる医療を受けることが難しい場合があります。さらに、市民がより安心して暮らしていくために、二次救急医療体制の構築に向けた検討も必要となっています。 ●近年、地域の新規開業医がなく、中核救急を担う医療機関に過度な負担がかかっています。 ●産科医の充実に向けて、いなべ総合病院においても継続的に取組が行われています。			●市内中核病院では、依然として一部の診療科の医師不足が課題となっています。慢性疾患や専門医療の需要が増加しており、医師の確保が必要とされています。また、二次救急医療体制の強化に向け、近隣自治体との連携や医療機関の役割分担の明確化を進めています。 ●地域の新規開業医は依然として少なく、中核救急を担う医療機関への負担が増加しています。 ●産科医療の充実に向け、いなべ総合病院においても引き続き産科医確保の取組が行われています。											
◇5年後のいなべ市の姿（施策の目的）														
【現行計画の記載内容】			【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】											
●全ての市民が安心して医療機関を受診できる体制が構築されています。			●市民が安心して医療機関を受診できる体制が構築されています。											
◇基本事業1 救急医療体制の確保			◇基本事業1 救急医療体制の確保											
1. 事業内容【現行計画の記載内容】			1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】											
●医療機関との多様な連携などにより、地域の一次、二次救急医療体制を確保します。			●医療機関間の患者受入れ体制などネットワークの強化が進められ、一次救急、二次救急の確保に繋がります。											
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】														
●救急医療体制整備事業			●救急医療体制整備事業											
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】														
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）						
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
病院群輪番制病院の当番日数	回	○					73	73	73	73	73	73	73	
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17	
◆指標の補足説明があれば記載 休日・夜間等における救急患者の診療を行うため、圏域内医療機関に割り振られた日数を確実に実施できるよう体制の確保を図ります。														

◇基本事業2		医療従事者の確保				◇基本事業2		医療従事者の確保					
1. 事業内容【現行計画の記載内容】						1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】							
●地域医療体制を維持するために、医療機関の勤務医を確保します。 ●医師養成奨学金を貸し付けることで、貸付者の修学を容易にし、医師の確保を図ります。						●地域医療体制を維持するため、県や大学との連携を強化し、医師を確保します。人員体制がより充実した環境整備を行います。							
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】						2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】							
●医療従事者緊急確保対策事業						●医療従事者確保対策事業							
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】													
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）					
			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
病院群輪番制参加病院の常勤医師数（各年）	人	○					31	31	31	31	31	31	31
奨学金の貸付者数（累計）	人	—					28	29	30	31	32	33	38
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
◆変更、追加した指標の補足説明があれば記載 全国的に医師が不足している状況であり、医師を確保することは難しい。現状より医師を減らさない目標を設定した。													

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

				記入者	健康こども部健康推進課 課長補佐 伊藤そのみ									
第2次総合計画（現行計画）				第3次総合計画（次期計画※R8～）										
基本目標名	第4章 生きがいと安心の地域づくり			基本目標名	3 いつまでも笑顔で暮らせるまち									
施策名	4-3 生涯を通じた健康づくりの推進			施策名	生涯を通じた健康づくりの推進									
◇現状・課題														
【第2次総合計画の記載内容】				【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●高齢化の進行にともない、疾病全体に占める生活習慣病の割合が増加する傾向にあります。特に糖尿病についてハイリスクアプローチが必要になっています。 ●本市は県内では検診受診率が高い状態にありますが、引き続き受診が疾病の早期発見、早期治療につながることを周知していく必要があります。 ●本市では、地域における食生活改善推進員と連携しながら、正しい食習慣の定着に向けた取組を実施しています。生涯にわたり健康な生活を維持していくため、こうした食育推進の取組を一層充実していくことが必要です。				●高齢化の進行に伴い、生活習慣病の割合が増加傾向にあり、地域全体の健康増進が求められています。 ●本市の検診受診率は県内でも高水準を維持していますが、未受診者への働きかけを強化する必要があります。 ●地域の食生活改善推進員と連携し、若年層から高齢者まで幅広い世代に向けた食育推進を強化し、生涯にわたる健康維持を支援する取組。										
◇5年後のいなべ市の姿（施策の目的）														
【現行計画の記載内容】				【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●各種検診事業の積極的な受診勧奨が早期発見、早期治療につながっています。 ●住み慣れた地域で、元気づくりシステムに多くの市民が参加することにより、健康増進が促進されています。				●各種検診事業の受診率は向上し、疾病の早期発見、治療が定着しています。 ●地域での健康づくり活動が活発化し、運動習慣の定着や地域コミュニティの活性化が重要な要素となり健康増進が進められています。										
◇基本事業1 疾病の早期発見・早期治療の推進				◇基本事業1 疾病の早期発見・早期治療の推進										
1. 事業内容【現行計画の記載内容】				1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●市民への効率的な検診機会の設定と受診後における要検査者と未受診者への勧奨を行うことで、疾病の早期発見・治療につなげます。				●市民への効率的な検診機会の提供を進めるとともに、受診後のフォローアップを強化し、適切な支援を行うことで疾病の早期発見、治療につなげます。										
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】				2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●健康推進事業				●検診・疾病対策事業										
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】														
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）						
			R3	R4	R5	R6		R8	R9	R10	R11	R12	R17	
要精密検査の市民の受診率（要精密検査受診者数／要精密検査対象者数）（各年）	%	—					40	40	40	40	40	40	40	
大腸がん検診受診率（受診者数／受診対象者数）（各年）	%	—					16.0	16	16	16	16	16	16	
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17	
◆指標の補足説明があれば記載 国、県、類似自治体等の平均より高いため、過去の実績値や取組に対する分析結果から、この数値を目標値とした														

◇基本事業2			感染症の予防											◇基本事業2			感染症の予防										
1. 事業内容【現行計画の記載内容】			●予防接種率向上のために、感染症に関する正しい情報を市民に提供します。											1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）			●予防接種率向上のために、感染症予防に関する正しい情報を市民に提供します。										
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】			●感染症予防事業											2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）			●こども予防接種事業 ●成人感染症予防事業										
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】																											
指標名（各年・累計）		単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）																		
				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17													
MR（麻疹、風疹混合ワクチン）2期の接種率（接種者数／接種対象者数）（各年）		%	—					96.4	95.0	95.5	96.0	96.5	97.0	97.5													
指標の変更、追加↓				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17													
◆変更、追加した指標の補足説明があれば記載 ・麻疹は感染力が強く、重症化のリスクが高いため接種により感染率を低減させる必要がある。（国の指標：95%）																											
◇基本事業3			健康づくりの推進											◇基本事業3			健康づくりの推進										
1. 事業内容【現行計画の記載内容】			●関係機関との連携により保健事業を実施し、健康づくりを推進します。											1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）			関連機関との連携により、地域全体が一体となった健康支援を実施、市民の健康維持をより効果的に進められています。										
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】			●保健衛生負担金・補助事業 ●健康増進事業											2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）			●健康づくり事業										
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】																											
指標名（各年・累計）		単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）																		
				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17													
健康増進事業に参加する市民の数（各年延べ）		人	—				2,160	2,170	2,180	2,190	2,200	2,210	2,220	2,200													
指標の変更、追加↓				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17													
◆変更、追加した指標の補足説明があれば記載 アプリ初期の登録数及び元気クラブ委託事業を除く																											

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

		記入者	(福祉部長寿福祉課、課長、黒川かおる) 都市整備部新産業創造課 課長 齊藤義喜
第2次総合計画（現行計画）		第3次総合計画（次期計画※R8～）	
基本目標名	第4章 生きがいと安心の地域づくり	基本目標名	3 いつまでも笑顔で暮らせるまち
施策名	4-9 高齢者が笑顔で自分らしく暮らせるまちづくりの推進	施策名	高齢者が笑顔で自分らしく暮らせるまちづくりの推進
◇現状・課題			
【第2次総合計画の記載内容】		【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】	
●本市の平成 31（2019）年4月現在の高齢化率は26.9%で、全国及び三重県平均よりは下回るものの、緩やかに上昇しており、高齢化がピークを迎える2040年には、約 31%に上昇すると見込まれています。 ●地域包括ケアシステムを深化・推進するため、介護予防・日常生活支援総合事業（平成 28年4月～）、地域ケア会議の推進（平成 27年4月～）、在宅医療・介護連携推進事業（平成 26年6月～）、生活支援体制整備事業（平成 28年4月～）、認知症総合支援事業（平成 28年 10月～）に取り組んでいます。 ●認知症高齢者等SOSネットワークの充実により、認知症が原因で行方不明になる恐れがある高齢者等を対象に、QRコードワッペンの交付、個人賠償責任保険の補助など、見守り体制の強化を図っています。		●地域包括ケアシステムを深化・推進するため、介護予防・日常生活支援総合事業（平成 28年4月～）、地域ケア会議の推進（平成 27年4月～）、在宅医療・介護連携推進事業（平成 26年6月～）、生活支援体制整備事業（平成 28年4月～）、認知症総合支援事業（平成 28年 10月～）高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業（令和4年4月～）に取り組んでいます。 ●認知症が原因で行方不明になる恐れがある高齢者の方と家族の方を支援するために身元情報を事前に登録していただき行方不明になった際の捜索に役立てます。またGPS端末機を購入した場合、その費用の一部を補助、個人賠償責任保険の補助など、見守り体制の強化を図っています。 ●令和7年（2025）は「団塊の世代」が後期高齢者になり、4月現在の高齢化率は28.13%になりました。さらにその先の「団塊ジュニア世代」が65歳以上になる令和22年（2040）には32.2%となる見込みです。今後、高齢者の一人暮らし・高齢者のみの世帯が増え、認知症の方の増加も予想されており、その対応が求められています。 ●高齢者が住み慣れた地域で元気に暮らし続けるため、デジタル活用環境を構築する必要があります。	
◇5年後のいなべ市の姿（施策の目的）			
【現行計画の記載内容】		【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】	
●地域包括ケアシステムの実現により、高齢者等が住み慣れた地域で、地域とのつながりを持ちつつ、医療や介護のサービスを利用しながら、安心して暮らせるまちづくりが推進されています。		●地域ケアシステムのさらなる進化・推進に取り組むことで、制度・分野ごとの「縦割り」や「世代」、「支え手」「受け手」という関係を越えて地域住民や地域の多様な主体が参画し住民一人一人が暮らしと生きがい、地域を共に創っています。 ●高齢者のスマートフォン、タブレット利用を推進しています。	

◇基本事業1		高齢者の包括的な支援の充実												◇基本事業1		高齢者の包括的な支援の充実											
1. 事業内容【現行計画の記載内容】		●高齢者等の多様化するニーズや多くの問題を抱えた世帯からの相談等にも対応できるよう、相談支援体制の充実と、医療・介護の連携体制の強化など、地域包括支援センターの機能強化を図ります。												1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】		●高齢者等の多様化するニーズや多くの問題を抱えた世帯からの相談等にも対応できるよう、相談支援体制の充実と、医療・介護・保健の連携体制の強化など、地域包括支援センターの機能強化を図ります。											
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】		●地域包括支援センター運営事業 ●在宅医療・介護連携推進事業												2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】		●地域包括支援センター運営事業 ●在宅医療・介護連携推進事業 ●高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業											
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】																											
指標名（各年・累計）		単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）																		
				R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17												
地域包括支援センターにおける総合相談件数（各年延べ）		件	○	3,471	3,923	3,573	3,370	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,100	4,100													
指標の変更、追加↓				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17													
◆指標の補足説明があれば記載 地域包括支援センターは高齢者の総合的な相談窓口であり今後機能強化をしていきたい事業である。認知度は徐々に上がっているが、更なる周知が必要であり、相談件数を指標とした。目標値は今までの相談件数の平均値×1.1																											
◇基本事業2		高齢者が地域で安心して暮らすための支援												◇基本事業2		高齢者がいつまでも地域で安心して自分らしく暮らすための支援											
1. 事業内容【現行計画の記載内容】		●認知症ケアに関する専門職や生活支援コーディネーターの配置によるネットワークの構築、地域での見守り活動の推進により、認知症等の早期発見、虐待の防止、生活支援サービスの充実など、高齢者が安心して生活できる環境づくりを行います。												1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】		●認知症ケアに関する専門職や生活支援コーディネーターの配置によるネットワークの構築、地域での見守り活動の推進により、認知症等の早期発見、虐待の防止、生活支援サービスの充実など、高齢者が安心していつまでも住み慣れた地域で生活できる環境づくりを行います。 ●デジタルを活用した高齢者支援を行います。											
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】		●認知症総合支援事業 ●生活支援体制整備事業 ●在宅老人福祉事業 ●成年後見制度扶助事業 ●老人短期保護事業 ●老人福祉施設保護措置事業												2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】		●認知症総合支援事業 ●生活支援体制整備事業 ●在宅老人福祉事業 ●成年後見制度事業 ●老人短期保護事業 ●老人福祉施設保護措置事業 ●高齢者デジタルライフ事業											

3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】													
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）					
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12
認知症高齢者等SOSネットワーク事前登録者数（各年）	人	—	44	46	55	66	90						
認知症サポーター数（累計）	人	○	9,615	9,925	10,443	10,783	9,300	11,000	11,300	11,400	11,600	11,800	12,000
見守りネットワーク協力団体数（各年）	団体	○	332	337	363	343	360	365	370	375	380	385	390
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
認知症高齢者等SOSネットワーク新規事前登録者数（各年）								30	30	30	35	35	35
藤原デイサービスセンターでデジタル機器を活用する通所者数（各年）	人	—	—	—	—	50	55	60	65	70	75	80	105
◆変更、追加した指標の補足説明があれば記載 SOSネットワーク事前登録者は登録者の状況の変化により抹消することもあり、新規登録があっても総数が増えるわけでもない。そのため新規登録者の数を目標値にすることでSOSネットワークの普及啓発の指標とする。認知症の方が増加する中で行方不明の方が増えるという課題がある。SOSネットワークに事前に登録しておくで検索の手掛かりになるため進めていきたい事業。目標値は過去の登録の平均値×1.5 ・高齢者デジタルライフ事業は、藤原デイサービスセンターを拠点として構築し、活用しているため、藤原デイサービスセンターでデジタル機器を活用している通所者を指標としました。													
◇基本事業3 高齢者の元気づくりの推進			◇基本事業3 高齢者の元気づくりの推進										
1. 事業内容【現行計画の記載内容】			1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】										
●高齢期になっても、就労や社会参加の機会を保ちながら、介護予防や認知症予防に取り組み、心身ともに元気で、生きがいを持って生活できる体制づくりを行います。			●高齢期になっても、就労や社会参加の機会を保ちながら、介護予防や認知症予防に取り組み、心身ともに元気で、生きがいを持っていつでも住み慣れた地域で生活できる体制づくりを行います。										
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】			2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】										
●介護予防推進事業 ●シルバー人材事業 ●老人福祉施設センター等管理事業 ●敬老事業			●介護予防推進事業 ●シルバー人材事業 ●老人福祉施設センター等管理事業 ●敬老事業										
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】													
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）					
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12
元気リーダーコース実施箇所数（累計）	箇所	○	84	85	85	85	90	85	85	85	85	85	85
シルバー人材センター登録会員数（各年）	人	○	687	691	683	684	755	685	685	685	685	685	685
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
◆変更、追加した指標の補足説明があれば記載 今後後期高齢者が増える中で、リーダーコースを増やしていくというより、現状の数を維持していく目標に変更。 また企業の定年延長や、人材不足もあり雇用形態も変わっていき前期高齢者のほとんどが収入のある仕事についていることもありシルバー人材センターの会員数も現状を維持の目標に変更。													

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

				記入者	福祉部介護保険課 課長 川崎昭紀									
第2次総合計画（現行計画）				第3次総合計画（次期計画※R8～）										
基本目標名	第4章 生きがいと安心の地域づくり			基本目標名	3 いつまでも笑顔で暮らせるまち									
施策名	4-10 高齢者がいつまでも安心して暮らせるまちづくりの推進			施策名	高齢者がいつまでも安心して暮らせるまちづくりの推進									
◇現状・課題														
【第2次総合計画の記載内容】				【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●平成 31（2019）年4月現在の要介護認定率は15.3%で、全国及び三重県平均を下回る数値で推移しています。 ●認定率は横ばいですが、高齢化にともなう高齢者数の増加と、認知症高齢者等の増加により、認定者数は増加傾向にあります。 ●要介護度別の内訳では、要介護1・2の軽度認定者の割合が高く、要介護2・3の中度認定者の増加率が大きくなっています。 ●高齢化が進む一方、現役世代人口が減少するため、介護人材の確保と地域全体での支え合い（互助）の促進が必要です。				●令和7（2025）年4月現在の要介護認定率は16.1%で、全国及び三重県平均を下回る数値で推移しています。 ●認定率は横ばいですが、高齢化の進行が続いており、後期高齢者数の増加や認知症高齢者数の増加等により、要介護認定者数は増加傾向にあります。 ●要介護度別の内訳では、要介護1・2の認定者の割合が高く、要支援1・2を含む軽度認定者の増加率が大きくなっています。 ●高齢化が進む一方、現役世代人口が減少するため、介護人材の確保と地域全体での支え合い（互助）の促進が必要です。										
◇5年後のいなべ市の姿（施策の目的）														
【現行計画の記載内容】				【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●介護（予防）サービスの提供が適切に行われ、高齢者等がいつまでも住み慣れた地域で、安心して生活できるまちづくりが行われています。				●介護（予防）サービスの提供が適切に行われ、高齢者等がいつまでも住み慣れた地域で、安心して生活できるまちづくりが行われています。										
◇基本事業1 予防重視型サービスの充実				◇基本事業1										
1. 事業内容【現行計画の記載内容】				1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●介護予防・日常生活支援総合事業の効率的な実施による介護予防の推進と、介護保険サービスの適正な実施による要介護状態の重度化防止を図ります。 ●保険者機能の強化により、持続可能な介護サービスの提供体制を構築、維持します。				●介護予防・日常生活支援総合事業の効率的な実施による介護予防の推進と、介護保険サービスの適正な実施による要介護状態の重度化防止を図ります。 ●保険者機能の強化により、持続可能な介護サービスの提供体制を構築、維持します。										
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】				2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●介護保険事業 ●介護サービス給付事業 ●介護予防・生活支援サービス事業 ●一般介護予防事業 ●介護認定審査会事業				●介護保険事業 ●介護サービス給付事業 ●介護予防サービス給付事業 ●介護予防・生活支援サービス事業 ●一般介護予防事業 ●員弁地区介護認定審査会共同設置事業 ●介護給付費等費用適正化事業										
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】														
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）						
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
介護サービス給付件数（各年延べ）	件	—					50,200							
地域ケア会議開催回数（各年）	回	—	64	41	29	52	50	40	40	40	40	40	40	
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17	
介護（予防）サービス給付件数（各年延べ）	件	—	46,181	46,152	47,083	47,930	50,200 48,500	49,500	50,500	51,500	52,000	50,551	53,832	
◆指標の補足説明があれば記載														
・2.主な事業名について、「介護サービス給付事業」に加えて「介護予防サービス給付事業」を追記したため、指標名についても両事業を示す「介護（予防）サービス給付事業」に変更しました。 ・同事業の第2次目標値（R7）及び第3次目標値（R8-11）について、過去の実績値に基づく推計値を採用（年々増加）。第3次目標値（R12・R17）については、第9期介護保険事業計画に基づく推計値を採用しました。														

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

		記入者	福祉部障がい福祉課 課長 加藤貞夫
第2次総合計画（現行計画）		第3次総合計画（次期計画※R8～）	
基本目標名	第4章 生きがいと安心の地域づくり	基本目標名	3 いつまでも笑顔で暮らせるまち
施策名	4-11 地域でいきいきと安心して暮らせる障がい者福祉の推進	施策名	地域でいきいきと安心して暮らせる障がい者福祉の推進
◇現状・課題			
【第2次総合計画の記載内容】		【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】	
●共生社会の実現のため、地域社会で、日常生活や社会生活を営む支援が受けられるような環境整備が必要です。地域で自立した生活を実現するため、障がい者グループホームや自由度の高いひとり暮らしを希望する人が増えています。また、障がい者雇用が進み、福祉就労から一般就労への移行の可能性があります。こうした生活状況の変化により、新たに生活面での様々な課題が生じていると考えられるため、相談支援のさらなる充実や福祉サービスの拡充が必要です。 ●障がいのある子どもの多様化するニーズへの支援拡充、サービスの質の確保や内容の充実が必要です。また近年、医学の進歩にともない医療的ケアが必要な児童が増えています。医療、保健、福祉、教育等の連携した支援が受けられるようにする必要があります。		●障がい者の多様なニーズが増加する中で、障がい当事者とその家族や支援関係機関が抱える課題も複雑化・多様化しています。 ●障がい者の経済的自立に関しては、依然として大きな課題が存在しています。障がい者雇用率は徐々に上昇傾向にあるものの、就労継続支援B型事業所における工賃は低水準にとどまっており、特に障がいの程度が重い方にとっては、自立した生活の実現が難しい状況が続いています。 ●障がい者に対する差別や偏見の解消についても、依然として大きな社会的課題となっています。障害者差別解消法の施行により、差別の是正や合理的配慮の推進が図られてきましたが、障がいへの理解不足や無意識の偏見などにより、社会参加や自立の機会が制限される現状があります。 ●障がい福祉サービスの需要が拡大する中、専門的知識と技能を備えた人材の確保・育成が喫緊の課題となっています。特に地方部においては、都市部に比べて利用可能なサービスの種類や質に格差が存在しており、必要なサービスを受けられる体制づくりが課題です。	
◇5年後のいなべ市の姿（施策の目的）			
【現行計画の記載内容】		【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】	
●障がいのある人の特性について正しく理解され、一人ひとりの意思が尊重され、差別や偏見がなく安心して生活できる社会となっています。 ●相談支援体制が充実し、日常生活での相談のほか、自分に合った福祉サービスが選択しやすいようになっています。乳幼児期から学齢期、学校卒業後の就労や地域生活といったライフステージ全体を支援する体制が進められています。		「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会」の実現を目指し、地域住民一人ひとりが協働し、日々支え合いながら、生活の中に楽しみや生きがいを見出し、生活上のさまざまな困難を抱えた場合であっても、誰もが社会から孤立することなく、安心してその人らしい生活を送ることができる社会となっています。 個人の価値観やライフスタイルの多様化など、社会構造の変化を踏まえ、人と人とのつながりを大切にした多面的かつ柔軟な支援が提供される地域づくり体制が進められています。	

◇基本事業1 障がい福祉サービスの充実					◇基本事業1 障がい福祉サービスの充実								
1. 事業内容【現行計画の記載内容】					1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】								
●障がいのある人への正しい理解と啓発促進、相談支援体制の充実、わかりやすい情報提供体制の構築、権利擁護の推進、差別の解消、虐待の防止などに取り組みます。 ●健康づくりの推進、医療体制の充実、障がいの早期発見、早期療育を推進します。 ●福祉サービスの充実、生活支援の拡充、福祉マンパワーの活用、バリアフリーの推進、防災・防犯対策の充実に取り組みます。 ●交流の促進、生涯学習活動の推進、就労支援、就労継続支援等の充実により社会参加を促進します。 ●就学前児童への支援、インクルーシブ教育の推進、途切れない支援の整備を行います。					●障がいに対する正しい理解を深めるため、学校や地域における啓発活動に取り組みます。 ●障がいのある方に対する差別の解消を目指し、虐待防止に関する相談体制の充実を図るとともに、早期発見・早期対応を図ります。 ●障がいの重度化や高齢化といった将来的な課題を見据え、居住支援機能を備えた拠点や支援体制の整備・充実を進めます。 ●就労支援の充実を図るため、就業・生活支援センターおよび就労移行支援・就労継続支援事業所の整備・拡充を図ります。 ●障がいのある方が就労先や働き方についてより良い選択ができるよう、就労アセスメントの手法を活用し、本人の希望や就労能力、適性等を踏まえた支援を実施していきます。これにあたり、管内の関係事業所と連携し、個々のニーズに即したサービスの提供に努めます。								
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】					2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】								
●障害者福祉事業 ●障害者補装具支給事業 ●障害者手当支給事業 ●地域生活支援事業 ●手話通訳者等派遣事業 ●障害者介護給付費等支給審査会共同設置事業 ●障害者自立支援福祉サービス事業 ●障害者自立支援医療給付事業 ●農と福祉の活性化事業					●障害者福祉事業 ●障害者手当支給事業 ●地域生活支援事業 ●障害者自立支援福祉サービス事業 ●障害者自立支援医療給付事業 ●障害者補装具支給事業 ●障がい者グループホーム整備補助事業 ●障害者介護給付費等支給審査会共同設置事業 ●手話通訳者等派遣事業								
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】													
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）					
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12
相談支援件数（各年延べ）	件	—	19,973	14,768	14,929	16,307	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000
障がい福祉サービス等利用者数（各年延べ）	人	—	5,983	6,343	7,347	7,452	7,460	7,460	7,460	7,460	7,460	7,460	7,460
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
◆指標の補足説明があれば記載													
相談支援件数が増加することで、障がい福祉サービスのニーズの把握が可能となり、必要なサービスを提供する体制の整備促進につながり、地域で安心して暮らせる障がい者福祉の推進につながります。													

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

		記入者		(福祉部人権福祉課、課長、山北幸美)										
第2次総合計画（現行計画）				第3次総合計画（次期計画※R8～）										
基本目標名	第4章 生きがいと安心の地域づくり			基本目標名	3 いつまでも笑顔で暮らせるまち									
施策名	4-1 地域の助け合いによる福祉の充実			施策名	地域の助け合いによる福祉の充実									
◇現状・課題														
【第2次総合計画の記載内容】				【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●地域住民相互の社会的なつながりを再構築するため、地域ごとの福祉委員会設置やボランティア活動推進等、地域住民が主体的に参画できる環境づくりを進めていく必要があります。 ●福祉サービスのニーズの多様化にともない、相談体制をより充実させ、地域も含めた関係団体が連携して支援にあたる必要があります。				●少子高齢化の進行や家族形態の変化、地域社会の変容などにより、社会環境は大きく変化し、福祉に対するニーズが多様化・複雑化しています。 ●住民主体による互助の体制を構築するため、自治会単位での「福祉委員会」の設置やボランティア活動団体等との環境づくりを進め、支え合える地域づくりを進めていく必要があります。										
◇5年後のいなべ市の姿（施策の目的）														
【現行計画の記載内容】				【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●市民が互いに協力し、主体的な地域福祉活動が活発に展開されています。				●市民・福祉関係団体・社会福祉協議会・行政などが協力して、「助け合い」「支え合い」の取り組みを展開し、誰もが住み慣れた地域で安心して自立した生活を送っています。										
◇基本事業1		地域福祉活動の充実		◇基本事業1		地域福祉活動の充実								
1. 事業内容【現行計画の記載内容】				1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●市民による自主的・自発的な地域福祉活動のために、支援・協働する社会福祉協議会等の活動を支援します。 ●地域活動推進のために、市民が互いに協力し、主体的な福祉活動が展開されるよう、各種機会の提供や相談等を行います。				●市民による自主的・自発的な地域福祉活動のために、「民生委員・児童委員事業」をはじめ、「社会福祉団体事業」を担っている社会福祉協議会を支援します。 ●地域活動推進のために、市民が互いに協力し、主体的な福祉活動が展開されるよう、社会福祉協議会を通じて、民生委員が参加する福祉委員会をはじめとした地域福祉活動の各種機会の提供や民生委員による一般相談をはじめ、各種相談事業を行います。										
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】				2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●社会福祉団体事業 ●戦傷病者・戦没者遺族等援護・追悼事業 ●民生委員・児童委員事業 ●保護司会事業 ●地域自殺対策事業				●社会福祉団体事業 ●戦傷病者・戦没者遺族等援護・追悼事業 ●民生委員・児童委員事業 ●保護司会事業 ●地域自殺対策事業										
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】														
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）						
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
民生委員から地域包括支援センターへの相談件数（各年延べ）	件	○	187	178	177	214	120	200	200	200	200	200	200	200
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17	
◆指標の補足説明があれば記載 民生委員は地域に密着して活動しており、地域包括支援センターは専門性を活かして具体的な支援策を提供するという地域福祉において互いに補完する関係です。この両者が連携することにより、支援の漏れ防止、重複回避、地域住民への安心感の提供、支援のタイムリーに届けることが可能となります。このため、両者の連携度合を数値化するため、民生委員から地域包括支援センターへの相談件数を指標としました。														

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

		記入者		市民部 保険年金課 課長 太田 正則										
第2次総合計画（現行計画）				第3次総合計画（次期計画※R8～）										
基本目標名	第4章 生きがいと安心の地域づくり			基本目標名	3 いつまでも笑顔で暮らせるまち									
施策名	4-12 社会保障制度の健全で円滑な運用			施策名	社会保障制度の健全で円滑な運用									
◇現状・課題														
【第2次総合計画の記載内容】				【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●国民健康保険は、高齢化の進行により医療に対する需要が大きい高齢者や保険料の負担能力の低い低所得者が多く加入しているため、安定的な運営が厳しくなっています。 ●社会保障・税一体改革による社会保障制度改革により、平成30（2018）年度から県が財政運営の責任主体となり、制度の安定化が図られることとなりました。市は、市民と身近な関係の中、資格管理、保険給付、保険料率の決定、賦課・徴収及び保健事業など地域におけるきめ細かい事業を引き続き担います。 ●社会構造の変化にともない、福祉医療費扶助費が増加しています。				●平成30年度より、三重県が財政運営の責任主体となり、「三重県国民健康保険運営方針」に基づく運営を実施しています。 ●「三重県国民健康保険運営方針」に基づき、令和11年度（2029）の標準保険料率への統一に向け、国保料率の段階的引き上げを実施しています。 ●令和6年（2024）12月より「マイナ保険証」の本格実施が開始となるとともに、令和7年度（2025）には自治体基幹システムの標準化システムへ移行します。 ●令和8年度（2026）より「子ども・子育て支援金制度」の財源の国保税からの徴収が開始されます。 ●社会構造の変化にともない、福祉医療費扶助費が増加しています。										
◇5年後のいなべ市の姿（施策の目的）														
【現行計画の記載内容】				【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●国民健康保険が広域化され、医療費の適正化などにより制度の健全な運営が図られています。 ●生活習慣病対策のため、特定健康診査を実施し、医療費が適正化されています。 ●75歳以上の高齢者などの医療を確保するため、三重県後期高齢者医療広域連合と連携し適正な運営が図られています。				●国民健康保険の広域化、マイナ保険証の実施、医療費の適正化などにより制度の健全な運営が図られています。 ●生活習慣病対策のため、特定健康診査を実施し、医療費が適正化されています。 ●75歳以上の高齢者などの医療を確保するため、三重県後期高齢者医療広域連合と連携し、適正な運営が図られています。										
◇基本事業1 国民健康保険の充実				◇基本事業1 国民健康保険の充実										
1. 事業内容【現行計画の記載内容】				1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●国民健康保険被保険者が安心して暮らすために、健全で円滑な運営を図ります。				●国民健康保険被保険者が安心して暮らすために、社会保障制度の変革に沿った賦課徴収と給付事業を実施し、健全で円滑な運営を図ります。										
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】				2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●国民健康保険事務 ●運営協議会事業				●国民健康保険事務 ●運営協議会事業										
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】														
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）						
			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17	
国民健康保険税収納率（各年）（収入金額／国民健康保険税）	%	—	95.83	96.11	96.25	96.07	97.27	97.27	97.27	97.27	97.27	97.27	97.27	
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17	
第2期三重県国民健康保険運営方針（令和6年3月）にある収納率を設定。														

◇基本事業2		国民健康保険医療費の適切な給付					◇基本事業2		国民健康保険医療費の適切な給付				
1. 事業内容【現行計画の記載内容】							1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】						
●予防の周知、啓発などにより、医療費の伸びを抑え運営の安定を図ります。							●社会保障制度の変革に沿った給付事業を実施し、適切な国民健康保険事業を図ります。						
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】							2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】						
●療養給付事業 ●高額療養費給付事業 ●高額介護合算療養費給付事業 ●被保険者移送費事業 ●出産育児一時金支給事業 ●葬祭費支給事業							●療養給付事業 ●高額療養費給付事業 ●高額介護合算療養費給付事業 ●被保険者移送費事業 ●出産育児一時金支給事業 ●葬祭費支給事業						
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】													
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）					
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12
事業年報（C表様式15）にある一般医療給付件数（各年）※暦年並みの給付件数維持	件	—	142,242	144,365	138,038	134,396	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
暦年並みの給付件数の維持を目標に設定。													

◇基本事業3		国民健康保険による健康維持の推進					◇基本事業3		国民健康保険による健康維持の推進				
1. 事業内容【現行計画の記載内容】							1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】						
●予防の周知、啓発などにより、医療費の伸びを抑え運営の安定を図ります。							●予防の周知、啓発などにより、医療費の伸びを抑え社会保障制度の変革に沿った運営の安定を図ります。						
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】							2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】						
●保健衛生普及事業 ●特定健康診査事業 ●特定保健指導事業							●保健衛生普及事業 ●特定健康診査事業 ●特定保健指導事業						
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】													
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）					
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12
特定健康診査受診率（各年）（受診者数／40～74歳の被保険者数）	%	—	54.5	53.4	55.4	集計中	58.0	58.0	58.0	58.0	58.0	58.0	58.0
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
第2期三重県国民健康保険運営方針（令和6年3月）にある特定検診受診率（全国36.4%、三重県43.8%）を上回る実績を維持することを目標にしました。													

◇基本事業4		後期高齢者医療保険制度の円滑な運営						◇基本事業4		後期高齢者医療保険制度の円滑な運営					
1. 事業内容【現行計画の記載内容】		●75歳以上の高齢者などの医療を確保するため、広域連合と連携し適正な運営を図ります。						1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】		●75歳以上の高齢者などの医療を確保するため、広域連合と連携し社会保障制度の変革に沿った適正な運営を図ります。					
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】		●後期高齢者医療事業 ●後期高齢者医療制度運営事業						2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】		●後期高齢者医療事業 ●後期高齢者医療制度運営事業					
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】															
指標名（各年・累計）		単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）						
				R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
後期高齢者医療保険料収納率（各年）（収入金額／後期高齢者医療保険料）		%	—	99.44	99.84	99.66	99.63	99.50	99.50	99.50	99.50	99.50	99.50	99.50	
指標の変更、追加↓				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17	
三重県後期高齢者医療連合の県下市町の平均収納率（令和6年度 99.44）を上回る実績を維持することを目標にしました。															

◇基本事業5		福祉医療制度の健全で円滑な運営						◇基本事業5		福祉医療制度の健全で円滑な運営					
1. 事業内容【現行計画の記載内容】		●重度の心身障がい者、母子、父子家庭の生活の自立・安定や子育て支援の充実のため、医療費の支援を行います。						1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】		●重度の心身障がい者、母子、父子家庭の生活の自立・安定や子育て支援の充実のため、社会保障制度の変革に沿った医療費の支援を行います。					
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】		●障がい者医療費扶助事業 ●子ども医療費扶助事業 ●一人親家庭等医療費扶助事業						2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】		●障がい者医療費扶助事業 ●子ども医療費扶助事業 ●一人親家庭等医療費扶助事業					
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】															
指標名（各年・累計）		単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）						
				R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
福祉医療費の助成額（各年）		千円	—	277,364	282,891	313,911	324,602	327,000	327,000	327,000	327,000	327,000	327,000	327,000	
指標の変更、追加↓				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17	
暦年並みの助成額の維持を目標に設定。															

◇基本事業6		国民年金の適正な運営						◇基本事業6		国民年金の適正な運営					
1. 事業内容【現行計画の記載内容】								1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】							
●法定受託事業であり、市役所窓口や電話での届出受付、相談、問い合わせなどと合わせ、国民年金制度の正しい理解のための周知を行います。								●法定受託事業であり、市役所窓口や電話での届出受付、相談、問い合わせなどと合わせ、社会保障制度の変革に沿った国民年金制度の正しい理解のための周知を行います。							
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】								2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】							
●国民年金事業								●国民年金事業							
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】															
指標名（各年・累計）		単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）						
				R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
年金相談件数（各年延べ）		件	—	8,607	8,278	8,325	集計中	8,300	8,300	8,300	8,300	8,300	8,300	8,300	
指標の変更、追加↓				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17	
暦年並みの年金相談件数を目標に設定。															

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

				記入者	福祉部生活支援課長 伊藤 幸宏									
第2次総合計画（現行計画）				第3次総合計画（次期計画※R8～）										
基本目標名	第4章 生きがいと安心の地域づくり			基本目標名	3 いつまでも笑顔で暮らせるまち									
施策名	4-13 適切な生活保護制度の推進			施策名	適切な生活保護制度の推進									
◇現状・課題														
【第2次総合計画の記載内容】				【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●生活保護世帯は減少傾向にあります。一方で生活困窮者自立支援法による相談が増え、生活保護に至る前に支援が開始されて自立につながっています。 ●生活困窮の原因の一つに、ひきこもり問題があります。ひきこもり当事者が高齢化して世帯収入の増加が望めません。若年期の早期相談、早期支援が必要です。 ●自宅で暮らせなくなった高齢者がサービス付き高齢者住宅に入居し、年金で不足する部分を生活保護費で賄うケースが増加しています。				●保護世帯数の変化は、ここ数年横ばい傾向ですが、物価高騰、家族関係の希薄化など、今後、生活に困窮する世帯が増加すると考えられます。生活保護を要する状況になる前に、早期からの相談支援体制を充実させていく必要があります。寄り添った伴走型の支援を行うことによる課題解決が求められます。 ●生活困窮の原因の一つに、ひきこもり等の課題があります。ひきこもり当事者の自己決定・意思を尊重し、自立と自律が促進されるよう、支援体制の充実を図る必要があります。 ●失敗体験の繰り返しなど社会参加への不安や意欲の低下に加え、精神疾患、家族関係など複合的な課題を抱える人が増えています。										
◇5年後のいなべ市の姿（施策の目的）														
【現行計画の記載内容】				【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●生活困窮者の状況が理解され、ひきこもりを含めた生活困窮世帯に寄り添いながら、総合的な支援によって生活困窮世帯が自立できています。				●生活に困窮する人が、安心して希望をもって生活できる包摂的なまちへと進化しています。 相談支援体制が充実し、属性にとらわれない相談支援により、金銭的課題だけでなく、就労、住居、子育て、医療、介護など、切れ目のない総合的な相談支援体制が確立しています。										
◇基本事業1 生活保護制度の適切な運営				◇基本事業1 生活保護制度の適切な運営										
1. 事業内容【現行計画の記載内容】				1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●要保護者の多様な困窮要因を把握し、他法他施策の活用を図りながら、要保護者の経済的、日常生活的、社会的自立を促進します。				●生活保護費を支給するだけでは、自立した生活を送れない人もいることから、その人にふさわしい生活を支援するため、多職種・多機関が、連携をとり、経済、日常生活、社会的自立に向けた支援を促進します。										
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】				2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●生活保護事業				●生活保護事業										
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】														
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）						
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
生活保護率（各年）（生活保護受給者数／市の総人口）	%	—	3.4	3.3	3.3	3.3	3.2	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17	
◆指標の補足説明があれば記載 直近2年で保護開始をした被保護者は、ひきこもりや8050問題など、何かしらの生活課題を抱えるとともに社会性が乏しく、自立に向けた阻害要因を含有している人が多いため、現時点では、目標値の下げは難しいという見解です。														

◇基本事業2		生活困窮者の相談支援					◇基本事業2		生活困窮者の相談支援				
1. 事業内容【現行計画の記載内容】		●生活保護に至る前に、様々な課題をかかえている生活困窮者・生活困窮世帯に対して、各機関と連携して支援を行い、生活基盤の安定化と自立に向けた環境整備を図ります。					1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】		●生活保護に至る前に、様々な課題をかかえている生活困窮者に対して、各機関と連携して支援を行い、生活基盤の安定化と自立に向けた環境整備を図ります。				
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】		●生活困窮者自立支援事業（ひきこもり支援を含む） ●行旅人事業					2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】		●生活困窮者自立支援事業（ひきこもり支援を含む） ●行旅人事業				
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】													
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）					
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12
生活困窮者自立支援事業における相談件数（各年延べ）	件	—	214	146	106	139	122	122	125	125	130	130	130
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
◆変更、追加した指標の補足説明があれば記載 コロナ禍での相談件数が、一時的な要因で、R2、R3は急増しました。一時的な要因が目標値となり、実態と乖離があるため、R5、R6の2年間の平均値を目標値に変更し、以降、相談窓口の周知の拡充により、相談件数が増える見込み、目標値を変更します。													

4 自然と調和した快適で安心・安全なまち

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

		記入者		都市整備部交通政策課 課長 市川哲也										
第2次総合計画（現行計画）					第3次総合計画（次期計画※R8～）									
基本目標名		第1章 快適で豊かな交流を生むまちづくり			基本目標名		4 自然と調和した快適で安心・安全なまち							
施策名		1-1 公共交通の充実			施策名		公共交通の充実							
◇現状・課題														
【第2次総合計画の記載内容】					【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】									
●本市で運行している三岐鉄道三岐線及び北勢線は、両線とも安全・安定運行のための施設整備への投資や沿線市町の補助が必要となっており、北勢線は運行費についても沿線市町の支援が必要となっています。					●三岐鉄道北勢線は独立採算での運行は難しく、沿線市町による運行経費の補助が必要です。更には車両が老朽化しているため、運行経費の他にも車両更新等経費の補助が必要です。									
●交通困難者の買い物、通院などの交通手段としても福祉バスが活用されており、今後も安定した運行が必要となっています。					また、三岐鉄道三岐線においても安全運行を確保するために、設備更新経費として、国・県・沿線市町による協調補助が必要です。									
					●交通困難者の買い物、通院などの交通手段としても福祉バスが活用されており、今後も安定した運行が必要です。									
					また、多くの住民からの要望に応えるために、ダイヤ・路線の調整を含め、新たな利便性の高い交通体系の構築を目指します。									
◇5年後のいなべ市の姿（施策の目的）														
【現行計画の記載内容】					【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】									
●電車やバスなどの公共交通機関が身近な地域で安定的に運行しており、多くの市民が利用しています。					●電車やバスに加え、デマンドタクシー等新たなモビリティの導入による交通手段が増え、多くの市民が利用しています。									
◇基本事業1 鉄道交通の整備					◇基本事業1 鉄道交通の整備									
1. 事業内容【現行計画の記載内容】					1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】									
●三岐鉄道との連携強化を図り、三岐鉄道北勢線の利用者数の増加に向けて、多様な広報やイベントなどを開催します。また、駅駐車を活用したパークアンドライドの効果により、乗客数の増加を推進します。					●三岐鉄道北勢線の今後の在り方の検討に向けた基礎調査に基づき、車両更新等の検討を行います。									
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】					2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】									
●三岐鉄道支援事業					●三岐鉄道支援事業									
●駐輪場・駐車場管理事業					●駐輪場・駐車場管理事業									
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】														
指標名（各年・累計）		単位	総合戦略KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）					
				R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12
北勢線利用者数（各年延べ）		人	○	1,923,377	2,084,178	2,150,364	2,204,921	2,569,000	2,215,000	2,220,000	2,225,000	2,230,000	2,235,000	2,240,000
指標の変更、追加↓				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
◆指標の補足説明があれば記載														
第2次目標値（令和7年度）は、コロナ禍前の目標値であったため、近年の実績数と大きな乖離がありました。そのため、過去3年の全線利用者の実績から人口減少を踏まえて目標値を設定しました。なお、第4次いーとこ定住自立圏共生ビジョンの指標は、市内4駅で人口減少に伴う減数予測から設定していましたが、増数予測に変更します。														

◇基本事業2			バス交通の整備					◇基本事業2			バス交通の整備				
1. 事業内容【現行計画の記載内容】			●地域住民の身近な交通手段として、福祉バスの効率的で利便性及び安全性の高い運行を推進します。また、交通空白地への対策を進めます。					1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】			●地域住民の身近な交通手段として、福祉バスの効率的で利便性及び安全性の高い運行を推進します。また、利用者ニーズや運行課題を把握し、より持続可能で効果的な公共サービスの提供に取り組みます。				
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】			●福祉バス運行事業					2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】			●福祉バス運行事業				
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】															
指標名（各年・累計）		単位	総合戦略KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）						
				R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
福祉バス利用者数（各年延べ）		人	○	72,109	75,781	76,366	79,823	103,750	80,100	80,200	80,300	80,400	80,500	81,000	
指標の変更、追加↓				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17	
◆変更、追加した指標の補足説明があれば記載 第2次目標値（令和7年度）は、コロナ禍前の目標値であったため、近年の実績数と大きな乖離がありました。そのため、過去3年の全線利用者の実績から人口減少を踏まえて目標値を設定しました。なお、第4次いーとこ定住自立圏共生ビジョンの指標は、人口減少に伴う減数予測から設定していましたが、増数予測に変更します。															

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

		記入者	建設部建設課、課長、石川義弘
第2次総合計画（現行計画）		第3次総合計画（次期計画※R8～）	
基本目標名	第1章 快適で豊かな交流を生むまちづくり	基本目標名	4 自然と調和した快適で安心・安全なまち
施策名	1-2 快適な道路網の充実	施策名	快適な道路網の充実
◇現状・課題			
【第2次総合計画の記載内容】		【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】	
●国道 306号の滋賀県方面との広域道路ネットワークの整備や、県道・市道の未改良箇所の順次改良、幹線道路を軸とした市域の一体的な道路網の形成、冬期の除雪・融雪体制の充実などが必要です。 ●道路の多様な機能を十分に発揮させ、子どもや高齢者をはじめとする全ての人にとって安全で、環境や防災に配慮した整備や、広域的な整備、まちづくりとの一体的な整備など、多方面からの道路整備が求められています。 ●市道に架かる橋梁等の老朽化により、修繕・架け替え等にかかる費用の増加が懸念されるため、定期点検の実施や計画的な橋梁の維持管理を通じた、橋梁の寿命の延伸が必要となっています。 ●東海環状自動車道の機能を十分に発揮できるよう、市内道路網整備の充実が必要です。また、アクセス道の整備をはじめ、周辺地域の生活環境への配慮や環境保全対策等についての国や県への要請が必要です。		●大規模自然災害に対応する国道、県道を軸とした広域道路ネットワークの構築や災害防止対策が必要な道路施設を強化した道路網の構築が必要です。 ●歩道未整備の通学路など改良が必要な生活道路では、通学時の歩行者、自転車の安全対策を図るため、歩道や安心路肩の設置を始めとする道路整備が必要です。 ●災害が激甚化・頻発化する中、防災・減災、国土強靱化対策へのさらなる取組が必要です。 ●市が管理する道路施設は老朽化による修繕・更新等にかかる費用の増加が懸念されるため、定期点検を実施し、計画的な整備を行うことで道路施設の長寿命化が必要です。 ●東海環状自動車道の全線開通に伴う交通量の増加によるインターチェンジ周辺地域の交通安全対策や生活環境の保全対策について、国や県などの関係団体への要請が必要です。	
◇5年後のいなべ市の姿（施策の目的）			
【現行計画の記載内容】		【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】	
●市民生活や産業活動を支える道路整備が早期に実施され、市内及び広域幹線道路網の計画的な整備が行われるとともに、緊急時の災害時避難拠点を結ぶ道路環境が整備されています。 ●東海環状自動車道北勢インターチェンジの開通によりアクセス機能が向上し、ヒト・モノ・情報の交流がさらに活発になり、定住人口や交流人口、関係人口が増加しています。		●市民生活や産業活動を支える道路整備が実施され、市内及び広域幹線道路網の計画的な整備が行われるとともに、緊急時の災害時避難拠点を結ぶ道路環境が整備されています。 ●東海環状自動車道の全線開通によりヒト・モノ・情報の交流がさらに活発になり、定住人口や交流人口、関係人口が増加しています。	
◇基本事業1	生活道路網の整備	◇基本事業1	生活道路網の整備
1. 事業内容【現行計画の記載内容】		1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】	
●国道 306号新鞍掛トンネルの整備や国道 365号・国道 421号バイパスの早期完成を促進します。また、主要地方道・県道では、北勢多度線をはじめ、近隣市町、工業団地などを結ぶ道路網の整備を促進し、市内幹線道路の充実を図ります。 ●集落間や公共施設間を結ぶため、自治会や地権者の協力を得て生活道路や橋梁の整備を図ります。また、市道に架かる橋梁、トンネル、歩道橋等の定期点検や長寿命化のための修繕工事を行い、適正に維持管理します。さらに、歩行者や自転車の安全のため、歩道等の整備を進めます。		●国・県道を始め近隣市町、工業団地などを結ぶ幹線道路網の充実を図ります。 ●集落間や公共施設間を結ぶ生活道路については、自治会や地権者の協力を得て整備を図ります。 ●歩行者、自転車の安全対策として自転車歩行者道や安心路肩などの整備を進めます。 ●道路施設の維持管理については定期的な点検を実施し個別施設計画を策定し適正な道路インフラの整備を行います。	

2. 主な事業名【現行計画の記載内容】							2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】						
●社会基盤施設整備促進事業 ●簡易パーキング管理事業 ●県単道路改良事業 ●社会資本整備総合交付金事業 ●道路台帳整備事業 ●防災・安全交付金事業 ●道路メンテナンス事業 ●道路橋梁維持補修事業 ●市単独道路改良事業							●道路台帳整備事業 ●簡易パーキング管理事業 ●高速道路整備促進事業 ●社会基盤施設整備促進事業 ●県単道路改良事業 ●道路橋梁維持補修事業 ●道路災害防止対策事業 ●防災・安全交付金事業 ●市単独道路改良事業 ●道路メンテナンス事業						
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】													
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）					
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12
市道の改良延長（累計）	km	○	536	536	537	537	540						
歩道の設置延長（累計）	km	○	69	69	70	70	75						
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
市道の改良延長（累計）													
歩道の設置延長（累計）	m							100	200	280	360	440	
◆指標の補足説明があれば記載 道路改良の計画がないため市道の改良延長（累計）の削除 歩道の設置延長累計を単年度ごとの整備数量の累計とし単位をmに変更													
◇基本事業2 高速交通網の整備促進							◇基本事業2 高速交通網の整備促進						
1. 事業内容【現行計画の記載内容】 ●東海環状自動車道の残り区間が早期に開通されるよう、県内外の市町村と連携しながら、国・県等の関係機関に早期の全線開通に向けた働きかけを行います。							1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】 ●東海環状自動車道が早期に全線開通されるよう、県内外の市町村と連携しながら、国・県等の関係機関に向けた働きかけを行います。						
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】 ●高速道路整備促進事業							2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】 ●高速道路整備促進事業						
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】													
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）					
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12
市内の高速道路設置延長（累計）	km	○	2.8	2.8	2.8	9.3	9.4	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3	18.3
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
◆変更、追加した指標の補足説明があれば記載													

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

							記入者		水道工務課 日下部晃		水道総務課 出原博子				
第2次総合計画（現行計画）							第3次総合計画（次期計画※R8～）								
基本目標名		第1章 快適で豊かな交流を生むまちづくり					基本目標名		4 自然と調和した快適で安心・安全なまち						
施策名		1-3 暮らしを支える上水道の充実					施策名		暮らしを支える上水道の充実						
◇現状・課題															
【第2次総合計画の記載内容】							【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】								
●老朽化が進む施設を計画的に更新する必要があります。 ●有収率向上を図るため、漏水の調査を進め、修繕を行う必要があります。 ●近い将来起きると言われている大地震に備え、施設の耐震化を図る必要があります。 ●人口減少にともない、使用水量、料金収入ともに減少していきます。							●老朽化が進む施設を計画的に更新する必要があります。 ●有収率向上を図るため、漏水の調査を進め、管路の修繕や更新を行う必要があります。 ●近い将来起きると言われている大地震に備え、管路及び施設の耐震化を図る必要があります。 ●水道法に基づく水質管理の徹底により、安全な水の供給を確保する必要があります。 ●人口減少にともない、使用水量、料金収入の減少が見込まれます。健全経営を維持するための更なる努力が必要です。								
◇5年後のいなべ市の姿（施策の目的）															
【現行計画の記載内容】							【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】								
●市民の暮らしを支える水道の維持管理や施設の更新や耐震化が進み、非常時の給水能力が向上しています。 ●平成 30年度に策定された新水道ビジョンに基づき、効果的な経営が行われています。 ●災害等に備え、他市町との連携が強化されています。							●市民の暮らしを支える水道施設の更新や耐震化が進み、非常時の給水能力が向上しています。 ●老朽管の更新により有収率が向上しています。 ●「いなべ市水道事業経営戦略」により健全な経営基盤を維持し、安全な水道水を安定的に供給しています。								
◇基本事業1		水道施設の整備促進					◇基本事業1		水道施設の整備及び耐震化						
1. 事業内容【現行計画の記載内容】							1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】								
●大地震の被害を軽減し、災害発生時にも最低限の給水を確保するため、基幹施設の耐震化を進めます。							●大地震の被害を軽減し、災害発生時にも最低限の給水を確保するため、重要給水施設管路及び基幹管路の耐震化を進めます。 ●老朽化した施設や管路の更新作業を進めます。								
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】							2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】								
●水道施設耐震化事業							●水道施設耐震化事業 ●配水管布設事業 ●施設更新事業								
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】															
指標名（各年・累計）		単位	総合戦略KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）						
				R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
基幹管路耐震化延長（累計）		m	—	14,996	14,996	14,996	14,996	15,600	16,000	16,500	17,000	17,500	18,000	20,500	
指標の変更、追加↓				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17	
重要給水施設管路耐震化延長（累計）		m	—	14,400	14,400	14,400	14,400		15,000	15,500	16,000	16,500	17,000	19,500	
◆指標の補足説明があれば記載 基幹管路耐震化事業及び重要給水施設管路耐震化事業は、令和6年度能登半島地震による水道施設の甚大な被害を教訓とし、避難所、病院、防災拠点等で水道を使えるようにするため、全国の水道事業者に求められている事業です。															

◇基本事業2			安定給水の推進												◇基本事業2			安定給水の推進											
1. 事業内容【現行計画の記載内容】			●通常の施設維持管理を継続して実施するとともに、老朽化した施設や配水管の更新作業を進めます。												1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】			●水道監視システムデータ確認や定期的な施設巡回、また委託業者による施設点検、修理、更新等の施設維持管理を継続して実施します。											
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】			●水道防災対策事業 ●施設更新事業 ●配水及び給水施設維持管理事業 ●水源建設事業 ●原水及び浄水施設維持管理事業 ●配水管布設事業												2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】			●原水及び浄水施設維持管理事業 ●配水及び給水施設維持管理事業											
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】																													
指標名（各年・累計）			単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）					第2次目標値	第3次目標値（年度）																		
					R3	R4	R5	R6	R7		R8	R9	R10	R11	R12	R17													
上水道の有収率（年間の有収水量／年間の配水量）（各年）			%	—	83.6	81.7	81.8	82.4	90.0	82.6	82.8	83.0	84.0	85.0	90.0														
指標の変更、追加↓					R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17														
◆変更、追加した指標の補足説明があれば記載																													

◇基本事業3			運営の効率化の推進												◇基本事業3			持続可能な経営基盤の充実											
1. 事業内容【現行計画の記載内容】			●水道事業を健全に運営するため、事業の効率化に努め、経費の上昇を抑えます。												1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】			●経営状況の把握・分析により健全な経営を行います。 ●水道料金の見直しを定期的に検討します。											
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】			●水道料金経営安定化事業												2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】			●水道経営安定化事業											
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】																													
指標名（各年・累計）			単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）					第2次目標値	第3次目標値（年度）																		
					R3	R4	R5	R6	R7		R8	R9	R10	R11	R12	R17													
上水道の給水原価（各年）			円	—					150																				
指標の変更、追加↓					R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17														
経常収支比率			%	—	107.53	105.50	102.39	105.53		100以上	100以上	100以上	100以上	100以上	100以上														
料金回収率			%	—	99.55	94.50	84.68	97.74		98.00	98.00	100.00	100.00	100.00	100.00														
◆変更、追加した指標の補足説明があれば記載 【料金回収率】給水に係る費用が、どの程度水道料金で賄えているかを表した指標。																													

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

		記入者	水道総務課 出原博子・下水道課 伊藤英樹
第2次総合計画（現行計画）		第3次総合計画（次期計画※R8～）	
基本目標名	第1章 快適で豊かな交流を生むまちづくり	基本目標名	4 自然と調和した快適で安心・安全なまち
施策名	1-4 美しい水環境の創出	施策名	美しい水環境の創出
◇現状・課題			
【第2次総合計画の記載内容】		【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】	
●市内住宅地のほぼ全域となる約 2,446haの大部分で、農業集落排水事業または公共下水道事業が供用開始しています。一方で、老朽化による更新が必要となっている施設があります。 ●災害時でも必要な最低限の事業が継続できる施設の強化と体制の構築が求められています。 ●平成 26（2014）年度に「いなべ市下水道ビジョン」を策定し、下水道施策に関する10年間の方向性を示しました。		●市内住宅地のほぼ全域となる約 2,351haの大部分で、公共下水道事業または農業集落排水事業が供用開始しています。農業集落排水施設については、平成26（2014）年度に策定した「いなべ市下水道ビジョン」により12箇所あった処理施設のうち4箇所を公共下水道に編入する計画を立て、令和9（2027）年4月に全て編入完成予定です。 ●平時はもちろん、震災等の災害時でも必要な最低限の事業が継続できる施設の強化と体制の構築が求められています。一方で、老朽化による更新が必要となっている施設があります。	
◇5年後のいなべ市の姿（施策の目的）			
【現行計画の記載内容】		【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】	
●老朽化した施設の更新に合わせ、災害時に必要な事業が継続するための施設強化と体制づくりが進んでいます。 ●「いなべ市下水道ビジョン」に基づき、着実に下水道施設の整備が進んでいます。		●老朽化した施設の更新に合わせ、災害時に必要な事業が継続するための施設強化と体制づくりが進んでいます。 ●「いなべ市下水道事業経営戦略」に基づき、下水道施設の整備と強化、適切な管理を行い、経営の効率化・安定化を進めています。	
◇基本事業1	下水道施設の整備と強化	◇基本事業1	下水道施設の整備と強化
1. 事業内容【現行計画の記載内容】		1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】	
●農業集落排水地区を公共下水道へ統合していきます。 ●未整備区域を計画的に整備します。		●農業集落排水地区を公共下水道へ統合を進めます。（令和9年まで） ●老朽化の調査を行い更新・改築を行います。 ●不明水浸入調査のうえ改築を進めます。 ●農業集落排水施設の再編計画を検討し、効率的な事業を進めます。 ●震災等の災害時でも必要な最低限のライフラインが継続できる施設強化として、重要施設に接続する管路等の耐震化を進めます。	
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】		2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】	
●農業集落排水施設整備事業 ●下水道施設整備事業		●農業集落排水施設整備事業 ●下水道施設整備事業	

3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】													
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）					
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12
農業集落排水地区の下水道編入箇所数（対象4地区）（累計）	箇所	—					4						
公共下水道区域の整備率（累計）（供用開始面積／計画区域面積）	m	—					100						
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
下水道の有収率（各年）（年間の有収水量／総汚水処理水量）	%	—	80.1	82.2	80.5	81.1		81.5	81.7	81.9	82.1	82.3	83.3
◆指標の補足説明があれば記載 不明水対策のための下水道管更新・更生工事により不明水浸入を抑える。下水道本管への不明水の浸入を抑えることで、下水道施設の適切な運営管理が行えるほか、三重県に支払う維持管理負担金の抑制にもなり、健全な上下水道事業会計の運営につながる。													
◇基本事業2 下水道施設の適正管理と体制の構築							◇基本事業2 下水道施設の適正管理と体制の構築						
1. 事業内容【現行計画の記載内容】 ●管路の老朽化を確認するため、内部の調査を進めます。また、更新においては耐震化を行います。 ●未接続世帯への啓発に取り組み、地域や公共用水域の環境改善を図ります。							1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】 ●民間の技術ノウハウ・資金を活用し効率的な管理運営をマネジメントしていくため、アウトソーシングを検討していく必要があります。 ●「いなべ市下水道事業経営戦略」に基づき、持続可能な下水道事業の経営を行います。						
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】 ●農業集落排水施設維持管理事業 ●農業集落排水経営安定化事業 ●下水道経営安定化事業 ●下水道施設維持管理事業							2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】 ●農業集落排水施設維持管理事業 ●農業集落排水経営安定化事業 ●下水道経営安定化事業 ●下水道施設維持管理事業						
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】													
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）					
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12
下水道の有収率（各年）（年間の有収水量／総汚水処理水量）	%	—					85.0	81.5					85.0
下水道の水洗化率（累計）（水洗化人口／汚水処理普及人口）	%	—					100						
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
経常収支比率（農集）	%	—	112.38	108.95	119.71	124.42		100以上	100以上	100以上	100以上	100以上	100以上
経常収支比率（公共）	%	—	126.40	126.80	120.88	117.62		100以上	100以上	100以上	100以上	100以上	100以上
経費回収率（農集）	%	—	40.8	36.4	36.4			50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
経費回収率（公共）	%	—	75.0	74.8	74.9			100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
◆変更、追加した指標の補足説明があれば記載 【経費回収率】使用料で回収すべき経費を、どの程度使用料で賄えているかを表した指標。													

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

				記入者	(建設部管理課、課長、安藤由紀子)									
第2次総合計画（現行計画）				第3次総合計画（次期計画※R8～）										
基本目標名	第1章 快適で豊かな交流を生むまちづくり			基本目標名	4 自然と調和した快適で安心・安全なまち									
施策名	1-5 秩序ある土地利用の推進			施策名	秩序ある土地利用の推進									
◇現状・課題														
【第2次総合計画の記載内容】				【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●本市には桑名都市計画区域といなべ都市計画区域、いなべ準都市計画区域、都市計画区域外という4…種類の区域が存在しています。 ●桑名都市計画区域以外の都市計画区域については統合する必要があります。また高速道路の開通にともない開発圧力の高まりが想定されるため、適切な土地利用を誘導すべき地域には新しい用途地域の指定を検討する必要があります。				●本市には桑名都市計画区域といなべ都市計画区域、いなべ準都市計画区域、都市計画区域外という4…種類の区域が存在しています。 ●桑名都市計画区域以外の都市計画区域については統合する必要があります。また高速道路の開通にともない開発圧力の高まりが想定されるため、適切な土地利用を誘導すべき地域には新しい用途地域の指定を検討する必要があります。										
◇5年後のいなべ市の姿（施策の目的）														
【現行計画の記載内容】				【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●土地利用を規制すべきエリアについて、早急に新たな用途地域を指定することにより、適切な土地利用が図られています。				●土地利用を規制すべきエリアについて、早急に新たな用途地域を指定することにより、適切な土地利用が図られています。										
◇基本事業1 計画的な土地利用の推進				◇基本事業1 計画的な土地利用の推進										
1. 事業内容【現行計画の記載内容】				1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●用途地域の指定により、適切な土地利用の規制・誘導を行います。				●用途地域の指定により、適切な土地利用の規制・誘導を行います。										
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】				2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●都市計画審議会事業 ●都市計画推進事務				●都市計画審議会事業 ●都市計画推進事務										
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】														
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）					第2次目標値	第3次目標値（年度）					
			R3	R4	R5	R6	R7		R8	R9	R10	R11	R12	R17
用途地域面積（累計）			473	473	473		500	500	502	503	503	503	503	
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17	
◆指標の補足説明があれば記載														

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

		記入者	(環境部環境衛生課、主任、竹内尚正) 都市整備部新産業創造課 課長 齊藤義喜
第2次総合計画（現行計画）		第3次総合計画（次期計画※R8～）	
基本目標名	第2章 安全で自然と調和した暮らしづくり	基本目標名	4 自然と調和した快適で安心・安全なまち
施策名	2-4 環境にやさしいまちづくりの推進	施策名	環境にやさしいまちづくりの推進
◇現状・課題			
【第2次総合計画の記載内容】		【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】	
●近年、もえるごみの搬入量は増加傾向にあり、資源化が横ばい状態であるため、市民の意識向上が望まれます。中でも集積所でのごみの分別がなされておらず、自治会での処理が大きな問題となっています。増加する外国人にも対応した、ごみの適正な処理の啓発や、ごみの減量化を進める必要があります。 ●環境パトロール事業や自治会、民間事業者と連携した継続監視を行い、不法投棄の防止に取り組んでいますが、ここ数年、集積所や道端、河川、山林等あらゆる場所で不法投棄が増加し、深刻な問題となっています。また、無料回収などの不法な回収場所も増加し、回収後の不要物の放置が問題となっています。 ●下水道整備区域外の生活排水処理を適正に行っています。 ●北勢斎場の老朽化が進んでいるため、早急な修繕が必要です。		●近年、もえるごみの搬入量は人口減少の影響もあり減少傾向にあります。更なる資源化推進のため、一部分別がなされていない自治会の集積所や、今後も増加が見込まれる外国人にも対応した、ごみの適正な処理の啓発や、ごみの減量化を引き続き進める必要があります。 ●あじさいクリーンセンターの施設老朽化に伴い、菰野町との広域化による新たな一般廃棄物処理施設建設に向け、一部事務組合を設立します。また、資源循環の促進の観点から、製品プラスチックの再商品化処理の実施を取り組めます。 ●環境パトロール事業や自治会、民間事業者と連携した継続監視を行い、不法投棄の防止に取り組んでいますが、集積所や道端、河川、山林等あらゆる場所で不法投棄が増加し、深刻な問題となっています。 ●北勢斎場の建物及び火葬設備の老朽化に伴い、新しい斎場の建設が必要です。 ●水素の利活用でモビリティ分野のCO2削減を促進することが必要です。 ●環境省の再エネ交付金を活用することで、いなべ市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に掲げる温室効果ガス排出削減量を増加させる更なる取り組みが必要です。	
◇5年後のいなべ市の姿（施策の目的）			
【現行計画の記載内容】		【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】	
●外国人を含む市民全体の意識向上により、もえるごみ等の減量や再資源化が推進されています。 ●警察と連携して取り締まりを行い、不法投棄が減少しています。 ●生活排水の保全が推進され、安心できる生活環境が整備されています。 ●市民が安心して利用できるように、斎場の適切な維持管理が行われています。		●外国人を含む市民全体の意識向上により、もえるごみ等の減量や再資源化が推進されています。 ●生活排水の保全が推進され、安心できる生活環境が整備されています。 ●市民が安心して利用できるように、斎場の適切な維持管理が行われています。 ●温室効果ガス排出削減目標の達成に向けて取り組みが進められています。	

◇基本事業1			廃棄物の適正な処理					◇基本事業1			廃棄物の適正な処理				
1. 事業内容【現行計画の記載内容】			●ごみカレンダーを作成して分別収集を推進します。また、外国人が理解できるように、ホームページ等で外国語の案内を行います。 ●桑名広域環境管理センターで、し尿及び浄化槽汚泥を適正処理し、水質汚濁を防ぎます。					1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】			●ごみカレンダーを作成して分別収集を推進します。また、外国人が理解できるように、ホームページ等で外国語の案内を行います。 ●桑名広域環境管理センターで、し尿及び浄化槽汚泥を適正処理し、水質汚濁を防ぎます。 ●自治会に対し不法投棄防止看板を配布するとともに、環境パトロールや地域清掃を補助することで不法投棄の防止に取り組みます。また、地域清掃などで回収した不法投棄物の処理を行います。				
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】			●不法投棄処理事業 ●ごみ収集事業 ●ごみ処理事業 ●ごみ分別収集啓発事業 ●あじさいクリーンセンター事業 ●し尿処理事業					2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】			●不法投棄防止啓発事業 ●ごみ収集事業 ●ごみ処理事業 ●ごみ分別収集啓発事業 ●あじさいクリーンセンター事業 ●し尿処理事業				
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】															
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）							
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17	
もえるごみの処理量（各年延べ）	t	—	11,304	10,891	10,563	10,413	10,400	10,350	10,300	10,250	10,200	10,150	9,900		
粗大ごみ場に搬入されたごみの処理量（各年延べ）	t	—	1,250	1,636	1,398	1,458	1,300	1,670	1,680	1,690	1,700	1,710	1,660		
自治会からの分別に関する苦情件数（各年延べ）	件	—	20	19	18	17	25	23	22	21	20	19	14		
し尿処理量（各年延べ）	t	—	6,804	6,697	6,761	6,995	6,580	6,450	6,400	6,350	6,300	6,250	6,000		
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17		
◆指標の補足説明があれば記載 過去の実績値や取組に対する分析結果から、この数値を目標値とした															

◇基本事業2			循環型社会形成の推進					◇基本事業2			循環型社会形成の推進				
1. 事業内容【現行計画の記載内容】			●リユースやリサイクルの推進及び各リサイクル品目の分別回収を促進します。 ●ごみの再資源化を促進します。 ●生ごみの堆肥化促進により生ごみの減量化を図り、ごみの搬入量を低下させます。					1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】			●リユースやリサイクルの推進及び各リサイクル品目の分別回収を促進します。 ●ごみの再資源化の更なる促進として、製品プラスチックの分別及び回収の実施に向けて取り組みます。 ●生ごみの堆肥化促進により生ごみの減量化を図り、ごみの搬入量を低下させます。				
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】			●ごみ減量化推進事業 ●ごみ資源化推進事業					2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】			●ごみ減量化推進事業 ●ごみ資源化推進事業				
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】															
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）							
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17	
資源ごみの搬入量（各年延べ）	t	—	501	493	474	457	800	500	500	500	500	500	500		
コンポストの利用者数（累計）	人	—	2,853	2,878	2,906	2,936	2,905	2,965	2,980	2,995	3,010	3,025	3,100		
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17		
◆変更、追加した指標の補足説明があれば記載 過去の実績値や取組に対する分析結果から、この数値を目標値とした															

◇基本事業3		環境保全対策の推進					◇基本事業3		環境保全対策の推進				
1. 事業内容【現行計画の記載内容】		●不法投棄や無料回収等の不法な回収場所の増加に対して、地域住民や民間事業者と連携して監視を行います。 ●環境保全に関する公害の苦情や相談に対応し、騒音や振動、大気汚染、水質汚濁等を適正に処理します。					1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】		●法令や地元との協議に基づき環境調査を実施することにより、環境基準に適合しているかを継続監視し、生活環境及び自然環境の保全に取り組めます。 ●騒音や振動、大気汚染、水質汚濁等の環境保全に関する公害の苦情や相談を適正に対処します。				
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】		●環境問題調査事業 ●環境調査事業 ●生活環境対策事業 ●不法投棄防止啓発事業					2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】		●環境問題調査事業 ●生活環境対策事業 ●環境調査事業 ●不法投棄防止啓発事業				
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】													
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）					
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12
不法投棄処理件数（各年）	件	—	38	40	30	28	60	28	27	26	25	25	25
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
◆変更、追加した指標の補足説明があれば記載													

◇基本事業4		斎場の適切な維持管理					◇基本事業4		斎場の適切な維持管理				
1. 事業内容【現行計画の記載内容】		●施設を適正に維持管理し、遺族が安心して故人を弔える場を提供します。					1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】		●北勢斎場を適正に維持管理し、遺族が安心して故人を弔える場を提供します。 ●北勢斎場の建物及び火葬設備の老朽化に伴い、新しい斎場を建設します。				
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】		●北勢斎場事業					2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】		●北勢斎場事業 ●新斎場建設事業				
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】													
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）					
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12
斎場利用者からの苦情件数（各年）	件	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
◆変更、追加した指標の補足説明があれば記載													

			◇基本事業5 地球温暖化対策の推進										
1. 事業内容【現行計画の記載内容】			1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】										
			●水素を利活用し、モビリティ分野の温室効果ガス排出を削減します。 ●環境省の再エネ交付金を活用し、温室効果ガス排出を削減します。										
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】			2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】										
			●水素エネルギー活用促進事業 ●地域脱炭素移行重点対策加速化事業										
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】													
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）					
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
水素ガス充填回数（各年）	回	—	—	—	—	65	80	90	100	120	120	120	120
重点対策加速化事業による温室効果ガス削減量（累計）	t-CO2	—	—	—	—	815	1,630	2,445	3,260	4,075	4,075	4,075	4,075
◆変更、追加した指標の補足説明があれば記載 ・水素ステーションでの燃料電池車への水素ガス充填回数を指標としました。令和10年度以降の指標については給食車（燃料電池トラック車）を導入する予定があるため水素ステーション充填能力の上限予想数値としました。 ・環境省の再エネ交付金「重点対策加速化事業」は、令和6年度から令和10年度までの5年間の補助事業であることから、令和10年度までの削減量累計値として設定しました。そのため、令和11年度以降は、令和10年度目標値と同数値としました。													

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

		記入者		(建設部管理課長 安藤由紀子) (都市整備課 課長 片岡幸宣)										
第2次総合計画（現行計画）				第3次総合計画（次期計画※R8～）										
基本目標名	第2章 安全で自然と調和した暮らしづくり			基本目標名	4 自然と調和した快適で安心・安全なまち									
施策名	2-5 みどり豊かなまちづくりの推進			施策名	みどり豊かなまちづくりの推進									
◇現状・課題														
【第2次総合計画の記載内容】				【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●暮らしの中で自然環境を身近に感じられる都市公園を適正に管理する必要があります。 ●市内の道路際や地域の空きスペースに、花などを植えて景観をよくしようとする気運が住民の中で広がっているため、活動を後押しできるよう支援を行っていく必要があります。				●暮らしの中で自然環境を身近に感じられる都市公園を適正に管理する必要があります。 ●市内の道路際や地域の空きスペースに、花などを植えて景観をよくしようとする気運が住民の中で広がっているため、活動を後押しできるよう支援を行っていく必要があります。										
◇5年後のいなべ市の姿（施策の目的）														
【現行計画の記載内容】				【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】										
●自然を活かした公園が整備され、市民の憩いの場所が充実し、生活環境と調和の取れた緑化の取組が推進されています。 ●景観をよくしようとする住民活動が、市域全体に波及しています。				●自然を活かした公園が整備され、市民の憩いの場所が充実し、生活環境と調和の取れた緑化の取組が推進されています。 ●市民の憩いの場所が充実し、生活環境と調和の取れた緑化の取組が推進されています。 ●景観をよくしようとする住民活動が市域全体に波及しています。										
◇基本事業1 都市公園の整備				◇基本事業1										
1. 事業内容【現行計画の記載内容】				1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】										
●遊歩道や散策路の整備により、子どもの遊び場や高齢者の健康増進の場として都市公園を整備します。				●遊歩道や散策路の整備により、子どもの遊び場や高齢者の健康増進の場として都市公園を整備します。										
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】				2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】										
●都市公園管理事業 ●都市公園整備事業				●都市公園管理事業 ●都市公園整備事業										
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】														
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）						
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
いなべ公園の入園者数（各年延べ）	人	—	59,430	50,310	50,720		58,000	52,000	52,000	55,000	55,000	55,000		
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7							
◆指標の補足説明があれば記載														

◇基本事業2			緑化活動の推進											◇基本事業2			緑化推進事業										
1. 事業内容【現行計画の記載内容】			●地域の緑化推進を目的とした主体的な団体活動に対して、補助金の交付を通じて活動を支援します。											1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】			●地域の緑化推進を目的とした主体的な団体活動に対して、補助金の交付を通じて活動を支援します。										
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】			●緑化推進事業											2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】			●緑化推進事業										
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】																											
指標名（各年・累計）		単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）																		
				R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17												
花づくり団体数（各年）		団体	—	17	19	20	19	22	23	24	25	26	27	28													
指標の変更、追加↓				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17													
◆変更、追加した指標の補足説明があれば記載 自治会、老人会などが行うコミュニティ活動の中で地域内の美化・環境活動に視点をいた当事業は、ボランティアの参加者を募りやすく、制度の周知により実施団体が増えることで、景観の維持効果を期待できることから指標に設定している。																											

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

		記入者	都市整備部次長兼住宅課長 山北 克成
第2次総合計画（現行計画）		第3次総合計画（次期計画※R8～）	
基本目標名	第2章 安全で自然と調和した暮らしづくり	基本目標名	4 自然と調和した快適で安心・安全なまち
施策名	2-6 良好な居住環境づくりの推進	施策名	良好な居住環境づくりの推進
◇現状・課題			
【第2次総合計画の記載内容】		【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】	
●昭和 56（1981）年以前に建築された旧耐震基準の木造住宅が多数存在しています。 ●住宅土地統計によると、市内の空き家は増加傾向にあります。 ●平成 12（2000）年度建築のいなべ中央住宅、平成 19（2007）年度建築のフォレスト大安住宅以外の市営住宅は、建築より20年以上が経過し、老朽化等による修繕や解体等の対応が求められています。 ●平成 26（2014）年に制定された「空き家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、平成 30（2018）年に策定した「いなべ市空き家等対策計画」に沿って、空き家等に関する情報収集や、空き家及びその跡地等の有効活用に向けた取組を行っています。		●昭和 56（1981）年5月以前に建築された旧耐震基準の木造住宅が多数存在しています。大きな地震が発生した場合に倒壊する危険性が高いため、耐震補強工事を促進する必要があります。 ●建築から20年以上経過した市営住宅は、老朽化により修繕の対応が増加しています。著しく老朽化した市営住宅は解体の必要性があります。 ●若い世代の流出が進み、空き家が増加しています。空き家の管理が適正に行われていないため、防災、衛生、景観等の観点から地域住民に影響を及ぼしています。空き家等対策の推進に関する特別措置法及びいなべ市空き家等対策計画（平成30年策定）に基づき、適正な空き家管理の助言・指導を行っています。 また、空き家・空き地の有効活用を目的に、空き家バンク・空き地バンク制度の取組を進めています。更なる空き家バンク・空き地バンク制度の推進と活用が必要です。	
◇5年後のいなべ市の姿（施策の目的）			
【現行計画の記載内容】		【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】	
●耐震補強工事による住宅の耐震性の確保等により、良好な住環境が形成されています。 ●市営住宅が適正に管理され、良好な居住環境が維持管理されています。 ●空き家バンク制度の運用により、市内の空き家の増加に歯止めがかかっています。		●木造住宅の耐震補強工事が進み、安全な住環境が形成されています。 ●老朽化した市営住宅を解体し、迅速な修繕をはじめとする適正な管理により良好な住環境が維持されています。 ●令和7年度に改定するいなべ市空き家等対策計画に基づく助言・指導により、空き家の適正な管理が促進されています。 また、空き家バンク、空き地バンク制度の認知度が高まることで活用が促進されています。	
◇基本事業1	良好な住環境づくりの推進	◇基本事業1	良好な住環境づくりの推進
1. 事業内容【現行計画の記載内容】		1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】	
●昭和 56（1981）年以前に建築された木造住宅の耐震化を促進します。 ●割賦償還により、貸付金の確実な回収を図ります。		●昭和 56（1981）年5月以前に建築された木造住宅に無料の耐震診断を実施し、耐震化を促進します。 ●割賦償還により、貸付金の回収を図ります。	
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】		2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】	
●木造住宅耐震事業 ●住宅新築資金等貸付金事業		●木造住宅耐震事業 ●住宅新築資金等貸付金事業	

3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】													
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標 値	第3次目標値（年度）					
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12
耐震補強工事実施戸数（累計）	戸	—	18	19	19	19	36	23	25	27	29	31	41
住宅新築資金貸付の返済完了件数（累計）	件	—	206	208	210	216	222	218	219	220	221	222	227
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
◆指標の補足説明があれば記載 ・国からの耐震補強工事補助金の割当て戸数を指標にしました。 ・住宅新築資金貸付返済の滞納額と返済状況から返済完了件数を指標にしました。													

◇基本事業2	市営住宅の適正管理	◇基本事業2	市営住宅の適正管理
1. 事業内容【現行計画の記載内容】 ●著しく老朽化した住宅に関して修繕や解体を行い、安全で快適な市営住宅を提供します。		1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】 ●著しく老朽化した市営住宅は解体し、必要な修繕は迅速に行うことで安全で快適な市営住宅を提供します。	
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】 ●市営住宅入居管理事業 ●市営住宅維持管理事業 ●市営住宅整備事業		2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】 ●市営住宅入居管理事業 ●市営住宅維持管理事業 ●市営住宅整備事業	

3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】													
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標 値	第3次目標値（年度）					
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12
入居者管理戸数（各年）	戸	—	57	57	57	57	57						
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
住宅管理戸数（各年）			74	73	73	57		57	57	57	57	57	57
◆◆変更、追加した指標の補足説明があれば記載 目標値は住宅維持管理戸数に指標名を変更しました。今後の市営住宅数は、退去に伴い取り壊しなどで、指標が減少する可能性があります。													

◇基本事業3	空き家活用の促進	◇基本事業3	空き家活用の促進
1. 事業内容【現行計画の記載内容】 ●空き家バンク制度の活用により、空き家住宅の有効利用を図り、地域の生活環境の保全を図ります。		1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】 ●空き家バンク制度の更なる周知に努めます。また、関係団体と協力して空き家活用相談会を開催して、空き家の利活用を促進します。	
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】 ●空き家住宅活用事業 ●空き家リノベーション支援事業		2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】 ●空き家住宅活用事業	

3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】													
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標 値	第3次目標値（年度）					
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12
空き家バンク登録物件の契約成立数（各年）	件	○	7	11	4	8	7	5	5	5	5	5	5
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
◆変更、追加した指標の補足説明があれば記載 近年は、民間不動産会社の取引が増加しているため、空き家バンク登録数が減少傾向にあります。空き家バンク登録数の減少に伴うことから、令和8年度以降の目標値を設定しました。													

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

		記入者	(防災課 課長 伊藤 高道) 建設部建設課、課長、石川義弘
第2次総合計画（現行計画）		第3次総合計画（次期計画※R8～）	
基本目標名	第2章 安全で自然と調和した暮らしづくり	基本目標名	4 自然と調和した快適で安心・安全なまち
施策名	2-1 安全で安心な危機管理対策の推進	施策名	安全で安心な防災対策の推進
◇現状・課題			
【第2次総合計画の記載内容】		【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】	
●近年、予測できない自然災害が起きやすくなっており、南海トラフ地震の発生も危惧される中、市民をはじめ近隣の自治体や企業などと協同で防災訓練を実施することなどで、市民の防災意識や防災力の向上が必要です。また、発災時には同時に多くの自治体が被災し、物流も停止することから、市の防災備蓄を段階的に引き上げ、確保する必要があります。 ●消防団員の減少にともなう消防力の低下が懸念されています。災害時には常備消防と協力し災害対応をする必要があるため、消防団員の確保と資質向上が必要です。また、企業との協力により、消防団員を確保する必要があります。 ●将来の地域防災を担う人材の育成を目的に、少年消防クラブ活動が活発に活動しています。		●近年、各地で自然災害が起きており、南海トラフ地震の発生が危惧されるなか、企業と協働で応急対策を実施する必要があります。また、発災時は同時に多くの自治体が被災し、物流も停止することから、市の備蓄食料や資機材を段階的に引き上げ、確保する必要があります。平常時から防災意識の向上を行うため、企業・地域ごとで防災訓練を実施することが必要となります。 ●消防団員の減少にともない消防力の低下が懸念されています。災害時には常備消防と協力し災害対応をする必要があるため、消防団員の確保と資質向上が必要です。また、機能別団員の導入など新たな消防団員を確保する必要があります。 ●将来の地域防災を担う人材の育成を目的に、少年消防クラブ活動が活発に活動しています。 ●豪雨による災害が頻発する中、河川の護岸の修復や堆積土砂の撤去は災害防止に欠かせません。市が管理する河川では上流から多量の土砂が流入し堆積している状況です。河川災害を未然に防止するための対策が必要です。	
◇5年後のいなべ市の姿（施策の目的）			
【現行計画の記載内容】		【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】	
●南海トラフ地震が危惧される中、迅速な災害対応が可能となっており、防災訓練を通して市民と地域の防災意識も向上し防災力が高まっています。 ●消防団員の資質の向上、体制ともに十分に確保されています。		●南海トラフ地震が危惧されるなか、企業と連携した応急対策の実施に向け市内企業間の連携及び応援活動の内容を検討し迅速な応急対策が可能となっています。また、自治会の防災訓練を通して市民の防災意識も向上し防災力が高まっています。 ●消防団員の資質の向上、体制ともに十分に確保されています。 ●護岸の整備や河床の掘削により河川災害を未然に防ぐための維持管理が適正に行われています。	

◇基本事業1		危機管理体制の整備					◇基本事業1		防災対策の整備				
1. 事業内容【現行計画の記載内容】		●市民の日常の防災意識の向上に取り組むとともに、災害時に適切な情報発信が行える体制を構築します。					1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】		●市民や企業の日常の防災意識の向上に取り組むとともに、災害時に適切な情報発信が行える体制を構築します。				
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】		●国民保護事業 ●防災施設管理事業 ●防災会議事業 ●防災無線事業 ●災害対策本部事業 ●広域防災事業 ●災害対策用備蓄資材購入事業					2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】		●国民保護事業 ●防災会議事業 ●災害対策本部事業 ●防災無線事業 ●災害対策用備蓄資材購入事業 ●広域防災事業 ●防災施設管理事業				
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】													
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）					第2次目標値	第3次目標値（年度）				
			R3	R4	R5	R6	R7		R8	R9	R10	R11	R12
非常食の備蓄数（各年）	食	—	29,516	31,700	31,600	34,540	31,500						
防災講演受講者数（各年延べ）	人	○	110	378	620		1,200						
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
◆指標の補足説明があれば記載													

◇基本事業2		組織強化による消防力向上					◇基本事業2		組織強化による消防力向上				
1. 事業内容【現行計画の記載内容】		●企業に協力を求め、消防団員数の確保を進めるとともに、消防団員の資質向上をめざします。また、様々な形で積極的に消防団活動への支援を行います。					1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】		●企業に協力を求め、消防団員数の確保を進めるとともに、消防団員の資質向上を目指し、市外勤務の消防団員が増加するなか、市外消防団員の補完的役割の機能別団員を創設するなど新たな支援策を行います。				
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】		●常備消防事業 ●消防団研修訓練事業 ●常備消防整備事業 ●消防団施設整備事業 ●消防団事業 ●消防水利整備事業					2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】		●常備消防事業 ●常備消防設備事業 ●消防団事業 ●消防団研修訓練事業 ●常備消防整備事業 ●消防団員報酬支払事務 ●集落支援員事業 ●消防団施設整備事業 ●消防水利整備事業				
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】													
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）					第2次目標値	第3次目標値（年度）				
			R3	R4	R5	R6	R7		R8	R9	R10	R11	R12
消防団員数（各年）	人	○	327	322	322	320	327	322	327	327	327	327	327
消防団協力企業数（各年）	社	—	24	24	24	26	28	29	30	31	32	33	34
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
◆変更、追加した指標の補足説明があれば記載													

◇基本事業3		災害に強いまちづくり		◇基本事業3		災害に強いまちづくり							
1. 事業内容【現行計画の記載内容】				1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】									
●災害時には隣近所同士や地域での助け合いが重要となるため、自主防災組織設立に向けた支援を積極的に行います。また、市民に対し自主防災組織の重要性を伝えるとともに、既存自主防災組織の訓練を支援します。				●災害時には隣近所同士や地域での助け合いが重要となるため、自主防災組織設立に向けた支援を積極的に行います。また、市民に対し自主防災組織の重要性を伝えるとともに、既存自主防災組織の訓練を支援します。 ●近年の異常気象による台風の大型化や激化する豪雨により河川の氾濫や浸水被害が頻繁に発生しており、市が管理する河川の維持修繕計画を策定し、護岸の整備や堆積した土砂撤去を行い、被害の拡大を未然に防止します。 ●被災した河川・道路・橋梁については、二次災害を防止するため、安全対策を実施し災害復旧工事を実施します。									
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】				2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】									
●自主防災活動事業				●自主防災活動事業 ●市単独河川維持改良事業 ●河川道路橋梁災害復旧事業									
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】													
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）					
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12
自主防災組織設置数（累計）	自治会	○	63	64	64	64	66						
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
避難行動要支援者制度実施自治体数	自治会	○	52	54	56	58		62	64	66	68	70	72
◆変更、追加した指標の補足説明があれば記載													

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

			記入者		建設部建設課、課長、石川義弘 (建設部管理課、課長、安藤由紀子)										
第2次総合計画（現行計画）					第3次総合計画（次期計画※R8～）										
基本目標名	第2章 安全で自然と調和した暮らしづくり				基本目標名	4 自然と調和した快適で安心・安全なまち									
施策名	2-2 交通事故のない安全なまちづくりの推進				施策名	交通事故のない安全なまちづくりの推進									
◇現状・課題															
【第2次総合計画の記載内容】					【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●本市では、自動車は日常生活や社会経済活動を支えるために欠かせないものとなっています。近年、全国的に通学路での交通事故など交通弱者が犠牲となる事故が増加しており、本市では「いなべ市通学路安全推進会議」を立ち上げ、アクションプログラムを策定しました。 ●道路交通法の改正等における動向について、警察や交通安全協会と連携を図りながら、市民への広報啓発と交通安全意識の高揚に取り組んでいく必要があります。					●自動車は日常生活や社会経済活動を支えるために欠かせないものとなっています。通学路での交通事故など交通弱者が犠牲となる事故が増加していることから、通学路交通安全アクションプログラムによる安全対策が必要です。 ●道路交通法の改正等における動向について、警察や交通安全協会と連携を図りながら、市民への広報啓発と交通安全意識の高揚に取り組んでいく必要があります。 ●交通安全施設の老朽化等による事故防止のため点検や更新など施設の予防保全を目的とした適正な維持管理が必要です。										
◇5年後のいなべ市の姿（施策の目的）															
【現行計画の記載内容】					【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●交通安全施設が充実し、危険箇所が減少するとともに、幹線道路の除草や除雪作業の適切な実施により安全な交通環境が確保されています。 ●市民への交通マナーの普及徹底が図られ、地域ぐるみで交通安全意識が高まり、高齢者や子どもを中心とした交通安全教育が効果的に推進されています。					●交通安全施設が充実し、危険箇所が減少するとともに、幹線道路の除草や除雪作業の適切な実施により安全な交通環境が確保されています。 ●市民への交通マナーの普及徹底が図られ、地域ぐるみで交通安全意識が高まり、高齢者や子どもを中心とした交通安全教育が効果的に推進されています。										
◇基本事業1 交通安全対策の推進					◇基本事業1 交通安全対策の推進										
1. 事業内容【現行計画の記載内容】					1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●見通しの悪い幹線道路の除草や降雪時の除雪を的確に実施し、通勤、通学時の安全を確保します。 ●安全で円滑な交通環境を確保するため、ガードレール、道路標識、カーブミラー等の交通安全施設の整備を促進します。また、歩道の設置が困難な通学路については、グリーンベルト等を設置し、安全を確保します。 ●いなべ警察署、いなべ地区交通安全協会と連携を図りながら、市民への広報や啓発等を通じて交通安全意識の高揚を促進します。					●見通しの悪い幹線道路の除草や降雪時の除雪を的確に実施し、通勤、通学時の安全を確保します。 ●安全で円滑な交通環境を確保するため、ガードレール、道路標識、カーブミラー等の整備を促進します。また、通学路の安全対策としてグリーンベルト等の交通安全施設整備を進めます。 ●いなべ警察署、いなべ地区交通安全協会と連携を図りながら、市民への広報や啓発等を通じて交通安全意識の高揚を促進します。										
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】					2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●道路除草事業 ●交通安全施設整備事業 ●交通安全啓発事業 ●雪害対策事業					●交通安全啓発事業 ●道路除草事業 ●交通安全施設整備事業 ●雪害対策事業										
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】															
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略KPI	第2次実績値（年度）					第2次目標値	第3次目標値（年度）						
			R3	R4	R5	R6	R7		R8	R9	R10	R11	R12	R17	
グリーンベルト（通学路）の設置延長（累計）	m	—	3,288	3,751	3,841	4,481	2,050	5,680	6,280	6,880	7,480	8,080			
交通死傷事故件数（各年）	件	—					45								
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17		
グリーンベルト（通学路）の設置延長（累計）	m							600	1,200	1,800	2,400	3,000			
◆指標の補足説明があれば記載 R7目標値 4800とすると上段の指標となるが R7末を起点0としR8から600m/年を計画値へ変更したい。R8orR9で目標値になるが															

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

			記入者		総務部 総務課 佐藤久紀										
第2次総合計画（現行計画）					第3次総合計画（次期計画※R8～）										
基本目標名	第2章 安全で自然と調和した暮らしづくり				基本目標名	4 自然と調和した快適で安心・安全なまち									
施策名	2-3 安心して暮らせる犯罪のないまちづくりの推進				施策名	安心して暮らせる犯罪のないまちづくりの推進									
◇現状・課題															
【第2次総合計画の記載内容】					【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●夜間に不特定多数の人が通行する道路や暗くて通行に不便な道路があります。 ●近年の犯罪は低年齢化、複雑化、凶悪化等の傾向にあるため、警察を中心に関係機関が連携を取りながら多様な視点から犯罪防止に取り組む必要があります。 ●近年、消費者トラブルは悪質・巧妙化しており、本市でも消費生活に関する相談件数は年々増加し、内容も複雑かつ多様化しています。本市では、こうした状況に対応し、消費生活相談員による消費者トラブルの解決に取り組んでいます。					●夜間に不特定多数の人が通行する道路や暗くて通行に不便な道路があります。 ●近年の犯罪は低年齢化、複雑化、凶悪化等の傾向にあるため、警察を中心に関係機関が連携を取りながら多様な視点から犯罪防止に取り組む必要があります。 ●近年、消費者トラブルは悪質・巧妙化しており、本市でも消費生活に関する相談件数は年々増加し、内容も複雑かつ多様化しています。本市では、こうした状況に対応し、消費生活相談員による消費者トラブルの解決に取り組んでいます。										
◇5年後のいなべ市の姿（施策の目的）															
【現行計画の記載内容】					【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●市民の防犯意識の向上と関係機関の連携強化により、安心して暮らせる犯罪のないまちづくりが進められています。 ●消費者トラブルについて、関係機関の協力を得ながら注意喚起を行うとともに、トラブルに対応できる体制が構築されています。					●市民の防犯意識の向上と関係機関の連携強化により、安心して暮らせる犯罪のないまちづくりが進められています。 ●消費者トラブルについて、関係機関の協力を得ながら注意喚起を行うとともに、トラブルに対応できる体制が構築されています。										
◇基本事業1 地域防犯体制の充実					◇基本事業1 地域防犯体制の充実										
1. 事業内容【現行計画の記載内容】					1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●夜間の犯罪等を未然に防ぐため、防犯灯を設置する自治会に対して費用を支援します。 ●地域の防犯意識を高めるとともに、防犯活動を行う団体に対して、パトロール物品等を貸与します。					●夜間の犯罪等を未然に防ぐため、防犯灯及び防犯カメラを設置する自治会に対して費用を支援します。 ●地域の防犯意識を高めるとともに、防犯活動を行う団体に対して、パトロール物品等を貸与します。										
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】					2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●防犯灯事業 ●生活安全対策事業					●防犯灯事業 ●生活安全対策事業 ●防犯カメラ設置事業										
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】															
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略KPI	第2次実績値（年度）					第2次目標値	第3次目標値（年度）						
			R3	R4	R5	R6	R7		R8	R9	R10	R11	R12	R17	
防犯灯設置灯数（修繕含む）（各年）	灯	—		289	244	361	200	200	200	200					
防犯カメラ設置台数（各年）	台	—	0	0	0	0	20	20	20	20					
防犯ボランティア団体結成数（物品貸与自治会含む）（累計）	団体	○		59	59	59	60	60	60	60					
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17		
◆指標の補足説明があれば記載															

◇基本事業2			消費者保護対策の推進				◇基本事業2			消費者保護対策の推進						
1. 事業内容【現行計画の記載内容】			●消費者トラブルの未然防止及び拡大防止を図るため、研修会の開催やパンフレット配布等の啓発活動を行います。				1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】			●消費者トラブルの未然防止及び拡大防止を図るため、研修会の開催やパンフレット配布等の啓発活動を行います。						
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】			●消費者行政事業				2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】			●消費者行政事業						
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】																
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）								
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17		
消費者相談解決率（各年延べ）（消費者相談解決件数／消費者相談件数）	%	—	97	97	97		100	100	100	100	100	100	100			
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17			
◆変更、追加した指標の補足説明があれば記載																

5 にぎわい・愛着 創生のまち

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

		記入者	農業振興課 課長 小林孝明 農林整備課 課長 藤田尚人 獣害対策課 課長 杉本寅昌
第2次総合計画（現行計画）		第3次総合計画（次期計画※R8～）	
基本目標名	第5章 活発な産業による賑わいづくり	基本目標名	5 にぎわい・愛着 創生のまち
施策名	5-1 魅力ある農林業の振興	施策名	持続可能な農林業の振興
◇現状・課題			
【第2次総合計画の記載内容】		【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】	
●本市の農業は、水稻、麦、大豆、そば等を主体に行われていますが、農業所得の低下、兼業農家の後継者不足、高齢化等が課題となっています。また、農村の集落機能低下により共同活動が難しくなっていることなどから、集落単位で「人・農地プラン」を策定し、課題解決に取り組んでいます。 ●畜産では、家畜から排出されるふん尿の排出規制等、家畜全般を取り巻く環境が厳しくなっており、鳥インフルエンザ等の感染予防対策も必要となっています。 ●林業では、採算性の悪化や高齢化等による担い手不足のため、放置される森林が増加しており、森林機能の低下が課題となっています。 ●農業者とともに、環境保全や施設点検など集落ぐるみの取組を行っていますが、高齢化による担い手不足となっており、若年層の参加が課題です。 ●特産品では、そばによる取組を行っています。今後は、そばに次ぐ特産品を見出すため、生産団体の育成が必要です。 ●鳥獣被害の増加により、農業の生産性が著しく低下しています。また、高齢者の野菜づくりにおいても鳥獣被害が増えており、生きがいつくりの視点からも対策が必要となっています。		●本市の農業生産活動は、水稻を基幹作物として、麦、大豆、そば等を主体に行われています。また、畜産、茶、施設園芸等多様な農業が展開されています。しかし、担い手の高齢化や後継者の減少により、これまで地域で守ってきた農地が適切に利用されなくなることが懸念されています。 ●安心・安全な農産物への意識が高まっています。農業や化学肥料の使用量低減などの環境負荷低減に取り組みます。 ●畜産では、高病原性鳥インフルエンザや豚熱が国内で毎年発生しています。感染時の畜産経営体及び地域農業に及ぼす影響・被害は甚大であり、家畜伝染病の予防対策が必要となっています。 ●林業では、放置森林の増加により土砂災害のリスクが高まっているため、早急な対策が必要です。 ●特産品として、そばによる取組を行っています。今後は、そばに次ぐ特産品を見出すため、獣害に強い作物の選定、生産団体の育成が必要です。 ●鳥獣被害の増加により、農業の生産性が著しく低下しています。また、高齢者の野菜づくりにおいても鳥獣被害が増えており、生きがいつくりの視点からも有害鳥獣の捕獲や追い払い、農地への侵入防止対策などが重要です。	
◇5年後のいなべ市の姿（施策の目的）			
【現行計画の記載内容】		【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】	
●集落ぐるみで支え合いながら営農が継続され、農村環境が守られています。また、環境にやさしい資源循環型農法の確立や、農産物を活用した特産品による産業振興が行われています。 ●有害鳥獣捕獲の実施や防除を行うとともに、市民自らの手によって、集落に鳥獣を近づけない状況が作り上げられています。 ●森林が適切に管理され、森林が持つ多面的機能が維持されています。		●地域計画で指名された地域内の農業を担う者を中心に農産物の生産が行われ、集落による農地保全活動により農地が守られています。 ●有害鳥獣捕獲の実施や防除を行うとともに、市民自らの手によって、集落に鳥獣を近づけない状況が作り上げられています。 ●適切に管理された森林面積の増加により、災害の発生が抑制されています。	
◇基本事業1	集落を基軸にした担い手への支援	◇基本事業1	集落を基軸にした担い手への支援
1. 事業内容【現行計画の記載内容】		1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】	
●「人・農地プラン」にもとづき、集落単位で認定農業者、認定新規就農者及び集落営農組織を明確にし、集落ぐるみ型農業生産活動を推進します。 ●農業の有する多面的機能の維持・発揮するため、集落ぐるみで地域における共同活動や営農活動を支え合う体制の整備を推進します。		●地域計画で指名された地域内の農業を担う者が効率的な作業ができるよう、農地の集積、集約を行い、安定的な農業経営を支援します。 ●中山間地域直接支払交付金や多面的機能支払交付金により、非農業者の参画や近隣の組織とのネットワーク構築を支援し、地域が一体となって支えあう体制の整備を推進します。	

2. 主な事業名【現行計画の記載内容】							2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】						
●中山間地域等直接支払事業 ●多面的機能支払交付金事業 ●農業振興事業 ●経営体等育成支援事業 ●経営所得安定対策推進事業							●中山間地域等直接支払事業 ●多面的機能支払交付金事業 ●農業振興事業 ●経営体等育成支援事業 ●経営所得安定対策推進事業						
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】													
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）					
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12
認定農業者数（各年）	人	○	104	103	102	102	113	102	102	102	102	102	102
農地利用集積率（各年） （担い手への集積の利用面積／農地面積）	%	—	71	71	75	79	80	81	82	83	84	85	90
新規就農者数（自営就農者数、雇用就農者数、新規参入者）（各年）	人	○	3	3	6		3	3	3	3	3	3	3
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
◆指標の補足説明があれば記載 ・農地利用集積率：第2次では、担い手（認定農業者数、新規就農者数）を確保し、農地を集積することで集積率の向上を図る指標設定でした。第3次では、担い手や個人農家の減少が進行する中、新たな担い手の確保が困難なため、地域の話し合いにより現状の担い手に農地を集積し、作業効率の向上と経営の安定化を図る必要があることから、「農地集積率」の指標を設定しました。													
◇基本事業2 安心、安全で安定した農業の振興							◇基本事業2 安心、安全で安定した農業の振興						
1. 事業内容【現行計画の記載内容】							1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】						
●耕種農家に対して、家畜ふん尿を適切に処理した堆肥を供給し、環境に配慮した資源循環型農法を推進します。 ●いなべ産品利用宣言店の認定証及びのぼり旗の交付や、ホームページでの広報等を実施し、地産地消活動を推進します。 ●市内の特産品を活用し、産業振興につなげます。特にそばについては、そば祭りを中京圏に発信します。また、手打ちそばの段位認定会を利用し、市民へのそば打ちの普及に取り組みます。							●農業や化学肥料の使用低減、家畜排せつ物等の有効利用などの環境負荷低減に取り組む農業者を支援します。 ●家畜排せつ物を適切に処理した堆肥を農地に還元し、環境に配慮した資源循環型農法を推進します。 ●安定的な畜産経営のために家畜伝染病対策を推進します。 ●認定されたいなべ産品利用宣言店に対し、のぼり旗の更新やホームページでの広報等を活用して支援し、地産地消活動を推進します。 ●市内の特産品を活用し、産業振興につなげます。特にそばについては、そば祭りを中京圏に発信し動員数の増加に努めます。また、農業活性化施設を活用した市民へのそば打ちの普及に取り組みます。						
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】							2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】						
●農業活性化施設管理事業 ●農業振興施設事業 ●農業関係組織育成事業 ●地産地消推進事業 ●畜産事業 ●家畜伝染病対策事業							●農業活性化施設管理事業 ●農業関係組織育成事業 ●地産地消推進事業 ●畜産事業 ●家畜伝染病対策事業						
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】													
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）					
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12
家畜ふん尿堆肥散布面積（各年）	ha	—	190	259	203	282	200	284	285	286	287	288	293
そば栽培面積（各年）	ha	—	54	27	63	41	50	50	50	52	52	55	55
そば祭り入場者数（各年）	人	○	—	1,500	6,000	10,000	10,500	10,500	10,500	11,000	11,000	11,000	11,000
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
◆変更、追加した指標の補足説明があれば記載 ・家畜ふん尿堆肥散布面積：家畜排せつ物を適切に堆肥化し、有効利用することで化学肥料の使用量を低減し、安心、安全な農作物の生産に繋がるため指標を設定しました。													

◇基本事業3		有害鳥獣対策の推進		◇基本事業3		有害鳥獣対策の推進							
1. 事業内容【現行計画の記載内容】				1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】									
●有害鳥獣による農産物への被害を軽減するため、防護柵設置整備、獣害防除用檻購入及び獣害駆除用煙花購入等助成事業を行います。 ●マンパワーの育成として、有害鳥獣駆除、サルパトロール、緩衝帯整備支援及び獣害対策講座を行い、市民が獣害に強い集落づくりに取り組めるよう支援します。				●有害鳥獣による農産物への被害を軽減するため、防護柵設置整備、獣害防除用檻購入及び獣害駆除用煙花購入等助成事業を行います。 ●マンパワーの育成として、有害鳥獣駆除、サルパトロール、緩衝帯整備支援及び獣害対策講座を行い、市民が獣害に強い集落づくりに取り組めるよう支援します。									
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】				2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】									
●農作物有害鳥獣追払事業 ●農作物有害鳥獣防除施設整備事業				●農作物有害鳥獣追払事業 ●農作物有害鳥獣防除施設整備事業									
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】													
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）					
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12
水稻、小麦の獣害被害額（各年）	千円	—	2,154	5,040	6,948		4,350	3,910	3,910	3,520	3,520	3,170	3,170
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
◆変更、追加した指標の補足説明があれば記載													

◇基本事業4		森林の適正管理の推進		◇基本事業4		森林の適正管理の推進							
1. 事業内容【現行計画の記載内容】				1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】									
●森林の持つ多面的機能を維持するため、下草刈や間伐等を継続的にを行い、強い森林づくりを推進します。 ●効率的で安全な森林整備を行うための林道整備を実施します。				●放置森林の災害リスクを軽減するため、森林経営管理制度を活用した市発注による森林の間伐や、地元が実施する里山や集落周辺の森林整備を支援するための補助金を交付します。 ●林業経営体所有森林の整備に対し補助金を交付します。 ●森林整備を行うための林道の維持管理を行います。									
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】				2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】									
●林業事業 ●森と緑の基金事業 ●市単独林道改良事業 ●林道長寿命化対策事業				●林業事業 ●森と緑の県民税事業 ●森林環境譲与税事業 ●県単林道改良事業 ●市単独林道改良事業 ●林道長寿命化対策事業									
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】													
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）					
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12
危険木撤去団体数（各年延べ）	団体	—	-	16	27	36	40	40	40	40	40	40	40
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
森林整備実施面積（累計）	ha	—	0.0	0.0	13.9	13.9		40	60	80	100	120	220
◆変更、追加した指標の補足説明があれば記載 危険木：令和6年度実績値を基準とし、広報による増加目標分(30%)と整備済箇所の増加による減少見込(20%)より算出 整備面積：譲与額と整備以外の継続事業等への充当額より試算した森林整備への充当可能額から算出される整備可能面積													

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

				記入者	農林商工部農林整備課 藤田尚人										
第2次総合計画（現行計画）					第3次総合計画（次期計画※R8～）										
基本目標名	第5章 活発な産業による賑わいづくり				基本目標名	5 にぎわい・愛着 創生のまち									
施策名	5-2 強い農業基盤の整備				施策名	強い農業基盤の整備									
◇現状・課題															
【第2次総合計画の記載内容】					【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●農業用施設の老朽化にともなう修繕や更新工事が必要となっています。 ●農地の効率的な活用を行い、農業経営の安定化に取り組む必要があります。					●農業用施設の老朽化に伴う修繕や更新工事が必要となっています。 ●耕作放棄地の発生抑制のため、耕作困難な農地についての対策の実施が必要です。										
◇5年後のいなべ市の姿（施策の目的）															
【現行計画の記載内容】					【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●農業の生産基盤となる施設整備等が適切に実施されています。また、農業が安定的に経営され、農業者の農業への意欲が向上しています。 ●水源涵養機能や洪水防止機能等の多面的機能を有する農用地により、下流域における豊かな暮らしや生命、財産が守られています。					●農業用施設・農地を適切に管理することにより施設の機能が十分に発揮され、安定した地域営農活動がなされています。										
◇基本事業1 農業生産基盤の整備					◇基本事業1 農業生産基盤の整備										
1. 事業内容【現行計画の記載内容】					1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●農業生産基盤の適切な機能確保に取り組めます。 ●農地の利用集積の推進など農業経営の効率化と安定を図ります。					●農業生産基盤の適切な機能確保に取り組めます。										
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】					2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●農業基盤整備事業 ●農地災害復旧事業 ●農業用施設災害復旧事業					●農業基盤整備事業 ●農地・農業用施設等災害復旧事業										
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】															
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）					第2次目標値	第3次目標値（年度）						
			R3	R4	R5	R6	R7		R8	R9	R10	R11	R12	R17	
市発注整備事業箇所数（災害除く）（各年）	箇所	—	3	9	4	7	4	6	6	6	6	6	6	6	
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17		
◆指標の補足説明があれば記載 過去5年間の実績平均値（少数以下繰り上げ）															

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

				記入者		(都市整備課 課長 片岡幸宣)									
第2次総合計画（現行計画）				第3次総合計画（次期計画※R8～）											
基本目標名	第5章 活発な産業による賑わいづくり			基本目標名	5 にぎわい・愛着 創生のまち										
施策名	5-3 企業立地による産業の振興			施策名	企業誘致による産業振興と雇用促進										
◇現状・課題															
【第2次総合計画の記載内容】				【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】											
●米中の貿易摩擦の影響が中部地方の経済にも出始めていますが、輸送機器産業が本市の産業構造の中心であることには変わりなく今後も推移すると見られています。高速道路などのインフラ整備における計画の見通しから、企業の積極的な新規進出や設備投資、雇用増加に期待がかかります。一方で、本市には即時に誘致できる産業用地が無いため、経済動向と企業の需要を見極めながら産業用地の確保を進める必要があります。				輸送用機械器具製造業が本市の産業構造の中心ですが、貿易摩擦や為替の変動など社会情勢や規制への対応が厳しく求められています。産業構造の変化に対応するため、サプライチェーンの強化や半導体、AI、エネルギー企業など異業種との連携により技術の高度化が進み、新たな課題に対応する戦略的イノベーションが展開されています。これらの企業の動向は、市内に新しい産業の分野を取り込む機会でもあり、高速道路などのインフラ整備による企業立地のポテンシャルの高さを積極的にPRし、企業ニーズに応じた産業用地を進め環境問題や社会課題の解決に貢献する企業への関心が高いとされる次世代の若者が魅力的に感じる企業の誘致を進めます。											
◇5年後のいなべ市の姿（施策の目的）															
【現行計画の記載内容】				【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】											
●魅力的な企業の誘致が実現し、雇用の創出と安定が図られています。 ●市内に多様な就職の受け皿があり、就業率が向上しています。				●東海環状自動車道が全線開通したことにより、人・モノの流通が活性化しています。 ●企業立地が進み、職業選択の幅が広がり就業率が向上しています。											
◇基本事業1 企業誘致活動の推進				◇基本事業1 企業誘致活動の推進											
1. 事業内容【現行計画の記載内容】				1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】											
●企業ニーズに合った土地の確保を行います。 ●既存企業との定期的な情報交換会を継続し、情報収集を行います。 ●市内企業の魅力のPRや、雇用と就労のマッチングを行います。				●企業のニーズに応じた産業用地を確保します。 ●既存企業との情報交換を通じて、相互の課題解消に努めます。 ●企業と連携し雇用と就労のマッチングやPR活動を行い若者の市内採用に繋がります。 ●市が窓口となり企業の人手不足の解消に取り組みます。											
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】				2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】											
●企業誘致推進事務				●企業誘致推進事務											
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】															
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）							
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17	
企業立地協定締結件数（各年）	件	○	0	0	0	3	1	1	1	1	1	1	1	1	
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17		
◆指標の補足説明があれば記載 企業誘致が決定する場合、企業と市が企業立地協定を締結することから目標値としました。															

◇基本事業2			産業用地の整備及び確保				◇基本事業2			産業用地の確保、工業団地の維持管理			
1. 事業内容【現行計画の記載内容】							1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】						
●産業用地が不足しているため用地の確保を進めるとともに、設備投資を促すための企業訪問や拡張のサポートに取り組みます。							●産業用地が不足しているため用地の確保と整備を行います。 ●設備投資を促すための企業訪問や拡張のサポートに取り組みます。						
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】							2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】						
●工業団地管理事務							●産業用地の確保及び工業団地管理事務						
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】													
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）					
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12
企業相談件数（各年）―	件		3	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
企業面談件数（各年）	件		－	－	－	10		15	15	15	15	15	15
◆変更、追加した指標の補足説明があれば記載 企業進出や拡張に伴う相談、事業活動を行うのための日常的な打合せなど内容は様々ですが、会議、面談等を通じて企業サポートを行っていることから指標の考え方を改めました。													

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

		記入者		農林商工部商工観光課 課長補佐 佐藤祐孝										
第2次総合計画（現行計画）				第3次総合計画（次期計画※R8～）										
基本目標名	第5章 活発な産業による賑わいづくり			基本目標名	5 にぎわい・愛着 創生のまち									
施策名	5-4 にぎわいのある商工業の振興			施策名	にぎわいのある商工業の振興									
◇現状・課題														
【第2次総合計画の記載内容】				【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●阿下喜周辺の商店街が中心街としての役割を担えるよう、空き店舗対策等を通じた活性化の取組が必要です。 ●工業では、多くの工場が誘致されています。一方、商業では集客力の向上や観光面の力を向上させていく必要があります。 ●いなべ市の豊かな自然と、風土を活かした地域産業の創出と販路開拓を総合的に支援していく必要があります。				●商工会と連携し、経営支援や事業継承支援、小規模事業者支援、起業・創業支援などを進め、にぎわいある商工業の振興を図る必要があります。 ●商工業の振興のため、勤労者福祉の充実が必要です。										
◇5年後のいなべ市の姿（施策の目的）														
【現行計画の記載内容】				【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●中心市街地が活気にあふれ、にぎわっています。 ●新規創業支援により、新たな雇用が生まれ、にぎわいと活気のあるまちとなっています。				●地域の商工業事業者が活気にあふれ、にぎわっています。 ●新規創業支援により、新たな雇用が生まれ、にぎわいと活気のあるまちとなっています。 ●勤労者福祉が充実し、労働環境が向上しています。										
◇基本事業1		商工業の活性化支援		◇基本事業1		商工業の活性化支援								
1. 事業内容【現行計画の記載内容】				1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●空き店舗の効果的な活用に取り組むとともに、市内企業の異業種間交流などを実施し、にぎわいのある商工業の推進を図ります。				●商工会と連携し、経営支援や事業継承支援、小規模事業者支援、起業・創業支援などを進め、にぎわいのある商工業の推進を図ります。										
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】				2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●商工団体イベント補助事業 ●いなべ市商工会運営補助事業 ●ウッドヘッド三重指定管理事業 ●小規模事業者支援事業				●いなべ市商工会運営補助事業 ●商工団体イベント補助事業 ●ウッドヘッド阿下喜指定管理事業 ●小規模事業者支援事業										
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】														
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）						
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
商工会への加入団体数（各年）	団体	○	981	985	994		920	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
創業相談件数（各年延べ）	件	○	33	64	66		65	65	65	65	65	65	65	65
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17	
◆指標の補足説明があれば記載														

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

				記入者		農林商工部商工観光課 課長補佐 佐藤祐孝								
第2次総合計画（現行計画）						第3次総合計画（次期計画※R8～）								
基本目標名	第5章 活発な産業による賑わいづくり					基本目標名	5 にぎわい・愛着 創生のまち							
施策名	5-6 良好な労働環境づくりの促進					施策名	良好な労働環境づくりの促進							
◇現状・課題														
【第2次総合計画の記載内容】						【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】								
●勤労者福祉の充実のため、金融機関に資金を預託し、生活資金を低利で融資していますが、利用者が少ない状況であるため、一層の周知が必要です。						●勤労者福祉の充実のため、金融機関に資金を預託し、生活資金を低利で融資していますが、利用者が少ない状況であるため、一層の周知が必要です。								
◇5年後のいなべ市の姿（施策の目的）														
【現行計画の記載内容】						【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】								
●勤労者福祉が充実し、労働環境が向上しています。						●勤労者福祉が充実し、労働環境が向上しています。								
◇基本事業1		勤労者福祉制度の充実				◇基本事業1		勤労者福祉制度の充実						
1. 事業内容【現行計画の記載内容】						1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】								
●勤労者生活資金制度を活用し、勤労者の福祉を充実します。						●勤労者生活資金制度を活用し、勤労者の福祉を充実します。								
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】						2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】								
●勤労者生活資金貸付制度事業						●勤労者生活資金貸付制度事業								
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】														
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）						
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
勤労者生活資金貸付制度事業利用者数（各年）	人	—	0	0	0		1	1	1	1	1	1	1	
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17	
◆指標の補足説明があれば記載														

◆第3次総合計画前期基本計画策定に係るシート調査

※黄色のセル内を記入してください

- ・「記入にあたって」を参照の上、記入してください。
- ・枠が足りない場合はコピーで枠を増やして下さい。シートが2頁以上になっても結構です。

				記入者	農林商工部商工観光課 課長補佐 佐藤祐孝									
第2次総合計画（現行計画）				第3次総合計画（次期計画※R8～）										
基本目標名	第5章 活発な産業による賑わいづくり			基本目標名	5 にぎわい・愛着 創生のまち									
施策名	5-5 魅力ある観光地づくりの推進			施策名	魅力ある観光地づくりの推進									
◇現状・課題														
【第2次総合計画の記載内容】				【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●近年、農業公園や阿下喜温泉における観光交流人口が減少する一方で、ツアー・オブ・ジャパン等の新しい取組による交流人口の増加もみられます。今後も、地域資源を活かして、市内外の多様な人々が活発に活動し交流できる機会づくりに取り組む必要があります。 ●本市では、サイクルツーリズムによる自転車を活かしたまちづくりを推進しています。近年ではツアー・オブ・ジャパンを開催するなど、整備された幹線道路や豊かな自然景観のもとでサイクリングを楽しむ人が増加しています。今後もいなべの魅力をPRするコースの設定や店舗及び看板の整備、サイクリストと地元住民との交流の促進等に取り組む必要があります。				●近年、グリーンクリエイティブいなべの理念に基づく観光振興により微増ではあるものの交流人口の増加もみられます。今後も、継続した活動により、市内外の多様な人々が活発に活動し交流できる観光施設の維持と機会づくりに取り組む必要があります。 ●「グリーンクリエイティブいなべ」の活動を通じて、本市の独自性を打ち出し「選ばれるまち」となるため、継続的な活動の推進が必要です。 ●市内外での積極的なプロモーションにより、いなべの豊かな自然景観等を楽しむ人が増加しています。今後もいなべの魅力をPRし、地域事業者や地域住民との交流の促進等に取り組む必要があります。										
◇5年後のいなべ市の姿（施策の目的）														
【現行計画の記載内容】				【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●既存の観光資源の効果的なPRや、新たな観光メニューの開発等により、市内外からの注目が高まり、観光を通じた交流人口が増加しています。				●既存の観光資源の効果的なPRや、新たな観光メニューの開発等により、市内外からの注目が高まり、観光を通じた交流人口が増加しています。 ●グリーンクリエイティブいなべの活動を通じて創りあげられた「モノ・コト・トキ」が人々を魅了し、交流、移住、定住の促進や関係人口の拡充につながっています。										
◇基本事業1 多様な観光施設の充実				◇基本事業1 多様な観光施設の充実										
1. 事業内容【現行計画の記載内容】				1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●市内外からの集客を図るため、農業公園や阿下喜温泉、青川峡キャンプパークなど、市の観光施設の維持管理を行います。				●観光客の増加を図るため、農業公園やキャンプ施設等の観光施設の維持管理を実施するとともに、観光PRを実施します。										
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】				2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										
●阿下喜温泉施設指定管理事業 ●阿下喜温泉施設管理事業 ●農業公園指定管理事業 ●観光客受入施設管理事業 ●観光施設整備事業				●観光客受入施設管理事業 ●農業公園指定管理事業 ●阿下喜ビジターセンター管理事業										
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】														
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）						
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
農業公園の集客数（各年延べ）	人	○					111,000							
阿下喜温泉の集客数（各年延べ）	人	○					130,000							
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17	
青川峡キャンプパーク利用者数	人		47,520	39,600	35,164			36,000	36,500	37,000	37,500	38,000	38,500	
パークゴルフ場利用者数	人		10,422	12,178	10,676			11,000	11,100	11,200	11,300	11,400	11,500	
◆指標の補足説明があれば記載														
◇基本事業2 イメージアップと集客力の向上				◇基本事業2 イメージアップと集客力の向上										
1. 事業内容【現行計画の記載内容】				1. 事業内容【第3次総合計画（次期計画）の内容を記入】										

●自転車を活かしたサイクルツーリズムによるまちづくりを進め、ツアー・オブ・ジャパンの定着や集客の向上に取り組むとともに、市内主要施設の効果的な活用を図り、森林や里山など、いなべの自然に価値を見出し、誘客を図ります。 ●本市の観光を支える団体や個人の活動の活性化に向けた支援及び補助を行います。 ●新たな観光メニューの開発等に取り組みます。							●自転車を活かしたサイクルツーリズムによるまちづくりを進め、ツアー・オブ・ジャパンの定着や集客の向上に取り組むとともに、市内主要施設の効果的な活用を図り、森林や里山など、いなべの自然に価値を見出し、誘客を図ります。 ●本市の観光を支える団体や個人の活動の活性化に向けた支援及び補助を行います。 ●新たな観光メニューの開発等に取り組みます。						
2. 主な事業名【現行計画の記載内容】							2. 主な事業名【第3次総合計画（次期計画の内容を記入）】						
●ツアー・オブ・ジャパン開催事業 ●観光組織推進事業 ●観光資源開発発信事業							●ツアー・オブ・ジャパン開催事業 ●グリーンクリエイティブいなべ推進事業 ●観光組織推進事業 ●観光資源開発発信事業						
3. 基本事業の成果指標【第2次の実績値と第3次の目標値を記入】													
指標名（各年・累計）	単位	総合戦略 KPI	第2次実績値（年度）				第2次目標値	第3次目標値（年度）					
			R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	R12
ツアー・オブ・ジャパン観客動員数（各年）	人	○	—	—	16,000	18,000	25,500 実績19,000						
指標の変更、追加↓			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17
グリーンクリエイティブいなべホームページアクセス件数（各年延べ）	件	○	462,680	453,701	438,672		120,000	450,000	450,000	450,000	450,000	450,000	450,000
◆変更、追加した指標の補足説明があれば記載													

基本目標	分野	施策名	基本事業	林公認会計士の指標等 に対するご意見	ページ
1 みんなで つくるまち	(1) 市民 参画	市民が主役のまちづくり	基本事業1 市民参画 と協働の推進	目標値が実績以下になっています。目標値 をあげられないでしょうか？	4
			基本事業2 コミュニ ティ組織の強化支援	R6は無しでしょうか？	5
			基本事業3 広報広聴 の充実	成果指標になりますので、極力成果を測定 できる指標としてください。	5
	(2) 多様性 社会	思いやりのある人権の まちづくりの推進	基本事業1 人権が尊重 される社会の推進	目標値は横ばいですが、伸ばすことはでき ないでしょうか 他の事業に関する指標は設定できないで しょうか	6
			基本事業1 男女共同参 画の推進	目標値が横ばいですが、増やすことはでき ないでしょうか？実績値を上回る目標値と することはできませんか。	7
	(3) 広報 広聴				
	(4) 広域 連携	広域連携による定・移 住の促進	基本事業1 広域連携に よる定住・移住の促進	目的が定住者、移住者、交流人口を増やす ことにあることから、これらが指標としな いのでしょうか？	8
	(5) 外部 人材	外部人材の活用による 地域活性化の推進	基本事業1 外部人材の 活用による地域活性化 の推進		9
2 「こどもまんなか」 みんなで学ばまち	(1) 子育て 支援	保育サービスの充実	基本事業1 保育サービ スの充実	今後10年で重視してゆく事業があれば、そ れに対応した成果指標を設定してもよろし いかと思います。	11
		地域における子育て支 援の充実	基本事業1 地域におけ る子育て支援の充実	目標値を伸ばすことはできないでしょう か？（母数（こどもの数）が減少している ので難しいのでしょうか？）	13
			基本事業2 こどもの居 場所づくり	利用者数などは指標とならないでしょう か？ 事業内容にある放課後アフタースクールが 開始されている場合にそれに関する指標の 設定は困難でしょうか？	14
		子どもの発達を支える チャイルドサポートの 充実	基本事業1 チャイルド サポートの充実	民間を含めた人数を増やす場合は、民間分 をふくめた数値にできないでしょうか？ 目標値を増やすことはできないでしょう か？	15
		要保護、要支援児童へ のきめ細やかな取組の 推進	基本事業1 児童虐待防 止対策の推進	家庭訪問や養育指導の件数などは指標にな らないでしょうか	17
			基本事業2 ひとり親家 庭等への支援の充実	1件のみでしょうか？他に適当な指標はない でしょうか？ ひとり親家庭に関する指標はないでしょう か。	18
	(2) 子ども と保護者の 健康	子どもと母親の健康の 確保	基本事業1 子どもと母 親の健康の確保	指標数が多いことから、例えば活動数では なく、成果を示す指標に絞っていただい てもよろしいかと思います。	19
	(3) 教育	ウェルビーイング溢れ る学校の創造	基本事業1 自律と共生 を育む教育の推進		21
			基本事業2 教育力・授 業力の向上		22
		学校教育環境の充実	基本事業1 学校教育環 境の充実		24
		学校環境整備の充実	基本事業1 学校環境整 備の充実	ict環境や冷暖房整備率などには良いの ではないでしょうか？	26
		総合的なスポーツの推 進	基本事業1 生涯スポー ツの充実	目標値は実績より高くした方がよい。	27
			基本事業2 スポーツ団 体の育成支援	目標値をあげることはできませんか。 目標値がありません	28

		歴史文化芸術活動の充実	基本事業1 文化芸術活動の推進	内容が違うので分けてはどうでしょうか？ また目標値は実績以上に設定することはできないでしょうか？	29
			基本事業2 文化財の保存活用支援	目標値がありません。 埋蔵物の調査に関する指標や展示される場合は来場者数などの指標は設定できないでしょうか？	30
	(4) 自然環境・学習	自然環境の保全・充実	基本事業1 自然環境の保全	目標値を実績以上に設定できないでしょうか？ 公園の利用者数は採用できないでしょうか？	31
			基本事業2 自然学習施設の充実	目標値を実績以上に設定できないでしょうか？	32
	(5) 生涯学習	青少年の夢を育む地域づくりの推進	基本事業1 青少年健全育成の推進		33
			基本事業1 学びの機会の充実	R7以外目標値がありません。	34
		生涯学習の充実	基本事業2 生涯学習施設の充実	R7以外目標値がありません。 成果を示す指標にはできないでしょうか	35
			基本事業3 図書館の利便性向上	貸出し冊数は指標にはならないのでしょうか？	35
3 いつまでも笑顔で暮らせ	(1) 健康医療	地域医療体制の充実	基本事業1 救急医療体制の確保		37
			基本事業2 医療従事者の確保	勤務医として確保した人数＝貸付者でしょうか？目標値を増やすことはできないのでしょうか？	38
		生涯を通じた健康づくりの推進	基本事業1 疾病の早期発見・早期治療の推進	受診率を上げるのであれば、目標値をあげてゆく必要があります。	39
			基本事業2 感染症の予防	こどもだけでしょうか？成人感染症予防についても指標の設定は難しいのでしょうか？	40
			基本事業3 健康づくりの推進	目標値を増やすことはできないでしょうか？	40
	(2) 高齢福祉	高齢者が笑顔で自分らしく暮らせるまちづくりの推進	基本事業1 高齢者の包括的な支援の充実		42
			基本事業2 高齢者がいつまでも地域で安心して自分らしく暮らすための支援	デジタルを活用できる高齢者数について対象を明確にした方がよいのではないのでしょうか？	42
			基本事業3 高齢者の元気づくりの推進		43
		高齢者がいつまでも安心して暮らせるまちづくりの推進	基本事業1 予防重視型サービスの充実	目標値が横ばいですが、増やすことはできないでしょうか？	44
	(3) 障がい福祉	地域でいきいきと安心して暮らせる障がい者福祉の推進	基本事業1 障がい福祉サービスの充実	目標値が横ばいですが、増やすことはできないでしょうか？	46
	(4) 地域福祉	地域の助け合いによる福祉の充実	基本事業1 地域福祉活動の充実	福祉活動等を反映した指標は採用できないでしょうか？（地域福祉計画で掲げている指標等）	47

こ る ま ち	(5) 社会 保障	社会保障制度の 健全で円滑な運用	基本事業1 国民健康保 険の充実		48
			基本事業2 国民健康保 険医療費の適切な給付		49
			基本事業3 国民健康保 険による健康維持の推 進	目標値が横ばいですが、増やすことはでき ないでしょうか？	49
			基本事業4 後期高齢 者医療保険制度の円滑 な運営		50
			基本事業5 福祉医療制 度の健全で円滑な運営	助成額を抑えるのであれば、目標はR6の実 績額以下にできないでしょうか？	50
			基本事業6 国民年金の 適正な運営	未納率を採用できないでしょうか？	51
		適切な生活保護制度の 推進	基本事業1 生活保護制 度の適切な運営	生活保護率を下げるのであれば、目標値と しては下げることができないでしょうか？	52
			基本事業2 生活困窮者 の相談支援	R6の実績値と目標値が乖離していますが、達 成は可能でしょうか？	53
4 自然と調和した快適で安心・安全なまち	(1) 公共 交通	公共交通の充実	基本事業1 鉄道交通の 整備	R11で下がっているが、理由はあるのか？ R12とR17は同数だが、差は付けられないの でしょうか？	55
			基本事業2 バス交通の 整備	R12とR17は同数だが、差は付けられないの でしょうか？	56
	(2) 道路網	快適な道路網の充実	基本事業1 生活道路網 の整備	高速道路整備促進事業は事業2ではないの でしょうか？ 防災の観点もあることから個別施設計画等 で対策した率や件数は指標にできないで しょうか？ R17はないのでしょうか？事業内容にあるよ うな自転車歩行者道や安心路肩などは含ま れているのでしょうか？	57
			基本事業2 高速交通網 の整備促進		58
	(3) 上下 水道	暮らしを支える上水道 の充実	基本事業1 水道施設の 整備及び耐震化	R6まで横ばいですが、増加は可能でしょ うか？ R8まで横ばいですが、増加は可能でしょ うか？ 多くの部分で重複する場合は、どちらかに した方が良いです。	59
			基本事業2 安定給水の 推進		60
			基本事業3 持続可能な 経営基盤の充実	水道事業においては2つの指標はほぼ同じ傾 向なので、料金回収率のみでも良いかもし れません。	60
		美しい水環境の創出	基本事業1 下水道施設 の整備と強化		61
			基本事業2 下水道施設 の適正管理と体制の構 築	達成可能な範囲で各年度の目標値を徐々に あげていくようにしてはいかがでしょう か？	62
	(4) 都市計 画、土地 利用計画	秩序ある土地利用の推 進	基本事業1 計画的な土 地利用の推進	R10から増えていないが良いか？ 開発許可件数などは採用できないか？	63

5 にぎわい・愛着 創生のまち	(5) 生活環境	環境にやさしいまちづくりの推進	基本事業1 廃棄物の適正な処理		65
			基本事業2 循環型社会形成の推進	事業内容に推進とあるので、少しでも目標値をあげるようにはできないでしょうか？	65
			基本事業3 環境保全対策の推進	事業内容から不法投棄についての記載が無くなっていますが、指標との整合性に問題はありますか？	66
			基本事業4 斎場の適切な維持管理		66
			基本事業5 地球温暖化対策の推進	水素ステーションの利用の促進に関する指標は設定できないでしょうか？ R11以降がゼロですが、問題はありますか？	68
		みどり豊かなまちづくりの推進	基本事業1 都市公園の整備	R6以前とR17がありません。	68
			基本事業2 緑化推進事業	R6以前がありません。	69
		良好な居住環境づくりの推進	基本事業1 良好な住環境づくりの推進		70
			基本事業2 市営住宅の適正管理		71
			基本事業3 空き家活用促進		71
	(6) 防災	安全で安心な防災対策の推進	基本事業1 防災対策の整備	目標値がありません。 事業内容から情報発信に関連した指標を設定できないでしょうか？	73
			基本事業2 組織強化による消防力向上		73
			基本事業3 災害に強いまちづくり	目標値がありません。 指標は「～自治会数」でしょうか？	74
		交通事故のない安全なまちづくりの推進	基本事業1 交通安全対策の推進	R17がありません。 目標値がありません。達成可能な目標値を設定してはいかがでしょうか？	75
	(7) 防犯	安心して暮らせる犯罪のないまちづくりの推進	基本事業1 地域防犯体制の充実		76
			基本事業2 消費者保護対策の推進		77
(1) 農林・畜産業	持続可能な農林業の振興	基本事業1 集落を基軸にした担い手への支援	基本事業1 集落を基軸にした担い手への支援	全ての指標について目標値が横ばいですが、増やすことはできないでしょうか？	79
			基本事業2 安心、安全で安定した農業の振興	全ての指標について目標値が横ばいですが、増やすことはできないでしょうか？	80
			基本事業3 有害鳥獣対策の推進	R12とR17は同数だが、差は付けられないのでしょうか？	81
			基本事業4 森林の適正管理の推進		81
		強い農業基盤の整備	基本事業1 農業生産基盤の整備		82
	(2) 産業振興	企業誘致による産業振興と雇用促進	基本事業1 企業誘致活動の推進		83
			基本事業2 産業用地の確保、工業団地の維持管理	どちらかというと基本事業1の方ではないでしょうか？整備面積などは指標にならないでしょうか？	84
		にぎわいのある商工業の振興	基本事業1 商工業の活性化支援	両指標について目標値が横ばいですが、増やすことはできないでしょうか？	85
		良好な労働環境づくりの促進	基本事業1 勤労者福祉制度の充実	目標値が横ばいですが、増やすことはできないでしょうか？	86
	(3) 観光	魅力ある観光地づくりの推進	基本事業1 多様な観光施設の充実		87
			基本事業2 イメージアップと集客力の向上	アクセス数は受動的で必ずしも成果が上がっているとも限らないので、イベントなどの参加者数や外部の人を集めるのであれば市外の参加者数や移住者数などは指標にならないでしょうか？	87

総合計画策定に伴う意見一覧(要約)

◆ 区分の凡例

A:総合計画審議会意見、B:議会議員意見、

C:基本構想パブリックコメントにおけるその他要望・感想、D:市民満足度調査

(この意見一覧は、全ての意見の要約を生成AIで作成したものととなります。)

【共通視点】 1 市民が主役のまちづくり

現状

区分	意見等
D	● いなべ市は市民参加型の街づくりを目指している。 ● 市民が市政や自治会に関する情報を得る機会が限られている。 ● 自治会への加入や地域活動への参加は必要とされているが、一部の住民は参加しない傾向がある。 ● 市が実施している施策は、外部の人々が評価し、注目を集めている部分もある。 ● 地域によって様々な実情があり、行政による支援や施策の調整が求められている。

課題

区分	意見等
D	● 市政や自治会の情報の認知度を高め、市民参画を促す必要がある。 ● 自治会の役割や制度に対する見直しと再評価が必要。 ● 高齢者や障がい者のための住みやすい環境の整備が求められている。 ● 観光資源のさらなる開発と、地域住民に対する利益の還元が必要。 ● 市民の意見を聞くためのコミュニケーションの強化が求められる。 ● 住民の目線に立った施策が不足しており、特に高齢者や生活困難者への配慮が不十分。 ● 情報発信の手段として SNS 等を用いた瞭然なアプローチが必要。

【共通視点】 2 いなべブランドの創造

現状

区分	意見等
D	● いなべ市のブランディング活動が進んでおり、地域の自然資源を活かした取り組みが評価されている。 ● 市政の努力により、住民がポジティブに感じられる環境が整いつつある。 ● 地域企業との協力が模索され、新規プロジェクトの推進が期待されている。

課題

区分	意見等
D	● 道路や学校、公園、水道などの基本的なインフラ整備が不足しているとの

	指摘がある。 ● 高齢者が多い地域特性を考慮した防災対策や公共物の整備が急務となっている。 ● 予算が限られている中で、ふるさと納税の活用が今後の整備資金の確保に必要とされている。 ● ふるさと納税のプロモーションが不十分で、商品や写真の改善が求められている。
--	---

【共通視点】 3 定住・移住・交流の促進

現状

区分	意見等
D	● いなべ市の定住移住に関する意見が多く寄せられ、地域振興に対する期待が高い。 ● 自然環境や観光資源については多くの住民が関心を持っている。 ● 高齢化が進行しており、地域での若者の定住が求められている。 ● 地域活動やイベントが開催され、住民同士の交流が進んでいる。

課題

区分	意見等
D	● 空き家の増加や若者の流出が進んでおり、地域の活力が低下している。 ● 住民が集まれる公共施設や遊び場が不足していると感じている。 ● 若者向けの住宅や支援策が不十分であり、その結果、定住人口が減少している。 ● 地域住民と外国人移住者との交流の場が不足しており、理解を深める取り組みが必要。 ● 商業施設の不足や商店街の活性化が求められており、地域経済の振興策が必要である。

1 みんなでつくるまち

● 市民参画

現状

区分	意見等
A	● 子育て中の市民が会議に参加し、市の取り組みが丁寧に整えられていることを実感している。 ● 市民が主役のまちづくりの重要性が認識されており、市民同士での情報共有や支援が求められている。 ● 行政と市民が協力し合いながら地域を支える必要性が強調されている。 ● 市民自身の発信・行動が促進されることが望まれている。 ● 人口減少や行政職員の負担が増大する中、市民活動への参加が重要視されている。
B	● 市民活動センターの登録団体数は増加しているが、同時に市民の意識は

	減退している。 ● 基本構想が第 2 次の書き方にとどまっており、進展が見られない。 ● 人口減少と雇用年齢の拡大により、まちづくり活動に参加したい市民の数が減少する見込み。 ● 市民参画や協働のまちづくりに関する様々な方針が掲げられているが、実状との乖離が見られる。 ● 市民活動センターとボランティアセンター(社会福祉協議会)の役割が不明確である。
C	● 市役所はデジタルトランスフォーメーション(DX)を推進し、職員の知識と能力が向上している。 ● 地元の禅寺「万笑院」では、自然保育を目指す有志が子育てに取り組んでいる。 ● 阿下喜地域では若い人々の商業活動が活性化しており、地域の雰囲気形成している。 ● いなべ市では市民が参加できる多様なイベントや保育園での取り組みが行われている。

課題

区分	意見等
A	● 行政任せではなく、市民自身の参加やボランティア活動が必要である。 ● 市民が自発的に動けるような環境づくりやサポートが求められている。 ● 市民活動センター事業の参加者数が大幅に減少しており、これに対して目標数値の変更が必要である(具体的には、令和 2 年度の実績から令和 3 年度の実績への大幅な減少。目標数値を 12,400 人から 2,000 人に変更)。
B	● 基本計画の構築に当たり、過去の取り組みを検証し新たな体制を構築する必要がある。 ● 市民の生活実情を的確に反映させた事業の構築が求められる。 ● 市民活動に参加する人の世代や就労状況の調査を行い、孤立している層を把握して事業を構築する必要がある。 ● 市が掲げる市民参画の定義を明確にする必要があり、具体的な参加目標を設定すべき。 ● 市民が主体性を持って参加できるよう、参画する分野を明確にし、関連する条例、計画、宣言の制定を考慮する必要がある。 ● 若者団体や地域での取り組みを支援する体制の充実が求められている。
C	● 自治会では DX の導入が進まず、業務の多くが手作業で行われているため、効率化のために行政の支援が必要。 ● 自然保育活動が広がっているが、行政との連携が不十分であり、地域経済を支える若者の育成が求められている。 ● グリーンインフラに関する活動が途絶えており、若者が自然の中で学んだり活躍したりする場所が不足している。

	● 北勢線の赤字問題が地域全体の課題として認識されており、住民全体での解決が求められている。
--	--

● 多様性社会
現状

区分	意見等
B	● 第2次基本計画では「人権」が基本目標として掲げられていたが、第3次ではその記述がない。 ● 外国籍市民の自治会加入や交流に対する市の支援が存在しない。 ● 多文化交流に関する事業が充実しておらず、日常生活での支援が不足している。 ● 第2次計画では人権研修会の参加率が成果指標として設定されている。
D	● 市政が掲げる方向性と自治会の活動のバランスが求められている。 ● 自然豊かであることが地域の強みとして期待されている。 ● 交通事情に対する懸念があり、「田舎の割に混んでいる」というイメージを払拭する努力が求められている。 ● 農業に従事しているが、制度改革や機械化の進展が必要とされている。

課題

区分	意見等
B	● 人権に関する方向性や計画を基本計画に示す必要がある。 ● 外国籍市民がコミュニティに参加できるよう、行政支援(コーディネート)を行うべきである。 ● 多様性を推進するための部署や窓口の設置が求められる。 ● 人権教育の内容の充実を確認できる新たな指標を設定する必要がある。
D	● 市政が掲げる方向性と自治会の活動のバランスが求められている。 ● 自然豊かであることが地域の強みとして期待されている。 ● 交通事情に対する懸念があり、「田舎の割に混んでいる」というイメージを払拭する努力が求められている。 ● 農業に従事しているが、制度改革や機械化の進展が必要とされている。

● 広報広聴
現状

区分	意見等
A	● 広報広聴の取り組みにおいて、市民の声を広く聞く「広聴」の部分が不足しており、発信のみの内容になっている。 ● 各分野の方針や数値が作成される予定で、その後、市民への周知方法が検討されている。 ● 計画全体については公開され、市民が代表としてチェックし、公表する仕組みが整っている。 ● 計画策定後に概要版が配布されることが決定しており、教育現場で活用

	できる可能性が考えられている。
B	● 市民の生活が多様化している。

課題

区分	意見等
A	● 市民からの声をより広く聞くための「広聴」の施策について、詳細な検討が必要である。 ● 計画策定後に市民への周知がしっかり行われるかどうか、その取り組みについて具体的な方策を示す必要がある。 小中学生向けに計画の内容を反映した授業を行うことができるかどうか、実現可能性を具体的に検討することが求められている。
B	● 市民の広聴ニーズが高まっている。 ● 様々な意見を聴取する機会を増やす取り組みが求められている。 ● 市民参画との兼ね合いを考慮する必要がある。

● 広域連携

現状

区分	意見等
A	● 定住自立圏において、ごみ処理場に関する話が進行中である。 ● 菰野町といなべ市は、老朽化したごみ処理場を一つに統合することを計画している。 ● 提携して最初に取り組む事業がごみ処理場である。
B	● 広域連携において、公共交通、一般廃棄物処理、空き家対策、医療施設の連携が求められている。 ● 市民アンケートの結果、公共交通は「重要度が高く、満足度が低い」という意見が第2次と第3次で同様に示されている。

課題

区分	意見等
A	● ごみ処理場の統合にあたって、安全性に対する配慮が求められている。
B	● 連携において必ず成果や結果を出さなければならない。 ● 市民が共感できる目標や指標を設定して取り組む必要がある。 ● 中心市として、東員町・菰野町・いなべ市間の公共交通の利便性を高める必要がある。

● 外部人材

現状

区分	意見等
B	● 地域おこし協力隊と地元住民との関係性は、一部の地域や市民に限られ

	ている。 ● 地域おこし協力隊、地域活性化企業人、集落支援員の採用基準が不透明で、多くの市民に受け入れられていない。 ● いなべ市で公益に寄与しようとする人材や活動が市民に浸透していない。
--	--

課題

区分	意見等
B	● 地域おこし協力隊の活動が自己実現の機会だけで終わらず、市民ニーズに対応するようなサポートが必要である。 ● 官民連携窓口を設置するなど、公務員の減少を考慮した施策を講じ、様々な人材が活動できる体制を整える必要がある。

2 「こどもまんなか」みんなで学ぶまち

- 子育て支援

現状

区分	意見等
A	● 待機児童の問題が依然として存在し、待機児童ゼロという評価には疑問がある。 ● 職場が遠い場合、希望する保育園に入れず、入所を辞退した親もいるため、待機児童としてカウントされない事例がある。 ● 兄弟が異なる保育園に通うケースもあり、親子に寄り添った対応が求められている。 ● 健康こども部長が保育士不足を認め、対策を継続する方針を示している。 ● 市では子ども子育て支援事業計画を策定中であり、多くの意見を把握している。
B	● 「子どもや若者の希望が叶えられる事業」と「愛着を持つ子どもたちを増やすための取組」が現段階では不明である。 ● 学童保育は全学校区域に存在するが、民設民営の立ち上げにおいて市の支援が求められている。 ● 乳幼児が親子で遊べる公園や、幼児から小学生が兄弟を連れて遊べる施設の必要性がある。 ● 保育士になりたい学生が多いが、いなべ市への応募者が少ない実情がある。
C	● 現在は民間の有志が自然保育を目指して子育てに取り組んでいる。 ● 阿下喜地域では若い人々の商業活動が活発になってきており、この動きが地域の雰囲気形成している。 ● 北勢線が地域の活性化に寄与していると考えられている。
D	● 子育て環境の整備に対する意見が寄せられており、多くの住民が子育てしやすい地域を望んでいる。

	● いなべ市内には自然環境が多く、地域の魅力として評価されている。 ● 一部公共施設(公園や遊び場)が整備されているが、子供が遊べる場所は不足しているとの意見が多数。 ● 子ども医療費助成があり、受け入れ先の保育施設が待機児童ゼロを実現しているとの評価がある。
--	--

課題

区分	意見等
A	● 保育士不足が解決されず、希望する保育園に子どもを入れられない状況が続いている。 ● 子育て支援の現実的な対応が求められ、市民の味方となる方向で計画を実施する必要がある。 ● 待機児童ゼロの実態をより正確に評価し、本当に必要な支援を行う必要がある。
B	● 基本計画構築に際して、具体的な施策を明示する必要がある。 ● 学童保育の支援や身近な遊び場の整備を進めるための検討が必要である。 ● 保育士の応募者が少ない原因を分析し、処遇改善や財源確保を進める必要がある。
C	● 自然保育への取り組みを行政が把握し、支援することが求められている。 ● 北勢線は年間 3 億円の赤字を出しており、その問題を住民全体で解決する必要がある。
D	● 子供が遊べる公園や遊具が不足しており、特に小さな子供向けの場所が求められている。 ● 医療機関や専門の子育て支援施設が不足しているとの指摘があり、医療体制の強化が必要。 ● 公共交通の整備が不十分で、特に高齢者や子育て世代にとって移動手段が限られている。 ● 住宅用地の増加や若者向け施策が求められており、定住人口の増加が課題視されている。 ● 高齢化社会に対応するための防災や福祉に関する施策が不十分であるとの意見が多い。

● 子どもと保護者の健康

現状

区分	意見等
B	● 子どもと子育て中の家庭が安心して暮らせるように、病児・病後児保育の充実が求められている。 ● いなべ市では、多様化する子育て環境に対応したきめ細かい支援事業を実施している。

課題

区分	意見等
B	● 市民のニーズを把握し、保育体制を整える必要がある。 ● 社会経済の変化に対応するため、産み育てやすい環境の整備が求められている。 ● 国や県の補助金以外に、市の財源を確保するための施策(子ども・子育て基金の創設や企業との連携、クラウドファインディングなど)を検討する必要がある。

● 教育
現状

区分	意見等
A	● アンケート結果から、いなべ市の中高校生は住んでみたいという意欲が高く、幸福度も上昇している。 ● 家族の愛情を受けた子供たちは自己肯定感が高く、非認知能力の育成が期待されている。 ● 青少年育成支援活動を通じて、様々な体験が子供たちに提供されていることが喜ばしい。 ● 子供の居場所確保が課題であり、特に母親が就労しづらい状況がある。 ● 幸福度の向上が見られる一方、不登校や性に関する悩みを持つ子供も多い。 ● 地域にはサッカーや野球のクラブが存在しないが、合同クラブの実施が期待されている。
B	● 自然環境を活かした体験学習や非認知能力の獲得を通じて、レジリエンスを教育と結び付ける事業が展開されている。 ● 教育及び教育環境の充実が移住に繋がる可能性がある。 ● 合併特例債を利用して学校施設が新しくなっているが、まだ建替えがされていない施設が存在する。
C	● 現在のスクールバスシステムはありがたいが、無駄が多いと感じている。 ● いなべ市の教育施設(学校、幼稚園)は充実しており、近隣の自治体に比べ優れたものとなっている。 ● 地元の給食は安全性が高く、地元食材を使用しており、誇れるポイントとなっている。 ● 自然との関わりが教育や健康に与える影響は重要視されている。 ● いなべ市は市民参加型イベントや保育園での取り組みがあり、グリーンインフラに関わる活動が進んでいる。
D	● いなべ市において、子育てや教育に関する関心が高い。 ● 自然環境が豊かで、住民には自然を活かした地域づくりへの期待がある。 ● 一部では公共施設や遊び場の整備に対する肯定的な意見が寄せられて

	いる。 ● 子ども医療費助成制度や保育施設の待機児童ゼロの取り組みが評価されている。 ● 市政のブランディング活動に対する好感が示されている。
--	---

課題

区分	意見等
A	● 子供の長期休暇中の居場所不足が問題で、特に子どもだけで移動できない状況がある。 ● 不登校や相談を必要としている子供の悩みを解決するための支援が不足している。 ● アンケートで性別を尋ねることが子供に負担をかけるため、設問内容の見直しが必要。 ● 交通整備が不十分で、休日の送迎が保護者の負担になっている。 ● 計画策定後の概要版を使用した子供向けの授業実施についての具体的な検討が求められている。
B	● 残る施設の更新や整備に際して、学習環境に差が出ないように整合性を図る必要がある。 ● 第3次総合計画基本構想(案)に「クラブ活動の地域移行」の記述が欠けており、近隣市町との連携を進める必要がある。 ● 基本構想にインクルーシブな視点が欠如しているため、聖母の家学園との活用・連携を強化する施策が求められる。 ● SDGsに関連して、学校による学びの偏りをなくし、全児童生徒が共通の知識を得るための取り組みが必要である。
C	● 学校教育と市民サポートを統合する仕組みを希望している。 ● 自治会の公園整備が教育施設と比べて不足しており、廃校の遊具の活用が求められている。 ● 若者が自然の中で学ぶ場が途絶えており、継続的な活動の場が必要。 ● 小学校の異なる帰宅時間が安全面や無駄を生じさせており、保護者の不安が高まっている。 ● 中高生や若者が利用できる交通システムの改善を望んでいる。
D	● 小さな子供が遊べる公園や遊具が不足しており、安全な遊び場の整備が求められている。 ● 学校内のトイレが洋式化していないため、不便さを訴える声がある。 ● 給食の質や量の低下が懸念されており、教育の充実が求められている。 ● 高齢者や障がい者に配慮した制度・環境作りが不十分。 ● 地域の防災対策や公共交通の整備が手薄であるとの意見が多い。

● スポーツ
現状

区分	意見等
B	● 地域住民が休日に小中学校のグラウンドを利用できるよう、開放が求められている。 ● スポーツ選手を育成するための環境整備が進められている。
D	● いなべ市には多くの自然環境があり、住民がそれを活かした地域づくりを期待している。 ● 一部公共施設(公園、プールなど)の整備が進められており、住民からの評価がある。 ● スポーツイベントや地域活動が行われており、住民の交流が進んでいる。 ● 市の企画するイベントに対する愛着や期待が表明されている。

課題

区分	意見等
B	● 休日のグラウンド開放を実現する必要がある。 ● スポーツ功労者の表彰制度を設け、子どもたちが目標や夢を持てるような取り組みを進めるべきである。 ● スケートボードや BMX など、若者が興味を持つアーバンスポーツが楽しめる施設を整備し、シビックプライドを醸成する必要がある。
D	● 子供が遊べる公園や遊具が不足しており、特に小さな子供向けの施設が求められている。 ● 医療機関や専門の子育て支援施設が不足しており、医療体制の充実が必要。 ● スポーツ施設やジムの設立が求められており、高齢者が楽しめる場所も不足している。 ● 猿や動物被害への対策が不十分で、農業への影響が懸念されている。 ● 公共交通機関の充実が求められており、特に高齢者や子育て世代にとって移動手段が制約されている。 ● 商業施設や飲食店の不足が指摘されており、地域経済の振興が必要とされている。

● 歴史文化・芸術
現状

区分	意見等
A	● 「好き」があふれることをテーマに、いなべ市は自然や伝統、文化を中心にしたまちづくりを目指している。 ● 市民がいなべ市の歴史文化を誇りに思えるような施策が求められている。 ● いなべ市には様々な歴史的資源(例:城跡)があり、それらを市民が宝として認識する重要性が共有されている。

	● 文化財保護の一方で、新たな史跡や文化財の発見に向けた調査が積極的に行われている。 ● 過去の審議会で、歴史文化を観光や教育に活用する重要性が議論された。
B	● 旧白瀬小学校に移転した郷土資料館は、多様な環境を持ち、市民による有効活用の可能性がある。
D	● 文化や芸術に関する関心が高く、住民はそれを楽しむ場を増やしてほしいと考えている。 ● 市内の Wi-Fi 環境が不十分であり、他地域との差が懸念されている。 ● 自然環境を生かした施策が求められており、若い世代の定住を促す動きがある。 ● 地域の歴史や文化の保存に対する期待も高まっている。 ● 地域活動や自給自足に対する関心があり、住民のつながりを重視する意見が見られる。

課題

区分	意見等
A	● いなべ市の文化財保護において、今後はそれを「活用」する方向性についての記載が不足しているため、改善が求められている。 ● 文化に関する情報が観光や交流などにどのように生かされるか、更なる具体的な施策が必要とされている。 ● 目標設定において、令和 2 年度の実績と比較して異常な高さがある理由（コロナ禍の影響）が説明されているが、目標値の修正が行われていないため、再検討が必要である。
B	● 基本計画の策定に際し、文化財や郷土資料館の保存および活用について具体的な位置付けが求められる。
D	● 文化やスポーツ施設の不足が指摘されており、市民が利用できる場所が限られている。 ● 猿害などの自然環境に対する問題が深刻で、行政の対策が求められている。 ● 高齢ドライバーの増加に伴い、交通安全への懸念が高まっている。 ● 低住宅供給や高い税金が若者の定住を妨げているとの意見があり、改善が必要。 ● 文化基盤の強化や地域の魅力を高めるための施策が求められる。

● 自然環境・学習

現状

区分	意見等
B	● サンショウウオや蛍、カジカを保護する人が減少している。

課題

区分	意見等
----	-----

B	● 人材の確保を含む保護活動の推進が求められている。
---	----------------------------

● 生涯学習

現状

区分	意見等
A	● 軽スポーツ講習会の令和 2 年度の実績は 120 名である。 ● 軽スポーツ講習会の目標値は 1,450 人と設定されている。
B	● 図書館サービスの充実が求められている。
D	● いなべ市には自然環境が豊かで、住民がその魅力を感じている。 ● 一部の公共施設(公園、図書館など)の整備に対する期待が高まっており、特に子育て環境への希望が見られる。 ● 地域でのイベント(夏まつり、マルシェなど)が住民の参加を促している。 ● 交通手段や公共交通機関の利用に関する意見が寄せられ、多様なアクセスが求められている。

課題

区分	意見等
A	● 目標値設定が過去の実績と比較して高すぎる理由が明確にされていない。 ● コロナ禍の影響で令和 2 年度の参加者数が低かったことが原因であり、目標値の修正が行われていないため、実現可能性に疑問がある。
B	● 蔵書の拡充、カフェスペースの整備、学習ルームの充実など、利便性の向上が必要である。
D	● 子どもが遊べる公園や遊具の不足が深刻で、安全に遊ばせる場所が求められている。 ● 医療機関の不足や、子育て支援の強化が必要との意見も多く聞かれる。 ● 自然環境に対する害獣(猿など)の問題があり、農業や生活環境に影響を及ぼしている。 ● 飲食店や商業施設の不足が指摘され、地域経済の活性化が必要とされている。 ● 地域の空き家対策や、若者の定住を促す施策が求められている。

3 いつまでも笑顔で暮らせるまち

● 健康・医療

現状

区分	意見等
A	● 健康増進に参加する市民の数は A 判定を受けている。 ● 医師養成奨学資金の貸し付け対象者は三重大学の学生である可能性があるが、詳細は大学側で把握していない。
B	● まちづくりにおいて、財源や資源の投入によって人口動態を変えることができる」と認識されている。

	● 合計特殊出生率の指標は向上したが、女性が 6 割減少している実態がある。 ● 男性の未婚率が高く、女性の未婚率が低い状況が存在する。 ● 市民の直接的な不満は雇用、医療、公共交通、物価高に集中している。
C	● 自然との関わりの有用性は様々な分野で研究されている。 ● 教育における非認知能力の向上や心身の健康増進につながる要素として認識されている。
D	● いなべ市には医療機関があるが、質や数に関して不満を抱える市民が多い。 ● 診療科目の選択肢が少なく、小児科や眼科、皮膚科などが不足している。 ● 特に子供の医療に関する助成があることや、保育園の待機児童がない点が評価されている。 ● 市内で開催されるイベントに対しては、活気を感じている市民が多い。 ● 公共交通機関に対するニーズが高く、高齢者や子育て世代にとって重要な交通手段である。

課題

区分	意見等
A	● 状況に応じた目標の変更が必要であり、現在の目標よりもさらに高い設定が可能であることが示唆されている。 ● 医師養成奨学資金の推薦条件として、いなべ総合病院での研修が求められているが、対象者の情報の透明性が不足している。
B	● 女性が住みやすい施策を講じる必要がある。 ● 高い男性未婚率と低い女性未婚率を踏まえた対策が必要である。 ● 令和 17 年の目標値を達成するために施策の「重要度、満足度」を捉えていく必要がある。 ● 医師不足を解消するための医療体制、夜間休日の受診体制改善、救急医療体制の充実を検討すべきである。 ● 市民の参加を促進するためのきっかけ作りや啓蒙活動の強化が求められる。 ● 第 3 次総合計画では、高齢化と人口減少に対する長期的な対応策を整備する必要がある。 ● 若年層の定住支援策(住居・就労支援)や高齢者への介護・医療支援体制の強化が求められ、施策の対象を明確にして構築する必要がある。
C	● 自然との関わりの重要性を、今後の社会基盤としてどう活かしていくかが求められている。
D	● 医療機関の不足や医師の数が足りないため、長時間の待ち時間や診療の質に対する不満がある。 ● 救急医療の体制が整っておらず、緊急時の受け入れ先が市外になることが多い。 ● 夜間や休日に医療を受けられる場所が不足しており、急病時の対応が難

	しい。 ● 子供が遊べる屋内施設が不足しており、天候を気にせず遊べる場所の整備が求められている。 ● 交通インフラの整備が不十分で、高齢者の移動手段が限られている。 ● 商業施設や飲食店の数が少なく、地域経済の活性化が課題として挙げられている。
--	---

● 高齢福祉
現状

区分	意見等
A	● 認知症高齢者等 SOS ネットワークの事前登録者数は D 判定で、新規登録が 26 名あった。 ● 現在の登録者数は 54 名で、目標の 85 名には達していない。 ● 登録者数は、施設入所や亡くなった方の影響を受けている。
B	● 認知症の対象者が今後増加することが予測されている。 ● 高齢者世帯が増加している。 ● 物価の高騰が高齢者の生活を厳しくしている。 ● いなべ市では高齢者が安心して地域で暮らせる取り組みが進められている。
D	● 高齢者向けの施策は実施されているが、市民への情報伝達が不足していると感じられている。 ● 高齢者が集える場や活動の機会があり、参加を希望する声が寄せられている。 ● 一部の高齢者は住みやすいと感じており、生活の中で楽しむことができる環境がある。 ● 無料または低価格で利用できる公園や施設を望む意見があり、市が提供する福祉バスへの期待も表れている。

課題

区分	意見等
A	● 登録者数の計上方法について、延べ人数ではなく実際に扱った人数で数えるなど、具体的な決まりごとの策定が必要とされている。 ● 障がい福祉サービスの相談支援件数に関して、目標値が高すぎるとの指摘があり、状況に見合った目標変更が求められている。
B	● 認知症の早期発見のための診断促進、認知症カフェやサポートグループの設置が求められる。 ● バリアフリーの充実を図るために、支援制度やバリアフリー住宅の普及促進に向けた改修支援制度を創設する必要がある。 ● 高齢者の雇用拡充について具体的な基本目標が設定されていないため、就労支援体制の整備が求められる。 ● 高齢者のごみ収集支援を行政サービスとして実施する必要がある。

	● 第3次総合計画では、高齢化や人口減少問題に対する長期的な対応策を整備する必要があり、若年層や高齢者に向けた具体的な支援策を明確にすることが求められる。
D	● 高齢者の交通手段が不足しており、免許返納後の移動手段に不安を抱いている。 ● 医療機関が近くにない、または質に対して不満があり、特に救急医療の体制が整っていないとの指摘がある。 ● 高齢者の雇用機会を創出するため、地域での活動を促進してほしいとの要望がある。 ● 障がい者や高齢者に配慮した制度作りが求められ、特に住み慣れた環境での生活を希望する声が強いの。 ● 商業施設や公共施設の整備不足が、地域の活性化に影響しているとの意見がある。 ● 高齢者や障がい者が安心して暮らせるための支援が不足しており、さらなる改善が必要とされている。

● 障がい福祉

現状

区分	意見等
A	● 市内の中学2年生といなべ総合学園を対象にしたアンケート調査が行われており、児童の権利条約に向けた取り組みが進んでいる。 ● 特別支援学校の生徒も高校生という枠組みで考慮されるべきであるとの意見が出されている。 ● 高齢者のための認知症高齢者 SOS ネットワーク事前登録者数は D 判定で、新規で 26 名が登録されたが、現在登録者数は 53 名で、目標の 85 名には達していない。 ● 障がい者支援に従事している部分から、通勤に関する問題が指摘されている。
B	● 障がい者の福祉サービスの充実が求められている。
D	● 高齢者や障がい者が住みやすいまちづくりへの期待がある。 ● 障がい者向けの働く場所を求める声が多いが、現在たどり着く場所が限られている。 ● いなべ市に障がい者特別支援学校を求める意見がある。 ● A 型作業所や B 型作業所、デイサービスなどの必要性が訴えられている。 ● 一部の高齢者は市の支援制度を評価しているが、期待に反する声もある。 ● 交通面でのアクセス改善を望む意見が寄せられている。

課題

区分	意見等
A	● 特別支援学校の生徒の声も今後の計画に反映させるべきとの意見があ

	り、高校生という枠組みでの検討が求められている。 ● 認知症高齢者等 SOS ネットワークの数値計上方法について、実際に扱った人数に基づいた明確な基準を設けることが提案されている。 ● 障がいのある方々の通勤に関する課題があり、自家用車がない場合の通勤手段の確保が難しいため、コミュニティタクシーのような個別対応の移動手段を検討する必要がある。 ● 目標値の設定について、過去の状況を考慮して見直す必要があるとの意見があるが、現在は目標変更が行われていない。
B	● 障がいのある人の生活サポートをさらに充実させる必要がある。 ● 就労場所、特に A 型事業所の拡充が求められている。
D	● 障がい者や高齢者が自立して生活できる居場所の不足が指摘されている。 ● 障がい者の雇用機会が限られており、通勤に関して困難を抱えている。 ● 市内の医療機関の不足に対する不満があり、特に総合病院の数が足りないとされている。 ● 高齢者向けの福祉施策の情報が市民に十分に伝わっていない。 ● 生活支援が必要な高齢者や障がい者が、住み慣れた環境で生活し続けるための制度の整備が求められている。

● 地域福祉
現状

区分	意見等
B	● 市民活動センターとボランティアセンター(社会福祉協議会)の位置づけが不明確である。 ● 地域において孤独・孤立対策や高齢者支援(買い物支援、移動支援、食事支援など)が行われている。
D	● いなべ市の福祉に対する意識が高まっており、地域福祉の充実を希望する声が多数。 ● 高齢者が住みやすい環境を求める意見があり、行政に対する期待も見られる。 ● 地域とのかかわりや地域活動への参加意欲があり、住民同士の助け合いの重要性が強調されている。 ● 市民が持つ福祉施設への期待が高く、特に高齢者向けの利用しやすい施設を望む声がある。 ● 自然や子ども、福祉に重点を置いた施策に期待が寄せられており、若い世代の流入の必要性が示されている。

課題

区分	意見等
B	● 行政と地域の役割を明確にし、各取り組みの責任を明確化する必要がある。

	● 市民活動団体の育成を行い、地域福祉のニーズに対応するための基本計画を策定することが求められている。
D	● 福祉の充実が他県に比べて遅れているとの指摘があり、改善が求められている。 ● 高齢化社会における交通支援や日常の買い物支援などが不十分で、個々に寄り添った福祉施策の必要性がある。 ● 地域社会とのコミュニケーション不足が問題視され、住民同士のつながりの強化が求められる。 ● 自宅での介護が必要な高齢者や、利用可能な福祉施設不足に対する懸念が示されている。 ● 市民への福祉施策の情報伝達が不十分で、福祉サービスに対する認識が低いとの意見がある。

4 自然と調和した快適で安心・安全なまち

- 公共共通
現状

区分	意見等
A	● 交通の便が不便であるとの意見があり、特に子どもや高齢者の交通利便性向上が求められている。 ● 現在、コミュニティバスは無料で提供されているが、財源の問題から有料化も検討の余地がある。 ● 公共交通に対する市民の重要度が高く、満足度が低い状況があり、特にAエリアでのニーズが高い。 ● 道路や公共交通の整備について、まちづくりの基本方針に市民の意見を反映させる必要性が示唆されている。 ● サッカーや野球のクラブが市内に存在しないため、小学生の夢が叶えられない可能性がある。
B	● 公共交通システムは見直しが必要な時期に来ており、市民満足度調査では重要度が高い一方で満足度が低い施策という現状がある。
C	● 人口減少や交通面での不便さが「暮らしにくい」と感じる要因として存在している。 ● 地元の自治会には万笑院という禅寺があり、かつて保育所が運営されていたが、現在は自然保育に取り組む有志がいる。 ● 阿下喜では若い人たちの商業活動が活発になってきている。 ● 小学校では学年ごとに帰宅時間が異なる状況が続いている。
D	● いなべ市の公共交通機関は存在するが、利便性や本数に対する不満が多い。 ● 高齢者の交通手段が限られており、免許返納後の移動に対する不安がある。 ● 住民からは、福祉バスをもっと利用しやすくするための改善や、コミュニ

	ティバスの運行充実を求める声がある。 ● 市内の子ども向けの遊び場や屋内施設の不足が指摘されている。 ● 自然環境や地域活動への期待が高く、住民の助け合いや地域参加の意欲が見られる。
--	---

課題

区分	意見等
A	● 新たな公共交通の整備は難しいため、既存のバスの利用方法や基本計画の検討が求められている。 ● 高齢者や子どもたちにとっての公共交通の重要性を認識し、具体的な施策の検討が必要である。 ● 交通整備が不十分なため、保護者による送迎の負担が増加しており、この問題に対する対策が求められている。 ● 市民の声を反映し、将来像の中に公共交通問題への取り組みを強調すべきとの意見があり、計画に具体的な記載が必要である。
B	● 市民ニーズを的確に把握し、それに基づいた施策を講じる必要がある。 ● 特に次の事項に対する対応が求められている： ① 電車とバスの円滑な乗り継ぎを実現すること。 ② 福祉バスの土日運行の実施。 ③ 徹底したデマンド交通のグランドデザイン(予約バスやタクシーの拡充、AIによるルート最適化)。 ④ 官民連携の強化(バス、電車、タクシー、福祉バスの相互利用)。 ⑤ ボランティア運転支援や住民同士の乗り合い支援制度、ライドシェアの導入。 ● 上記①～⑤を一括でデザインし、快適で便利な公共交通を構築する必要がある。
C	● 交通手段が限られる中、特に高齢者や若年者が買い物や通院に苦労している。 ● 乗り合いタクシーのような交通の仕組みが望まれているが、取り組みが難しい。 ● 路線や時間の工夫を行い、乗務員を二人制にすることで安全対策を強化する必要があると考えられている。 ● 北勢線が年間 3 億円の赤字を出しており、その問題を住民全体で解決する必要がある。 ● 中高生や若者がお手軽に利用できる交通システムの整備が求められている。 ● 学校での帰宅時間の違いが安全面や効率に影響を与えており、保護者に不安をもたらしている。
D	● 交通機関の便が悪く、公共交通を利用したい高齢者や若者に対するサポートが不十分である。 ● 福祉バスの運行時間や本数が足りず、利便性が低いとの意見が多い。

	● 医療機関の充実が求められており、特に専門科の不足が指摘されている。 ● 商業施設の不足が地域経済に影響を与えており、若者の定住を妨げている。 ● 地域の情報発信や市役所の窓口が利用しにくく、福祉施策に関する情報が市民に浸透していない。
--	---

● 道路網
現状

区分	意見等
B	● 歩道の整備に関する KPI が達成されていない。 ● 市民満足度調査では歩道の整備が重要度の高い項目として位置付けられている。 ● 第 3 次総合計画では、東海環状自動車道の全線開通が見込まれている。 ● 交流人口の増大や定住・移住の促進に向けた社会資本整備が重視されている。 ● 交通安全対策も市民満足度調査で重要度の高い項目として認識されている。
D	● 自転車イベントやツアーの開催により、地域の自転車利用が増加している。 ● 一部の住民は市の自然環境を評価し、子どもが遊ぶ場所や保育園の整備を求めている。 ● 地域活動や地元の特色を活かした街づくりに対する期待がある。 ● 高齢者の移動手段が重要視されており、公共交通機関や福祉バスへの期待が寄せられている。

課題

区分	意見等
B	● 歩道の危険箇所を把握し、計画的に整備を進める必要がある。 ● 交通安全対策(信号、標識、街灯、白線など)の充実を図ることが求められている。
D	● 交通渋滞や不十分な公共交通機関(I バスの本数や運行対象)が利用しづらさを感じさせる。 ● 高齢者の免許返納後、移動手段が限られていることへの不安が存在。 ● 小・中学校の通学路の整備不足、信号や歩道橋の設置が求められている。 ● 道路の整備や除草作業が不十分であり、事故や通行の安全性に影響を及ぼしている。 ● 公園や遊び場が不足しており、子どもが自由に遊べる環境の整備が必要。

● 上下水道
現状

区分	意見等
B	● PFAS の水質検査が計画に位置付けられている。
D	● いなべ市の水質は好評で、「水がきれい」との声がある。 ● 地域の自然環境やブランディング活動に対する好感が示されており、住民が前向きに生活できる要因とされている。 ● 一部の市民は市政の取り組みや公共施設の整備に期待を寄せており、特に防災対策の重要性が指摘されている。 ● 大綱に基づいた施策により地域活動が活性化しているが、まだ不足感もある。

課題

区分	意見等
B	● PFAS に対する取り組みを進める必要がある。
D	● 上下水道の値上がりや住民税の高騰に対する不満が多く、経済的負担が大きいとの意見がある。 ● 交通機関や公共施設の整備が不十分であり、特に福祉に関する取り組みが不足している。 ● 若者が安心して子育てできる環境の整備が求められており、空屋の増加や少子化が懸念されている。 ● 地域の集まりや家族で集まる場の不足が指摘され、市民が気軽に交流できる場所が必要。 ● 環境問題、特に猿の増加が地域において安心して暮らすための障害となっている。

● 生活環境
現状

区分	意見等
A	● 定住自立圏において、ごみ処理場の統合が進められている。 ● いなべ市と菰野町のごみ処理場は老朽化しており、一つにまとめることが提案されている。
B	● 人口流出の抑制と定住・移住の促進が求められている。 ● 働き場所の確保、住環境の整備が重要視されている。 ● 地方創生の取り組みでは「名古屋圏や関西圏」からの交流人口増加を目的としているが、現総合戦略の対象が限定的である。 ● 第 3 次総合計画ではごみ処理施設の建設が計画されている。 ● 地元企業との連携が必要な温室効果ガス削減や省エネ技術への取り組みが求められている。
C	● いなべ市では、六石地区や麻野地区、麻生田地区などに新たに移住してきた人が増えている。

	● いなべ市内の各地域には斎場があり、火葬場の需要が増えている。 ● 公園や街路樹の伐採が進んでおり、自然の排除が感じられる。 ● 三重県内の他の市町は悪臭物質ごとの詳細な規制を行っているが、いなべ市は一括の臭気指数による規制を実施している。
D	● 自然環境が豊かで、市民が地元の自然を評価している。 ● 一部の住民が公共交通や福祉バスの利用を検討しているが、改善を望んでいる。 ● 募集されている地域イベントの参加意欲が高い。 ● 市内で子どもたちが遊べる場所の不足感があるが、自然を活用した観光への期待がある。 ● 高齢者や障がい者向けの住まいに関する要望も高まっている。

課題

区分	意見等
A	● ごみ処理場の統合にあたり、安全性への配慮が求められている。
B	● 名古屋圏や関西圏を目指した指標設定が必要であり、施策の目的に沿った指標を立てることが求められている。 ● ごみ処理施設整備に関して、菰野町やいなべ市のニーズに合致した獣の焼却施設の検討が必要。 ● 高齢者用おむつ廃棄の増加に見据えた紙おむつのリサイクル化を制度化する必要がある。 ● 移住・定住施策の具体的な施策が求められ、以下の点を検討する必要がある： ① 空き家のリフォーム助成、住宅購入補助、賃貸家賃補助の実施。 ② 空き家持ち主への通知送付、および地域のにぎわい創出。 ③ 空き家対策に関する通知を固定資産税納税通知書送付時に行う。 ④ 空き家になる前の片付けに対する補助の実施。 ● 2050年までの温室効果ガス削減に向けた具体的なロードマップが不明である。 ● ごみ処理施設のリニューアル過程でのエネルギーの循環と活用について検討が必要である。
C	● 交通マナーの向上のため、道路の工夫や警察の支援、厳しい罰則の導入が求められている。 ● 新しい住人のための土地や家屋の提供に対する地主のためらいを解消する行政のサポートが必要。 ● 老朽化していない斎場を再び使用可能にすることで経費を削減することが求められている。 ● 悪臭規制の見直しが必要で、工場からの臭いの苦情に対する適切な対策が求められている。 ● 大地震による工場のダメージ時における環境汚染の予測と、住民への情報提供が求められている。

D	● 高齢者や障がい者のための移動手段が限られており、交通サービスの改善が必要。 ● 空き家の増加や地域の高齢化が進んでおり、人口減少の懸念がある。 ● 環境問題として不法投棄や交通安全対策の不備が指摘されている。 ● 住民同士の交流の場が不足しており、コミュニティの活性化が求められている。 ● 水質や医療機関の充実、地域の教育施設の充実が求められている。
---	--

● 土地利用
現状

区分	意見等
B	● 東海環状自動車道の開通が期待されているが、既存の活性化施策が必要とされている。 ● 過去に市街化調整区域の見直しの方向性が示されている。
D	● 自然環境を評価する意見が多く、いなべ市の生活環境に対する好感が示されている。 ● 市内には公共交通機関が存在するが、利便性に対する不満がある。 ● 住民は大型商業施設や公園の必要性を強調しており、特に公園の整備を求める声が多い。 ● 地域内の多様な意見を集約する場の必要性が認識されている。 ● 企業誘致による地域経済の活性化を期待している市民も多い。

課題

区分	意見等
B	● 東海環状自動車道の開通に依存せず、活性化を促進するための具体的な事業を立案する必要がある。 ● 第3次総合計画において、員弁町を「いなべ都市計画区域」として指定することが求められている。
D	● 公共交通機関の不十分さが高齢者や子育て世帯に影響を及ぼしている。 ● 土地利用計画が限られており、住宅地や商業施設の不足が指摘されている。 ● 地域の草刈りや美化活動が合併以降停滞しており、環境整備が必要とされている。 ● 若者が住みたくなる町づくりのための協働体制の強化が求められている。 ● 子育て支援や教育環境の充実が住民からの要望として挙げられており、具体的な施策の必要性がある。

● 防災
現状

区分	意見等
A	- 令和 2 年度の防災講演受講者数は 191 人であった。 - 目標値は 1,200 人に設定されているが、実績と比較すると非常に高い。
B	「市民一人一人の日頃の防災に関する意識の向上」が求められている。 - 第 2 次いなべ市総合計画に基づく取組が存在するが、その検証が必要である。 - 市民参画や協働が掲げられた総合計画がある。 - 現在の消防署運営は桑名市消防本部への委託とされている。
D	- 市民からは交通手段の便利さや防災への配慮が求められている。 - 住民が防犯カメラの設置や防災スピーカーの有効利用を希望している。 - 学校周辺の道路や交通環境の安全性について関心が高い。 - 地域の自然環境や災害対策に対する意識が高まり、住民が主体的に取り組む姿勢が見られる。 - 企業誘致や公共交通機関の充実が、若者や家族に魅力的な環境を提供するとの期待がある。

課題

区分	意見等
A	目標値設定が高い理由について、コロナ禍の影響により令和 2 年度の実績が低かったため、目標値の修正が行われていないことが問題視されている。
B	- 地域と行政の関係を強化し、地域・市民の防災力を向上させるための施策を充実させる必要がある。 - 基本計画の構築において、市民、地域、行政が連携した施策を策定することが求められている。 - 市民の不安を受け止め、以下の具体的な防災対策を講じる必要がある： ① 自主防災組織の設立と運営指導の強化。 ② 防災士や防災サポーターの育成強化。 - 家具転倒防止補助や木造耐震診断の拡充。 - 基本計画において市が消防署機能を定義し、主体的に施策を講じる必要がある。 - 災害時や平時における消防機能の充実を図るため、消防署と消防団、市民、市が連携して取り組む必要がある。
D	- 大都市と比較して交通の利便性が低く、高齢者や学生の移動に不安がある。 - 道路整備や歩道の状況が悪く、通行中の安全性が問題視されている。 - 防犯や防災対策が不十分であり、災害時の対応が懸念されている。 - 医療機関の充実度が不足し、地域住民への医療サービスが十分に提供されていない。

	● 行政の情報発信がうまくいっておらず、住民が求める情報や施策に対する理解が不足している。
--	---

● 防犯
現状

区分	意見等
B	● 基本計画策定の際に対策が求められている。
D	● 地域の防犯意識が高まっており、防犯カメラの設置が求められている。 ● 自然環境が評価されているが、遊び場や公園が不足している。 ● 高齢者の交通手段の不足が懸念されており、移動支援策が期待されている。 ● 地域イベントへの参加意欲が高く、活気を持たせたいという意見がある。 ● 地域住民が安心して暮らせる環境の整備が求められている。

課題

区分	意見等
B	● 以下の事項について対策及び拡充を図る必要がある： ① 防犯カメラ設置の拡充支援。 ② 特殊詐欺対策の強化。 ③ 高齢者宅への侵入対策の実施。
D	● 国道 421 号を通る通学路の安全が懸念されており、信号機や歩道橋の設置が必要。 ● 道路の整備や除草作業が不十分で、事故や通行の安全に影響を及ぼしている。 ● 高齢者の移動手段が限られており、公共交通機関の充実が求められている。 ● 不正改造バイクの増加が地域住民に迷惑をかけており、対策が望まれている。 ● 空き家問題が治安に悪影響を与えており、リノベーションや活用が必要。

5 「にぎわい・愛着」創生のまち

● 農林・畜産業
現状

区分	意見等
A	● 事業承継や後継者問題が重要なトピックとして認識されている。 ● 人口減少に伴い、事業所や市の税収が減少している。 ● 銀行は事業承継に関する支援を行っているが、市の連携が求められている。 ● 農地については、大掛かりな土地整備が行われたが、10 年経過しても自由に売買できないとの誤解がある。
B	● 基本計画策定の際に対応が求められる事項が存在する。

C	● 松阪に住む提案者が「茶そば」の開発を提案している。 ● いなべ市は広い庭を持つ宅地が多く、家庭菜園を作るスペースが豊富である。 ● 月刊現代で、いなべ市が庭の広さ全国ランキングの上位に選ばれた。
D	● 自然環境の保護に対する意識が高いが、住民からは動物の住処が減少する懸念もある。 ● 高齢者が集まれる場所や健康づくりのプログラムへの要望がある。 ● 地域イベントや活動への参加意欲が高く、住民同士の交流の機会を求めている。 ● 空き家や耕作放棄地の増加が問題視され、適切に管理する方法が求められている。

課題

区分	意見等
A	● 農業を営む方々が安心できるよう、制度について明確な説明が必要である。 ● 土地利用構想において農業に関する具体的な記載が不足しており、もう少し詳細に検討する必要がある。 ● 売ることのできない土地についての対策が必要であり、草が伸びた土地の管理や防犯上の問題にも配慮が求められている。
B	● 以下の事項について対策及び拡充を図る必要がある： ① 後継者や担い手の減少に対する喫緊の課題への対策。 ② 耕作放棄地の拡大防止と耕作放棄地の解消。 ③ 市が講じる獣害対策の強化。
C	● 「茶そば」の開発を進めるためには理解と協力が必要。 ● 獣害対策が十分でないため、家庭菜園の安全性を確保する必要がある。 ● 獣害猿の全頭駆除などの具体的な対策の検討が求められている。
D	● 獣害問題、特に猿やシカによる農作物への被害が深刻で、駆除対策が必要とされている。 ● 公共交通機関の充実が求められており、特に高齢者や障がい者の移動手段が不足している。 ● 道路や歩道の整備が不十分であり、安全面での不安が指摘されている。 ● 医療や福祉サービスの充実が求められており、特に総合病院や医療機関の不足が懸念されている。 ● 地域の商業施設や誘致政策について、地元住民への配慮が不足しているとの指摘がある。

● 産業振興 現状

区分	意見等
A	● 若い世代の定住策が重要視されている。

	● 企業インターンシップや空き家の活用が提案されている。
B	● 人口流出を抑制し、定住・移住を促進するための基盤づくりが求められている。 ● 東海環状自動車道の開通が期待されているが、実際の活性化に向けた事業計画が必要。 ● 令和 17 年の目標値達成に向けた施策の重要性が指摘されている。 ● 市民の不満点として、雇用、医療、公共交通、物価高が挙げられている。
C	● 地区のアパートの駐車場には県外ナンバーの車が多く、関東や近畿からの移住者がいる。 ● いなべ市はデンソーやトヨタ車体を始めとする多くの工場が雇用を支えている。
D	● 地域に動物や獣害の問題があり、交通の安全性にも懸念がある。 ● 公共交通機関の充実が求められ、特に高齢者や子育て世代向けの移動手段が不足している。 ● 住民の地域のイベント参加に対する興味や意欲が高い。 ● 商業施設や飲食店の不足が指摘されており、新たな店舗の誘致が望まれている。 ● 自然環境が豊富で、子どもたちが遊べる安全な公園や施設が求められている。

課題

区分	意見等
A	● 若い世代に対して、企業インターンや空き家を活用する方法で定住を促進する必要がある。
B	● 雇用の確保、住環境の整備、利便性の向上に向けた具体的な施策が必要。 ● 活性化のための事業を具体化して実行することが求められる。 ● 市民の不満に対する具体的な対策を検討し、雇用や医療、公共交通に関する改善を掲げる必要がある。 ● 若い女性の雇用機会創出やスタートアップ、事業承継支援を具体的な事業として展開することが求められている。
C	● いなべ市の人口問題を解決するためには、雇用がある地域であることが重要。 ● さらに新規企業の誘致を行政に推進してほしい。
D	● 道路や歩道の整備不足により、通行の安全面での課題がある。 ● 医療機関や教育機関の充実が求められており、特に産婦人科や総合病院の不足が懸念されている。 ● 空き家や耕作放棄地の増加が地域活性化の妨げとなっており、適切な管理策が必要。 ● 若者が住み続ける環境が整っていないため、企業誘致や就業機会の創出が重要。

	● 地域住民同士の交流の機会が不足しており、地域の活性化が求められている。
--	---

● 観光
現状

区分	意見等
A	● 「観光レクリエーション入込客数」と「観光交流人口」は内容が同じである。 ● 観光交流人口の実績値には、市民も含まれている。 ● にぎわいの森のカウント方法は、レジ利用者数に 2.2 倍を掛けた一般的な算出法が用いられている。
B	● 交流人口を増やすために整備された施設が点在しているが、全体としては面になっていない。 ● ビジターセンターを中心とした施策が必要とされている。 ● いなべ市は地方創生交付金に関する事業を進めている。
C	● いなべ市ではグリーンインフラに関する魅力的な取り組みが行われている。 ● 市民が参加できる様々なイベントや保育園での活動が実施されている。 ● 自然環境を活かした優れたキャンプ場や有識者が多い地域である。
D	● 自然環境が豊かで観光資源が多く、住民の利用や訪問者の増加が期待されている。 ● 住民の観光イベントや活動への参加意欲が高く、地域の活性化に貢献している。 ● 公共の交通機関が存在するが、利便性向上が求められている。 ● 空き家や耕作放棄地の問題がある中で、リノベーションや地域の活用が模索されている。 ● 若者や高齢者に優しい地域作りが求められており、地域での生活を重視する声がある。

課題

区分	意見等
A	● 用語の統一が必要であり、括弧で説明するなどの工夫が求められている。
B	● 雇用創出、経済効果、事業の費用対効果を市民にわかりやすく示す必要がある。 ● 交流人口や関係人口は「名古屋圏や関西圏」を対象としており、総合戦略の指標が「東京圏等からの UIJ ターン促進」に限定されているため、指標の見直しが求められる。 ● 基本計画では施策の目的に沿った指標を立てることが必要。 ● 一般社団法人グリーンクリエイティブいなべの機能充実を図るため、地域商社や DMO、情報発信の組織強化が求められている。 ● 「グリーンクリエイティブいなべ」という表記が高齢者など市民には分かり

	にくいため、浸透を図るための副題(例:「いなべを元気にするまちづくり」)の検討が必要。 ● フェアトレードタウンの促進は、市の事業として取り組むべきである。
C	● 自然の中で学んだり活躍するための場が不足しており、若者が継続してそれに関与できる機会が途絶えている。 ● アウトドアシティを引き継ぐ若者を育成する場の必要性が強調されている。 ● 自然環境の維持や観光、災害時のサポートに繋がる取り組みが求められている。
D	● 観光やイベントに関する情報が市民に浸透していないため、参加が少ない。 ● 公共交通機関は高齢者や子育て世代にとって利用しにくい状況にある。 ● 医療機関の不足や地域医療の充実が重要視されているが、実現が難しい。 ● 交通やインフラ整備が不十分で、特に新しい施設の開発に対する批判が多い。 ● 地域の活性化のためには商業テナントの誘致やイベントの魅力向上が必要とされている。

全般

現状

区分	意見等
A	● カーボンニュートラルとゼロカーボンの用語が混在しており、定義の明確化が求められている。 ● いなべ市においてフェアトレードタウンの認知度が低い成果が出ているが、地域活動を通じて子どもたちに理解を促進している。 ● いなべ市の地域資源を都会的なセンスで磨くことが進められているが、多様性の観点から必ずしもベストであるとは限らない。 ● 藤原地域では高齢者が多く、交通や買い物の便が悪いにもかかわらず、定住意向が高い。 ● いなべ市は人手不足が深刻で、市の盛り上げが求められている。 ● 行政文書の和暦と西暦を統一することが求められた。 ● いなべ市の文化や歴史を反映したまちづくりの意識が高まっている。
B	● 「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」を目指しているが、デジタル格差を起こさない施策の必要性が指摘されている。 ● 身体的、精神的、社会的に良好な状態を実現するための施策の重要性が強調されている。 ● まちづくりにおいて、「多くの市民が幸福を感じられる」施策の具現化が求められている。
D	● 市民は地域の自然環境や観光資源を評価しており、地域イベントへの参

	加意欲が高い。 ● 高齢者が集まれる場所や健康づくりのプログラムに対する要望がある。 ● 地域内の公共交通機関の利用が限られており、高齢者や運転できない人々にとって移動が困難となっている。 ● 行政の施策(SDGs、フェアトレード等)への関心が高まっている。
--	--

課題

区分	意見等
A	● カーボンニュートラルとゼロカーボンの定義を明確にし、用語の統一を図る必要がある。 ● フェアトレードタウンの認知度を上げるためのさらなる啓発活動が求められている。 ● 都会的なセンス以外の視点を取り入れ、多様性を尊重した地域づくりが必要。 ● 定住促進に向けて、若者が外で学んで帰ることの重要性を理解しつつ、地域の魅力を発信する必要がある。 ● 人手不足に対処するため、充実した人材確保の策が求められている。 ● 行政文書が読みやすく、伝わりやすい形式に改善する必要がある。 ● 目標設定や評価指標を効果的に見直し、時代に合わせた施策を考える必要がある。
B	● デジタル化推進にあたって、具体的な施策を立案する必要がある。 ● KPI(重要業績評価指標)は事業目的に応じたものであり、市民が進捗を理解できるよう設定することが必要。 ● 特に委託事業に関する KPI は、事業成果を明確に定義することが求められている。 ● 市民や企業に計画の進捗や成果を透明に伝えるため、公平公正な情報提供が重要である。 ● 実施計画は 3 年ローリングで見直しを行い、第 3 次計画に反映させる配慮が必要。 ● まちづくりの将来像を市民が実感・共感できるよう、策定過程で市民とのしっかりした共有が求められている。
D	● 市内の公共交通機関は高齢者にとって利用しにくく、新たな移動手段が必要とされている。 ● 鉄道やバスの路線が一部地域に限られており、住民の移動に制約がある。 ● 空き家や耕作放棄地の増加が問題視され、地域活性化の妨げとなっている。 ● 医療機関の充実が求められているが、実現が難しい状況にある。 ● 行政の情報発信が不十分であり、住民のニーズへの理解が不足しているとの指摘が多い。

全体

現状

区分	意見等
A	● 市民が主役であり、市民が自発的に活動する場が求められている。 ● 自治体の目標数値が現状に見合った形に変更されている。 ● 市民からの意見を広く集める広聴の取り組みが不足していると感じられる。 ● 学校教育において、子どもたちに行政計画の内容を伝える取り組みが考えられている。 ● 待機児童ゼロの状況に疑問が持たれており、実態が反映されていないとの声がある。 ● 中高校生がいなべ市で住みたいと考えている一方で、交通や福祉、子育て支援に関する課題が存在する。 ● 地域資源の活用に関して都会的な視点からの再評価が行われている。
B	● 目標「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」を掲げているが、デジタル格差を防ぐ施策が必要。 ● 防災について市民の意識向上を訴えているが、地域と行政の関係強化が求められている。 ● 市民参画と協働の基本計画を採用しているものの、具体的な施策の内容が不明。 ● 労働場所や住環境の整備が不足しており、人口流出が懸念されている。 ● 財源や資源の投入によって人口動態の変化が期待されるが、女性や未婚率に関する実態が問題視されている。 ● 地方創生交付金に関する事業が進行中だが、雇用と経済効果に関する市民への情報提供が不足。 ● 障がい者や高齢者福祉、公共交通及び地域活性化に向けた施策が求められている。
C	● パブリックコメントの募集制度が市民の意見を聞く素晴らしい仕組みとして評価されている。 ● 過去の提出件数が少なく(0?10 件程度)、多数意見が集まらない状況にある。 ● いなべ市の現況や目標を理解するための基本構想原案がある。 ● 多くの市民が自然や人との繋がりを大切に思っていることが好意的に評価されている。 ● いなべ市の行政のアイデアや取り組みが高く評価されており、他自治体から羨ましがられている。 ● 市役所の受付係が親切で温かい対応をしていることに感謝されている。 ● 地元業者が地域密着型のサービスを提供し、地域を支えている。

課題

区分	意見等
----	-----

A	● 行政と市民が協力し、共に取り組む姿勢が求められている。 ● フェアトレードの認知度向上や町づくりに向けた具体的な施策が不足している。 ● 交通の便や公共交通機関の充実が必要であり、特に高齢者や子どもたちの移動に配慮した施策が求められる。 ● 文化財の活用方法の見直しや、地域の歴史文化に関する認識を広める取り組みが必要。 ● 計画の策定後の周知方法や、市民参加の機会の重要性が指摘されている。 ● 指標設定や評価基準の見直しが求められ、特に多様性や現実的な数値目標の設定が課題とされている。 ● 統一性を持った目標設定や評価基準を確立する必要がある。
B	● デジタル化の施策 ① デジタル格差を防ぐ具体的な施策の策定が必要。 ● 防災対策の強化 ① 地域と行政の連携を深め、市民の防災意識を高める施策を強化する必要がある。 ● 市民参画の促進 ① 市民がまちづくり活動に参加しやすくするための窓口設置や支援が必要である。 ● 人口流出防止 ① 働き場所の確保、住環境の整備が求められ、特に女性の住みやすさに配慮した施策を講じる必要がある。 ● 透明性の確保 ① 地方創生交付金に関する事業の雇用創出や経済効果を市民にわかりやすく示すことが重要。 ● 市民生活の実態把握 ① 高齢者や障がい者の福祉サービスを充実させるため、生活支援策を強化し、利用者のニーズを反映させた施策が必要。 ● 公共交通とインフラ整備 ① 既存の公共交通システムの見直しや、交通安全対策を強化する必要がある。 ● 環境保護の強化 ① 水質検査やごみ処理施設の整備・リサイクル化について具体的な施策を策定する必要がある。 ● 市民への啓蒙活動 ① 市民の参加を促進するために、啓発やキッカケ作りが必要。 ● 人権施策の明確化 ① 多様性社会における人権に関する施策を強化し、外国籍市民への支

	援を充実させる必要がある。
C	● 市や議員からの周知方法の改善が求められている。 ● 意見交換や概要説明の場が幅広い層の市民に対して設定されることが望まれている。